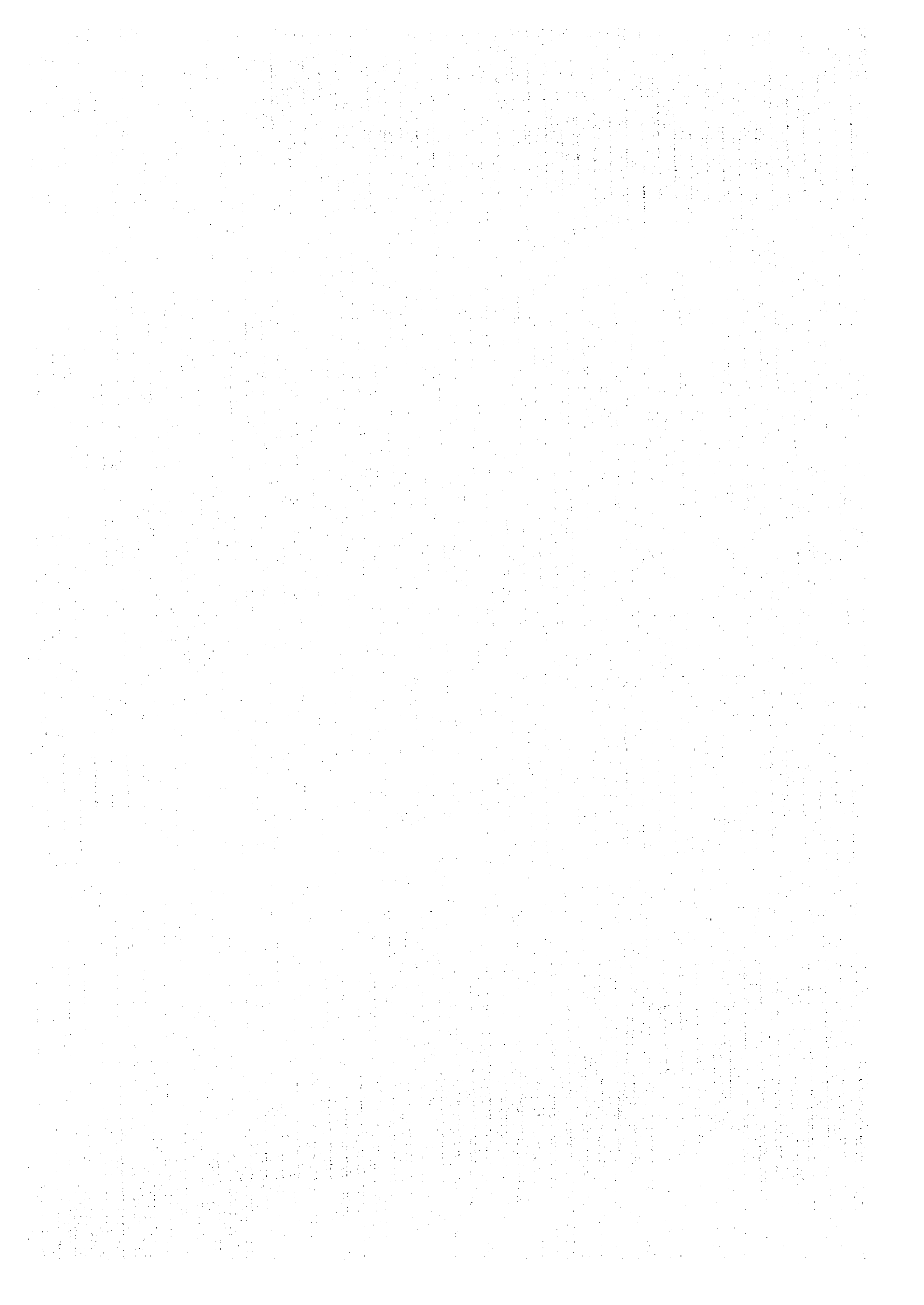


第5章 プロジェクトの評価と提言



第5章 プロジェクトの評価と提言

5-1 妥当性にかかる実証・検証および裨益効果

(1) 裨益効果

本計画はニジェール国の教育開発計画の一環であり、本計画が実現すれば、次のような効果が期待できる。

- ① 教育環境の改善により本プロジェクト対象校の生徒約11,000人の進級率の向上、留年率、退学率の減少を期待できると共に、全体として、ニアメ都市区及びティラベリ県の4郡の地域住民約142万人に裨益する。
- ② 同国の劣悪な教育環境の改善に協力することにより、進級率や卒業率の向上、さらに基礎教育の充実、識字率の向上に貢献し、同国の人材教育に寄与する。
世銀が勧告している2部授業も藁小屋では実施が難しいが、本計画により実現が可能になり、就学率の向上につながる。
- ③ 初等教育の施設の改善により、2部授業が可能になる。14教室の拡充により700~1,400人の児童を収容することが可能になり、就学率の向上に寄与する。
- ④ 施設を耐久性のあるものにするにより、藁小屋教室を毎年の学期毎に繰り返して組み立て、解体・保管する必要がなくなり、維持管理が容易になり、父兄の負担も軽減できる。

また、本プロジェクトは教育を受ける機会を拡大し、識字人口の増加、便所の利用による保健衛生知識の普及等数量化が難しい分野にも好結果をもたらす。

また、施設建設、機材整備に当たっては、現地資材・労働力を利用する計画であり、地域経済を刺激するという副次的効果も期待できる。

(2) 妥当性にかかる実証・検証

本プロジェクトは、次の理由により、我が国の無償資金協力対象案件として妥当であると判断できる。

- ① プロジェクトの裨益対象がニジェール国の首都であるニアメ都市区およびティラベリ県4郡(ティラベリ、コロ、サイ、テラ)の市町村の地域住民142万人で多数に及ぶ。
- ② 対象校57校の生徒約11,000人の進級率の向上、退学率の減少を期待できる。
14教室の拡充(増築)により、少なくとも700人、2部授業を行えば1,400人の児童を収容することが可能になる。
- ③ 本プロジェクトは既存施設の改善であり、プロジェクトの実施により教室数が増加するものの、運営費が大幅に増加することはなく、またニジェール国独自の資金と人材・技術で運営・維持管理を行いうる計画である。
- ④ 本プロジェクトは、ニジェール国の中・長期的開発計画の主要課題の一つで、「緊急国家計画(1995-2000)」の目標達成に資するものである。

(3) 課題

本計画が基礎教育の普及という点から、多大な効果が期待されると同時に、広く住民の生活向上に寄与するものであることから、本計画を無償資金協力で実施することは妥当であると判断される。

さらに本計画の運営・管理についても、ニジェール国側体制は前回の「小学校建設計画」が特段の支障もなく運営されていることから判断し、問題はないと考えられる。

しかし、以下の改善・整備されれば本計画はより円滑かつ効果的に実施し得るであろう。

- ① 未就学児童の多い学校では、世銀の「教育計画」による2部授業の実施を強化するなど、就学率を引き上げることを目的とした政策を強化、推進する。
- ② 現職教員の意識向上、新たな授業方法の習得等を目的とした研修を積極的に行う。
- ③ 校舎の維持管理に地域住民の積極的参加を得るための政策を推進する。

5-2 技術協力・他ドナーとの連携

(1) 技術協力

本プロジェクトは、既存小学校の教室の建替えが中心で、各学校はニジェール側で円滑に運営されていることから、技術協力は必要ない。

(2) 他ドナーの援助計画について

「他の援助国、国際機関等の計画」で述べたが、そのなかで本プロジェクトと関連があるのは、次の計画である。

- ① 世銀「PROSEF(通称：教育計画Ⅲ)」
- ② エイドアクション

NGOであるエイドアクションは地方(フィランゲ郡、ワアラム郡、ドッソ郡、ルガ郡)で年間45教室程度の初等教育施設の建設を中心とした活動を行っている。

世銀「PROSEF」については、世銀と国民教育省との間で密接な調整がなされている。

しかしながら、エイドアクションの活動は各地域の住民または視学官事務所と直接交渉し教室の建設を行っているため、本省へは事後報告となる場合が多く、事前にNGOの全容を把握していない。エイドアクションとの事前の連携が実現すれば、本プロジェクトはより効果的に無駄なく実施しうるであろう。

③ 現地語（民族言語）教育の推進＝言葉の問題（メデルサ校・実験校）

ニジェール国においては、公用語としての仏語による教育が行なわれているが、日常生活で使用しないフランス語による授業は、授業内容に対する児童の理解不足を招き、このことが初等教育において学習の障害となっている。その傾向が強い地方においてこそ、現地語（民族語）を使用した教育を積極的に実施し、地域社会の中での理解を深めてもらうとともに、地域の生活に役立つ教育を推進していく必要があると考える。

それぞれの民族の言語を使って教育している実験校では、学力の向上、進級率の向上に成果を上げており、国民教育省も、その必要性について高い評価を与えている。しかし、それぞれの民族の言語を使った教科書や教材の整備が遅れているために、実験校の拡大が進まないのが現状である。

実験校での教育を評価し、初等教育における現地語（民族語）の使用を重点的に推進させることも、児童の就学率の向上に大きな意味を持つものとおもわれることから、現地語を併用使用した教科の指導法をカリキュラムの中に取り入れ、教育の質的向上をはかることが望まれる。

④ 地域社会および親に対する啓蒙活動の推進＝親の意識改革

児童の就学を妨げる要因の一つとして、地域社会や親の教育に対する無理解が挙げられる。特に、子供を労働力として考えている農村部の親において、その傾向が強い。これは学校で学ぶ学習内容が、日常生活のなかでいかず機会が少ないこと、学校教育に対する理解が足りないこと、教育の就職に対するメリット意識が欠如していることによる。学校がより地域と密着したものとなるために、教室を地域コミュニティに開放し、母親学級などの成人教育の場として、地域住民が利用していただけるようにすることも必要である。そうすることが地域社会全体における学校の認識を高めていくことになる。親に対しても学級の様子や学習状況などを連絡したり、授業参観などを積極的に行ないながら、父兄会の活動を支援していく姿勢が学校に求められる。

5-3 提言

下記の提言は、教育環境の改善として、長年課題とされてきたことで、ニジェール国においても行動計画においても改善の対象とされている問題である。

(1) 現状と問題点

ニジェール国は教育を最優先事項として開発政策のなかに取り入れ、社会開発計画でも重要項目とし、教育環境の改善に務めている。しかしながら、ニジェール国の発展を妨げている要因、すなわち経済的な危機、人口の急激な増加、教育システムが社会、経済、文化の現実に適合しない教育システムの機能不全などが、教育環境の改善に暗い影を投げかけ、教育開発への機会は大変危ういものになっている。

このような状況のなか、国民教育省は「教育行動計画(1996-2000)」を策定し、①就学率の向上、②教育の男女格差是正、③識字率の向上、④教育の地域的不均衡是正などの課題を解決するべく取り組んでいるが、端緒についたばかりである。

教育環境開発の観点から、教育環境改善を阻む要因として、下記の項目が提起される。

- 1) 絶対的な教育施設、教育機材の不足および老朽化
- 2) 児童が教育をうける環境/条件(教科書、教材)の整備不足
- 3) 教員養成の遅れ
- 4) 経済的事情(貧困からくる親の教育への無理解)
- 5) その他

その他、生活習慣事情、宗教的事情、児童の栄養不良が就学率に影響を与えている。

生活習慣事情：ニジェール国の北部において、遊牧生活による規則的な登校不能は、就学に対する意欲を疎外している。

宗教的事情：宗教によって、教育の内容が宗教上の趣旨を疎外することから、一般的な教育をうけることを拒んでいる。

児童の栄養不良：地方における児童の栄養不良、加えて遠距離通学が児童の負担となっている。

これらの要因が複合的に結びついているため、単一的な解決で教育環境改善をはかれるものではないが、教育開発計画の観点から教育環境改善のための提言を挙げる。

(2) 教育環境の改善に対する提言

1) ハード面での提言

- ① 教育施設、機材の充実(藁小屋教室の恒久的施設への建替え/バンコ教室などの劣悪な構造の施設の恒久的施設への建替え)

「国民教育省行動計画(1995-1999年)」にそって、就学率を2000年までに現在の29%(1993/94年)から35%(1999/2000年)に引上げるため、環境の整備が当面の直接的な方策である。

教室の建設、藁小屋教室やバンコ教室の建替えは、児童の学習環境を保障するものであり、就学意欲を高めることにつながる。当面の教室不足は、都市部で2部授業、地方部で複式授業をさらに推進し、就学率の向上をはかることができる。

学校施設環境改善として、便所の設置も検討課題として挙げられる。

特に、民家に隣接する都市部の小学校においては、公衆衛生の観点からも便所の設置が望まれる。便所の設置、利用を通して、児童に対して衛生教育が行なわれることが望ましい。また、便所の設置は、女子の就学率向上への一助となる。

② 教育機材/教材の充実

既存の教科書が必ずしもニジェール国の教育をすすめるうえでの実情にあっていない。教科書や教材に対する政策(概念、生産、配布)を明確にすることで、教科書を作成し、児童にいきわたるようにすることは教育の充実のために重要である。

2) ソフト面での提言

① 施設・備品の管理に対する児童の参加

教室の整備にとまない、教室の清掃や管理、さらには机や椅子といった教育備品の管理について、児童自らが意欲的に行なえるようにすることが学習環境の整備につながる。

② 教員養成制度の充実(師範学校の充実)

教室の建設にとまない、教員の採用計画もすすめられている。毎年新規採用として520名、退職者などの補充として200名の合計720名の採用を計画している。

教員の養成は、現在タウア、ザンデール、ドツソ、マラディの四つの師範学校において行なわれているが、さらに内容の充実が必要と思われる。

ドツソの師範学校のカリキュラムによると、2年間の養成期間のうち1/3が各地の小学校における実習にあてられている。実習期間が多いために、実習校の確保、学生の配属にとまなう諸経費の増加が問題となっている。また、実習に追われ、学習理論や教科内容、指導方法などについての学習が十分に行なわれにくい。

実習体験を重視した現在の授業形態を尊重しながら、より効率的な実習期間の設定をしていく必要がある。さらに、学習理論や学習指導要領、各教科別あるいは発達年齢に応じた学習指導法などについて、より多くの時間をあてる必要があると考える。

また教科以外における生徒指導、教育相談などの理論と方法についての学習も取り入れていった方がよい。そのためには教師の適切な教育、指導が必要で、教科学習のほかにも、児童の生活や行動についての教育も、学校教育の一つとして積極的に行なわれていく必要がある。

新規採用教員の養成に加え、現職教員の意識の向上、新たな授業方法の習得を目的とした教員再教育を積極的に行う。

資料編

資料編

- 添付資料 1 調査団員氏名
- 添付資料 2 調査日程
- 添付資料 3 面会者リスト
- 添付資料 4 ニジェール国データ／社会・経済関連基礎データ
- 添付資料 5 ニジェール近隣諸国 教育関連データ比較表
- 添付資料 6 初等教育における教育方式別生徒数
- 添付資料 7 小学校県別生徒数・就学率
- 添付資料 8 小学校の生徒数・教員数
- 添付資料 9 小学校のカリキュラム
- 添付資料 10 調査対象校各校の現状
- 添付資料 11 調査対象各校の机・椅子の数量
- 添付資料 12 初等教育における格差
- 添付資料 13 小学校教室建設のための見積仕様書
- 添付資料 14 計画地選定基準と選定結果
- 添付資料 15 小学校計画対象校配置図
- 添付資料 16 計画対象敷地現況写真(抜粋)
- 添付資料 17 参考資料

添付資料1 調査団員氏名

(1) 基本設計調査

塚原大貳	団長	外務省 経済協力局無償資金協力課 課長補佐
高瀬由康	建築計画/教育計画	(株)大建設計
浦田憲二	教育開発計画	同上
高橋 晶	施設計画/サイト調査I	同上
森 裕	施設計画/サイト調査II	同上
宮部憲明	施設計画/サイト調査III	同上
丸山忠雄	通 訳	同上

(2) 基本設計概要説明

戸塚真治	団長	国際協力事業団 無償資金協力調査部 基本設計調査第二課
高瀬由康	建築計画/教育計画	(株)大建設計
浦田憲二	教育開発計画	同上
宮部憲明	通 訳	同上

添付資料2 調査日程

(1) 基本設計調査日程(1996年1月13日-2月21日)

月日(曜日)	調査行程・内容
1月13日(土)	東京発、パリ着
14日(日)	パリ発、ニアメ着/JOCV事務所訪問・打合せ
15日(月)	国民教育省訪問・協議
16日(火)	合同調査(類似施設調査)
17日(水)	国民教育省と協議
18日(木)	(官団員) 国民教育省と協議録協議(高瀬、浦田、丸山 同行) (コンタクト) 国民教育省とサイト調査につき協議/大蔵省地籍課
19日(金)	(官団員) 国民教育省と協議録署名 (コンタクト) 世銀ニジェール事務所(高瀬、浦田、丸山 同行) 積算調書配布、現地コンサル調査内容の打合せ
20日(土)	(官団員) ニアメ発、アビジャン着 (コンタクト) 団内会議、資料整理
21日(日)	(官団員) 資料整理 (コンタクト) 団内会議、資料整理
22日(月)	(官団員) 在象牙海岸日本大使館報告、アビジャン発 (コンタクト) 国民教育省協議/サイト調査(ニア都市区/30郡)
23日(火)	(官団員) パリ着、パリ発 (コンタクト) 国民教育省協議/サイト調査(ニア都市区)
24日(水)	(官団員) 東京着 (コンタクト) 教育事情調査(トゥッ師範学校)/サイト調査(ニア都市区)
25日(木)	教育事情調査(ティバハリ郡)/サイト調査(ティバハリ郡)
26日(金)	教育事情調査(実験校)/サイト調査(ニア都市区)
27日(土)	団内会議、資料整理
28日(日)	団内会議
29日(月)	国民教育省協議、JOCV(調査安全対策協議)
30日(火)	教育事情調査(国民教育省・INDRAP調査)・気象庁 /サイト調査(フィラガ郡)
31日(水)	国民教育省協議/サイト調査(ニア都市区)

月日(曜日)	調査行程・内容
2月1日(木)	建設事情調査/サイト調査(ウアラム郡)
2日(金)	建設事情調査/サイト調査(ウアラム郡)
3日(土)	(教職発着) 団内会議、資料整理 帰国：ニアメ発
4日(日)	(教職発着) 団内会議、資料整理 パリ着、パリ発
5日(月)	(教職発着) 建設事情調査/サイト調査(コ郡) 東京着
6日(火)	建設事情調査/サイト調査(コ郡/ニア都市区)
7日(水)	NGO(Aide et Action)訪問調査/サイト調査(テラ郡)
8日(木)	世銀ニジェール事務所訪問調査/サイト調査(テラ郡)
9日(金)	サイト調査結果を教育省に中間報告
10日(土)	(教職発着) 団内会議、資料整理 帰国：ニアメ発
11日(日)	(教職発着) 団内会議、資料整理 パリ着、パリ発
12日(月)	(教職発着) サイト調査(サ郡) 東京着
13日(火)	インフラ事情・一般事情調査
14日(水)	機材調査/積算調査
15日(木)	機材調査/積算調査
16日(金)	JOCV事務所、国民教育省 調査結果報告
17日(土)	(サイト調査I) (サイト調査II) 団内会議、資料整理 帰国：ニアメ発、アビジャン着 帰国：ニアメ発
18日(日)	(サイト調査I) (サイト調査II) 資料整理 パリ着、パリ発
19日(月)	(サイト調査I) (サイト調査II) 在象牙海岸日本大使館へ結果報告、アビジャン発 東京着
20日(火)	(サイト調査I) パリ着、パリ発
21日(水)	(サイト調査I) 東京着

(2) 基本設計概要説明日程(1996年4月20日～5月2日)

月日(曜日)	調査行程・内容	
4月20日(土)	東京発、バリ着	
21日(日)	バリ発、ニアメ着	
22日(月)	JOCVニジェール事務所 訪問・打合せ 外務協力省、大蔵計画省 表敬訪問 国民教育省訪問 基本設計概要報告書説明	
23日(火)	国民教育省訪問 基本設計概要報告書協議 協議録(案)協議	
24日(水)	トワレグ和平記念日(祭日) 団内会議、資料整理	
25日(木)	協議録署名	
26日(金)	サイト視察、補足調査(積算調査/サイト調査)	
27日(土)	(不参加) (官団員)	団内会議、資料整理 団内会議、ニアメ発、アビジャン着
28日(日)	(不参加)	ニアメ発
29日(月)	(不参加) (官団員)	バリ着 大使館、JICA事務所報告/アビジャン発
30日(火)	(不参加) (官団員)	バリ発 バリ着
5月1日(水)	(不参加) (官団員)	成田着 バリ発
2日(木)	(官団員)	成田着

添付資料3 面会者リスト

1. 在象牙海岸共和国日本大使館
 佐藤裕美 特命全権大使
 川村 裕 参事官
 森谷裕司 書記官
2. 国際協力事業団コートジボアール事務所
 辰巳石夫 所長
 山形茂生 次長
3. 青年海外協力隊ニジェール調整員事務所
 塩谷正毅 主任調整員
 田中 收 調整員
 森 龍子 医療調整員
4. ニジェール共和国外務協力省(旧)
 M. BAKARY YAOU SANGARE 外務協力省参事官、アジア部長
 ニジェール共和国外務省(新)
 M. DANBINA BAWA アメリカ・アジア・大洋州局長
5. ニジェール共和国大蔵計画省
 M. IDE ISSOUFOU 財務・投資局長
 M. BADJE HARIDOU プログラム・計画局長
6. ニジェール共和国国民教育省
 Mme DIALLO BOULI ALI 教育大臣
 M. AMADOU HAMIDOU 政務次官
 M. IRO YAHOUZA 調査・企画局長
 M. OUMAROU BARKIRE 調査・企画局次長
 M. BOUBACAR OUMAROU 教育施設・機材室課長 教育計画III担当
 M. DARI MAMANE 教育施設・機材室 技師 教育計画III担当
 M. GAMBO MAHAMANE SADISSOU 計画調査・追跡室
 M. ALHASSANE KOBO 計画調査・追跡室
 M. SOUMANA MOSSI コロ初等教育視学官
 Mme ALI SALAMATOU ガウエ中学校校長
 M. ISSOUFOU HAMIDOU ドッソ市第三中学校校長
 M. YACOUBA MAYAKI ドッソ・マリ・ペロ師範学校教頭
 M. ISSA AMABOU ドッソ・マリ・ペロ師範学校校長
 M. HAMMA ISSOUFOU BAYERO ドッソ地方教育局
 M. BAOUA MAHAMAN 調査計画立案局調査計画追跡室員
7. 世界銀行
 M. ABDUL HAJI ニジェール事務所 所長
8. フランス大使館
 Mme M.S. BOUSSU フランス大使館文化活動協力ミッション 文化交渉官
9. AIDE ET ACTION
 M. FRANCOIS BARRET 計画責任者

添付資料4 ニジェール国データ/社会・経済関連基礎データ

1996.03 1/2

国名	ニジェール共和国
	Republic of Niger

一般指標				
政体	移行期	*1	首都	ニアメ
元首	President Brig. Gen. Ali SAIBOU	*1	主要都市名	ジニャー、マティ、タフ
独立年月日	1960年08月03日	*1	経済活動可人口	4,000千人 (1992年)
人種(部族)構成	ハウサ族、ハクリ族、フー族	*1	義務教育年数	8年間 (1994年)
		*1	初等教育就学率	-%
言語・公用語	フランス語、ハウサ語	*1	初等教育終了率	82.0% (1990年)
宗教	回教75%、キリスト教、地域信仰	*1	識字率	31.0% (1992年)
国連加盟	1960年09月	*2	人口密度	7.0827人/Km ² (1994年)
世銀・IMF加盟	1963年04月	*3	人口増加率	3.36% (1994年)
			平均寿命	平均44.15 男 42.6 女 45.75
			5歳児未満死亡率	210 /1000 (1992年)
面積	1,267千Km ²	*4	カロリー供給量	2,240.0 cal/日/人 (1990年)
人口	8,971,605千人 (1994年)	*4		

経済指標				
通貨単位	CFAフラン	*1	貿易量	(1992年)
為替レート(1US\$)	1US\$= 512.15 (01月)	*6	輸出	272.0百万ドル
会計年度	10月～ 9月	*1	輸入	291.0百万ドル
国家予算		*7	輸入依存率	7.1% (1992年)
歳入	- 百万ドル	*7	主要輸出品目	ウラン鉱石、畜産品、豆類、玉葱
歳出	- 百万ドル	*7	主要輸入品目	天然資源、機械、車部品、電子機器、糸
国際収支	-19.2 百万ドル (1992年)	*7	日本への輸出	0.2百万ドル (1992年)
ODA受取額	362.00 百万ドル (1992年)	*8	日本からの輸入	10.0百万ドル (1992年)
国内総生産(GDP)	2,220.00 百万ドル (1993年)	*9		
一人当たりGNP	270.0 ドル (1993年)	*9	外貨準備総額	77.1百万ドル (1995年)
GDP産業別構成	農業 37.0% (1992年)	*10	対外債務残高	1,711.0百万ドル (1992年)
	鉱工業 17.0% (1992年)		対外債務返済率	14.2% (1992年)
	サービス業 46.0% (1992年)		インフレ率	1.7% (1992年)
産業別雇用	農業 85.0% (1992年)	*5		
	鉱工業 3.0% (1992年)		国家開発計画	
	サービス業 12.0% (1992年)			
経済成長率	-6.2% (1992年)	*8		

気象(1973年～1983年平均) 場所: Namey (標高 216m)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均計
最高気温		34.0	37.0	41.0	42.0	41.0	38.0	34.0	32.0	34.0	38.0	38.0	34.0	36.9℃
最低気温		14.0	18.0	22.0	25.0	27.0	25.0	23.0	23.0	23.0	23.0	18.0	15.0	21.3℃
平均気温		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0℃
降水量		0.0	0.0	5.0	8.0	33.0	81.0	132.0	188.0	94.0	13.0	0.0	0.0	554.0 mm
雨期/乾期		乾	乾	乾	乾			雨	雨			乾	乾	

- *1 The World Factbook(C.I.A)(1993)
- *2 Unite Nations Information Center(FAX)(1994)
- *3 Development Assistance Annual Report(1995)
- *4 The World Fact Book(1995)
- *5 Human Development Report(1994)
- *6 International Financial Statistics(1995)
- *7 International Financial Statistics Yearbook(1994)

- *8 World Development Report(1994)
- *9 World Tables(1995)
- *10 World Tables(1994)
- *11 World Debt Tables 1993-1994,(1993)
- *12 世界の国一覽(外務省外務報道官編集)(1993)
- *13 最新世界各国要覧(1995)
- *16 World Weather Guide(1990)

国名	ニジェール共和国 Republic of Niger
----	-------------------------------

1996.03 2/2

*14

項目	1989	1990	1991	1992
無償資金協力	2,043.46	2,382.47	2,515.30	2,699.97
技術協力	2,146.74	1,989.63	2,050.70	2,194.95
有償資金協力	5,161.42	5,676.39	7,364.47	5,852.05
総 額	9,351.62	10,048.49	11,930.47	10,746.97

*3

項目	1993	1990	1991	1992
無償資金協力	11.76	3.42	9.10	10.97
技術協力	17.41	25.98	19.00	11.57
有償資金協力	-0.54	7.51	5.01	-0.84
総 額	28.63	36.91	33.11	21.70

*14

	贈 与 (1)		有償資金協力 (2)	政府開発援助 (ODA) (1) + (2) = (3)	その他政府資 金及び民間資 金 (4)	経済協力総額 (3) + (4)
		技術協力				
二国間援助 (主要供与国)	259.60	102.30	2.00	261.60	-5.70	255.90
1. フランス	103.60	35.30	-0.50	103.10	-5.70	97.40
2. ドイツ	33.80	16.90	0.00	33.80	0.00	33.80
3. アメリカ	30.00	18.00	0.00	30.00	0.00	30.00
4. 日本	22.60	11.00	-0.80	21.80	0.00	21.80
多国間援助 (主要援助機関)	82.20	33.00	25.30	107.50	1.60	109.10
1. CEC	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2. UNDP	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
そ の 他	0.50	0.00	-0.50	0.00	0.00	0.00
合 計	342.30	135.30	26.80	369.10	-4.10	365.00

*15

技術	外務省関係各省庁・機関→外務協力省
無償	外務省関係各省庁・機関→外務協力省
協力隊	外務省関係各省庁・機関→外務協力省

*14 Geographical Distribution of Financial Flows of Developing Countries(1994)

*15 国別協力情報(JICA)

添付資料5 ニジェール国近隣諸国 教育関連データ比較表

国名	人口 (百万人)	一人当たり GNP (US\$)	教育に充 当される GNPの 割合 (%)	国家予算 に占める 教育予算 の割合 (%)	成人 識字率 (%)	初等教育			初等か ら中等 への 進学率 (%)	中等教育		高等教 育就学 率 (%)
						就学率 (%)	卒業率 (%)	教師一 人に対 する生 徒数		就学率 (%)	教師一 人に対 する生 徒数	
ニジェール	7.7 (1990)	310 (1990)	2.8	15.2 (1990)	14	28 (1991)	21 (1989)	42 (1991)	37	7 (1991)	33 (1991)	1
マリ	8.0	260	3.2 (1987)	9.0	10 (1987)	15	60 (1981)	44 (1981)	66 (1981)	6	11 (1981)	1
ブーリナ	8.8	310	2.5 (1985)	21.0 (1985)	8	28	25 (1983)	57 (1983)	16 (1983)	6	24 (1983)	1
カメルーン	11.5	1,010	2.7 (1987)	12.0	65 (1988)	83	45	50	-	27	28	3
セネガル	7.1	650	5.0	22.0 (1987)	10 (1988)	58	59	46	19	16	24	3
ギニア	6.1	430	3.3	8.5 (1990)	30 (1990)	28 (1988)	47 (1988)	40 (1988)	40 (1988)	8	21 (1988)	1
ケニア	24.9	380	7.0 (1987)	22.1	50	94	58 (1982)	36 (1982)	35 (1982)	23	26 (1982)	2
ルワンダ	7.0	310	3.5 (1987)	22.3 (1987)	50	61	30 (1983)	42 (1987)	9 (1983)	6	14 (1987)	0.4 (1983)
基準年度	1989	1989	1984	1989	1989	1989	1984	1984	1984	1988	1984	1988

注) () は、基準年度以外の年度を示す。

出典：世銀資料他より作成。

添付資料6 初等教育における教育方式別生徒数

(1995/95年)

学年	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計								
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子							
教育方式	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子							
佐賀県	7,062	6,930	13,992	6,306	6,552	12,859	5,408	5,534	10,942	5,007	5,010	10,017	4,733	4,375	9,608	6,735	7,533	14,288	35,251	36,455	71,706
茨城県	47	26	73	39	38	77	47	41	88	42	35	77	41	34	75	47	38	105	263	232	495
メデルサ校	479	342	821	505	317	822	344	227	571	285	141	485	174	122	296	217	417	634	1,984	1,566	3,550
特別学校	7	8	15	6	6	12	11	5	16	9	1	10	34	8	42	145	60	205	212	88	300
公立計	7,595	7,306	14,901	6,856	6,914	13,770	5,810	5,807	11,617	5,323	5,187	10,510	4,382	5,039	10,021	7,144	8,088	15,222	37,710	38,341	76,051
私立	680	682	1,342	625	555	1,180	549	493	1,042	490	442	932	456	432	888	678	579	1,257	3,478	2,163	6,641
メデルサ校	526	346	872	439	283	722	437	254	691	346	176	522	293	155	438	313	168	481	2,344	1,382	3,726
私立計	1,206	1,008	2,214	1,084	838	1,902	986	747	1,733	836	618	1,454	739	587	1,326	991	747	1,738	5,822	4,545	10,367
メデルサ校	8,301	8,314	17,115	7,920	7,752	15,672	6,796	6,534	13,350	6,159	5,805	11,964	5,721	5,626	11,347	8,135	8,835	16,970	43,532	42,896	86,418
メデルサ校	6,561	4,911	11,472	6,815	5,180	11,995	5,255	3,977	9,232	4,596	3,655	8,251	4,678	3,590	8,268	6,569	4,619	11,188	34,474	25,932	60,406
特別学校	69	43	112	45	47	92	22	23	45	17	25	42	44	33	77	48	71	119	245	242	487
メデルサ校	335	248	583	279	197	476	190	148	338	188	109	297	140	133	273	184	141	325	1,316	976	2,292
特別学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立計	6,965	5,202	12,167	7,139	5,424	12,562	5,467	4,148	9,615	4,801	3,739	8,590	4,862	3,756	5,618	5,801	4,831	11,632	36,036	27,150	63,185
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
メデルサ校	24	28	52	28	45	123	14	14	28	7	3	10	1	5	6	3	1	4	127	96	223
私立計	24	28	52	28	45	123	14	14	28	7	3	10	1	5	6	3	1	4	127	96	223
小計	6,989	5,230	12,219	7,217	5,469	12,686	5,481	4,162	9,643	4,808	3,792	8,600	4,863	3,761	5,624	6,804	4,832	11,636	36,162	27,246	63,408
佐賀県	45,698	27,672	73,371	49,941	28,930	78,871	39,459	22,889	62,348	34,949	20,199	55,148	32,038	19,032	51,070	41,363	25,297	67,160	243,948	144,020	387,968
茨城県	449	275	724	590	366	956	433	250	683	348	213	561	428	263	691	635	433	1,068	2,864	1,800	4,664
メデルサ校	2,485	1,697	4,182	2,477	1,697	4,174	1,905	1,337	3,242	1,715	1,038	2,733	1,407	987	2,394	2,076	1,385	3,413	12,065	8,141	20,206
特別学校	13	11	24	16	8	24	15	6	21	14	1	15	37	10	47	149	62	211	244	98	342
公立計	48,645	29,656	76,301	53,024	31,001	84,025	41,812	24,482	66,294	37,026	21,451	58,477	33,910	20,292	54,202	44,723	27,177	71,652	259,121	154,059	413,180
私立	936	907	1,843	877	745	1,622	774	655	1,429	672	610	1,282	643	576	1,219	881	761	1,642	4,783	4,254	9,037
メデルサ校	630	416	1,046	630	363	993	580	322	902	451	218	669	352	189	541	389	201	590	3,032	1,709	4,741
私立計	1,566	1,323	2,889	1,507	1,108	2,615	1,354	977	2,331	1,123	828	1,951	995	765	1,760	1,270	962	2,232	7,815	5,963	13,778
合計	50,211	30,979	81,190	54,531	32,109	86,640	43,166	25,459	68,625	38,149	22,279	60,428	34,905	21,057	55,962	45,993	28,139	74,084	263,904	160,022	426,926

注) 伝統校 …… フランス語のみで授業を行う学校。
 実験校 …… 最初の3年間は部族語を取り入れた授業を行う学校。
 メデルサ校 …… イスラム教のコーランを中心とした教育を行う学校で
 授業ではアラビア語を使用する。
 特殊学校 …… 身体障害者を対象とした学校。

出典：国民教育省「教育統計年鑑1994/95年度」

添付資料7 小学校県別生徒数・就学率

(公立+私立)1992年

県名	人口 (1992年)	就学対象 児童数 (人)	就学 児童数 (人)	就学率 (%)
アカデイス県	238710	39387	18296	46.5%
ディファ県	216149	35665	8433	23.7%
ドッソ県	1164076	192073	47156	24.6%
マラディ県	1588253	262062	56463	21.6%
ニアメ都市区	454308	74961	69202	92.3%
タウア県	1495851	246815	54294	22.0%
ティラベリ県	1518353	250528	60623	24.2%
ザンデル県	1612976	266141	55603	20.9%
全国	8288677	1367632	370117	27.1%

出典：国民教育省「教育統計年鑑1991/92年度」

添付資料8 小学校の生徒数・教員数

生徒数(1994/95年)

	公 立			私 立			合 計		
	男 子	女 子	全 体	男 子	女 子	全 体	男 子	女 子	全 体
幼稚園	3,830	3,505	7,335	1,229	988	2,217	5,059	4,493	9,552
小学校	259,121	154,059	413,180	7,815	5,963	13,778	266,939	160,022	426,958
中学校	47,957	21,967	69,924	5,288	4,536	9,824	53,245	26,503	79,748
高等学校	8,439	2,470	10,909	973	757	1,730	9,412	3,227	12,639
師範学校	920	238	1,158	0	0	0	920	230	1,158
技術学校	663	101	764	0	0	0	663	101	764
合 計	320,930	182,340	503,270	15,305	12,244	27,549	336,235	194,584	530,819

出典：国教育省「教育統年鑑 1994/95年度」

教員数(1994/95年)

	公 立			私 立			合 計		
	男 子	女 子	全 体	男 子	女 子	全 体	男 子	女 子	全 体
幼稚園	0	369	369	0	37	37	0	406	406
小学校	6,993	3,522	10,515	*	*	253	*	*	10,768
中学高校	1,921	564	2485	*	*	508	*	*	2,993
師範学校	65	7	72	0	0	0	65	7	72
技術学校	108	9	117	0	0	0	108	9	117
合 計	9,087	4,471	13,558	*	*	798	*	*	14,356

出典：国教育省「教育統年鑑 1994/95年度」

添付資料9 小学校のカリキュラム

(1) 伝統校のカリキュラム

科 目	1・2年生	3・4年生	5・6年生
フランス語	15時間15分	11時間15分	10時間
職業・家庭	3 : 25	3	3
歴史	—	1	1
道徳・倫理	50	45	1
地理	—	1	1
算数	5	5	5
物理	—	45	1
自然科学	—	45	1
保健・体育	2	2	2
図画	1	2	2 : 30
レクリエーション	2 : 30	2 : 30	2 : 30
合 計	30時間	30時間	30時間

注) レクリエーションは午前中の中間休憩時間で、自由時間となっている。

(2) 実験校のカリキュラム

科 目	1年生	2年生	3年生	4年生	5・6年生
国語	13時間30分	11時間	5時間	3時間	3時間30分
フランス語	—	3	6	8	6
職業・家庭	4 : 30	4	3 : 15	3	3 : 30
歴史	—	—	1	1	1
道徳・倫理	30	30	45	1	1
地理	—	—	1	1	1
算数	5	5	5	5	5
物理	—	—	2 : 30	1 : 30	2
自然科学	—	—	—	—	—
保健・体育	2	2	2	2	2
図画	2	2	2	2	2 : 30
レクリエーション	2 : 30	2 : 30	2 : 30	2 : 30	2 : 30
合 計	30時間	30時間	30時間	30時間	30時間

出典：国民教育省教育教材研究所「小学校学習指導要項」

(2) ティラベリ県

番号	ティラベリ県 学校名	現状生徒数						現状 生徒数	通所 授業	2部授業	合計	教室 合計	現状 員数	現状教室数				便所 有無	生徒数 / 教室数	生徒数 / 2部数	既存自備施設	
		C1	CP	CE1	CE2	CM1	CM2							単格	複小	複大	合計					
F-	フィラング郡																					
1	バレイヤラ サントロ	57	120	70	86	78	129	540	9	1*(2)	11	10	12	8	2		10	×	54	48	校長室/図書室	
2	タブラ	57	44	49	36	50	49	285	6		6	6	6	8			8	×	48	48		
3	ボンクク カルチェ	36		35		31	40	142	4		4	4	4	4			4	×	36	36		
4	ダマナ カルチェ	49	28	55		33	30	195	5		5	5	5	3	2		5	×	39	39	給水	
	小計	199	192	209	122	192	248	1162	24		26	25	22	23	4	0	27		46	45		
11-	ティラベリ郡																					
1	ダイベリ	24	26	29		11	35	125	3	(複2)	5	3	3	2	1		3	×	42	25		
2	ティラベリ メデルサ	81	81	53	66	81	47	369	9		6	6	8	5	1		6	○	62	62	図書/音楽	
3	ティラベリ カルチェ	110	114	90	108	118	118	638	12		12	12	12	7	5		12	×	55	55	給水	
4	ティラカイナ	60	44	48	44	38	33	267	7		7	7	6	5	2		7	×	38	38	給水	
5	カピア	44	58	66	63	44	47	322	7		7	7	10	3	4		7	×	46	46	給水	
	小計	289	303	286	281	292	280	1741	35		37	35	39	22	13	0	35		50	47		
1-	コロ郡																					
1	コロ ザルマ	33	21	36	35	33	22	186	6		6	6	7	4	2		6	×	31	31		
2	リボレ	28	23	37	28	28	20	165	8		8	8	10	6	2		8	×	21	21	図書	
3	コロ カルチェ	100	90	90	49	94	78	561	12		12	12	16	10	2		12	×	42	42	校長室	
4	リボレ ザルマ	36		26	23			85	3		3	3	3	2	1		3	×	28	28		
5	クルアレ	41	52	85	62	47	33	306	8		8	8	9	4	2		8	×	38	38		
6	スドゥレ	83	46	45	47	31	30	282	7		7	7	8	5	2		7	×	40	40		
7	リボレ チンダファル	29	15	29	18	23	42	156	7		7	7	8	3	2	2	7	×	22	22		
	小計	350	253	328	263	256	225	1675	51		51	51	61	34	13	4	51		33	33		
9-	ウラム郡																					
1	ウラム実験校	12	9	12	15	22	29	109	6		6	6	6	4	2		6	×	18	18	給水	
2	シミリ	43			17	15	16	91	2	(複1)	3	3	3	3			3	×	30	30		
3	グセ	60	45		34	23	28	191	2	(複1)	3	3	2	4			4	×	64	64	給水/図書	
	小計	115	54	12	66	70	74	391	10		12	12	11	11	2	0	13		33	33		
S-	サイ郡																					
1	サイ サントロ	85	82	60	63	79	79	448	12		12	12	13	8	4		12	×	37	37	校長室	
2	サイ カルチェ	71	74	84	77	85	90	483	10		10	10	10	7	3		10	×	48	48	図書	
	小計	156	156	144	140	164	169	929	22		22	22	23	15	7	0	22		42	42		
16-	アラ郡																					
1	ゴタイエ メデルサ	40		31		28	9	168	2	(複1)	3	3	6	2	1		3	×	36	36		
2	ゴタイエ 女子校	39	46	31	39	40	30	224	6		6	6	7	5	1		6	×	37	37		
3	アラ実験校	21	19	17	17	22	35	131	6		6	6	6	2	3	1	6	×	22	22	給水	
4	フタンコレ	40	42	51	54	51	53	301	7		7	7	7	4	3		7	×	43	43		
5	シルフイ コブラ	20	33	19	17	5	20	114	2	(複2)	4	4	4	3	1		4	×	29	29		
6	ハリクカ	8	10	22		28		68	2	(複1)	3	3	3	3			3	×	23	23		
	小計	167	150	171	127	175	157	947	25		29	28	33	16	12	1	29		33	33		
	ティラベリ県 合計	1286	1168	1150	989	1149	1153	6845	167		0	172	174	194	121	51	5	177		39	39	

7-1 郡内区+ティラベリ県 合計	5369	5133	4356	4543	4312	4736	28449	431			653	544	574	409	135	5	549		52	44	
-------------------	------	------	------	------	------	------	-------	-----	--	--	-----	-----	-----	-----	-----	---	-----	--	----	----	--

添付資料11 調査対象校各校の机・椅子の数量

(1)ニアメ都市区

番号	ニアメ都市区 学校名	生徒用 机・椅子	現況 教室数	現況 生徒数	机椅子 /教室数	生徒数/ 机・椅子
VI	ニアメ コミューン I					
1	パニファンドウ I	152	7	453	16.9	3.0
2	ブコキ I	280	8	1087	20.0	3.9
3	ブコキ II	343	8	991	24.5	2.9
4	シテ ケッス	274	7	761	22.8	2.8
5	ダール エッサラーム II	100	5	386	14.3	3.9
6	デイゼイボン	300	8	594	27.3	2.0
7	ガボグラ	57	6	196	9.5	3.4
8	グデル II	267	9	507	22.3	1.9
9	コワラ カノ	273	8	355	34.1	1.3
10	コワラ テギ	275	7	451	27.5	1.6
11	ラザレ II	300	7	976	23.1	3.3
12	ロッソ グング	212	8	373	26.5	1.8
13	プラトー	228	8	808	17.5	3.5
14	ドンディピア	113	6	294	18.8	2.6
15	ヤンカラ ルカーズマン	120	8	514	12.0	4.3
16	ラザレ I	299	7	923	23.0	3.1
	小計	3593	117	9669	21.6	2.7
VII	ニアメ コミューン II					
1	アエロポール IV	366	9	732	30.5	2.0
2	バラレ	359	9	721	29.9	2.0
3	パニグング	132	6	222	22.0	1.7
4	ポッセイ バング	50	3	111	12.5	2.2
5	ガムカレIII	283	7	860	22.2	3.0
6	ガムカレIV	331	11	546	27.6	1.6
7	グリギンデ	122	6	197	20.3	1.6
8	カレイ	320	9	1264	21.3	4.0
9	コング ゴンガ	89	4	99	22.3	1.1
10	サガ II	285	9	604	23.8	2.1
11	サガ III	287	3	167	95.7	0.6
12	サガ グル II	111	1	30	55.5	0.3
	小計	2740	77	5553	27.1	2.0
VIII	ニアメ コミューン III					
1	カラジェ	213	9	762	17.8	3.6
2	ガウイー I	274	9	852	19.6	3.1
3	ガウイー II	160	5	577	17.8	3.6
4	キルクソイ I	377	8	918	26.9	2.4
5	キルクソイ II	173	4	552	19.2	3.2
6	ラモルデII	159	7	520	15.9	3.3
7	ノガレ	221	8	465	20.1	2.1
8	ネニ グング	59	5	152	11.8	2.6
9	ボン ケネディー	256	7	891	19.7	3.5
10	リーフ ドロワット III	285	8	693	23.8	2.4
	小計	2177	70	6382	20.0	2.9
	ニアメ都市区 合計	8510	264	21604	22.6	2.5

(2) ティラベリ県

番号	ティラベリ県 学校名	生徒用 机・椅子	現況 教室数	現況 生徒数	机椅子 /教室数	生徒数/ 机・椅子
F-	フィランダ郡					
1	バレイヤラ サントロ	169	9	540	16.9	3.2
2	タブラ	111	6	285	18.5	2.6
3	ボンクク カルチュ	55	4	142	13.8	2.6
4	グマナ カルチュ	20	5	195	4.0	9.8
	小計	355	24	1162	14.2	3.3
FE-	ティラベリ郡					
1	ダイベリ	85	3	125	28.3	1.5
2	ティラベリ メデルサ	134	6	369	19.1	2.8
3	ティラベリ カルチュ	218	12	658	18.2	3.0
4	ティラカイナ	146	7	267	20.9	1.8
5	カピア	127	7	322	18.1	2.5
	小計	710	35	1741	19.7	2.5
K-	コロ郡					
1	コロ ザルマ	34	6	186	5.7	5.5
2	リボレ	58	8	165	7.3	2.8
3	コロ カルチュ	198	12	501	16.3	2.6
4	リボレ ザルマ	65	3	85	21.7	1.3
5	クルテレ	140	8	300	17.5	2.1
6	スドゥレ	76	7	282	10.9	3.7
7	リボレ チンダフル	92	7	156	13.1	1.7
	小計	661	51	796	13.0	2.5
O-	ウラム郡					
1	ウラム実験校	83	6	109	13.8	1.3
2	シミリ	32	2	91	10.7	2.8
3	グセ	90	2	191	30.0	2.1
	小計	205	10	391	17.1	1.9
S-	サイ郡					
1	サイ サントロ	164	12	448	13.7	2.7
2	サイ カルチュ	144	10	481	12.0	3.3
	小計	308	22	929	12.8	3.0
TE-	テラ郡					
1	ゴテイエ メデルサ	55	2	108	18.3	2.0
2	ゴテイエ 女子校	100	6	224	16.7	2.2
3	テラ実験校	70	6	131	11.7	1.9
4	フタンコレ	141	7	301	20.1	2.1
5	シルフィ コアラ	48	2	114	12.0	2.4
6	ハリクカ	30	2	69	10.0	2.3
	小計	444	25	947	15.3	2.1
	ティラベリ県 合計	2328	167	4969	13.2	2.9
ニア都市区+ティラベリ県 合計		10838	431	26573	19.6	2.6

添付資料12 初等教育における格差

初等教育の男女格差

(1993/94年)

県	就学人口		女子生徒 (%)
	計	女子	
アガディス県	20,276	7,906	40.0
ディファ県	9,726	4,001	41.1
ドッソ県	54,091	17,055	31.5
マラディ県	62,879	16,325	26.0
ニアメ都市区	78,710	38,464	48.9
タウア県	62,606	16,473	26.3
ティラベリ県	65,632	26,338	40.1
ザンデール県	57,009	19,953	35.0
全国	410,929	146,515	36.0

初等教育の地域間格差

(1993/94年)

県	就学年令人口	就学人口	格差指標	就学率
アガディス県	56,949	20,276	1.2	35.6
ディファ県	33,241	9,726	1.0	29.3
ドッソ県	195,773	54,091	0.9	27.6
マラディ県	260,255	62,879	0.8	24.2
ニアメ都市区	82,506	78,710	3.3	95.4
タウア県	247,501	62,606	0.8	25.3
ティラベリ県	260,390	65,632	0.8	25.2
ザンデール県	274,014	57,009	0.7	20.8
全国	1,410,629	410,929		29.1

添付資料13 小学校教室建設のための見積仕様書

A. 一般条項

本書類は教育計画Ⅱによる教室建設プログラムの枠内で小学校教室建設のすべてを網羅する工事仕様のためのものである。

この見積は制限のあるものではなく、建設業者、下請け業者は、建設の完了に必要なすべての工事を規則通りに行わなければならない。

ひとつまたはいくつかの工事の発注を受ける建設業者、下請け業者は書類全体（図面、概略見積仕様書、天井施工詳細）を理解し、敷地状況、輸送、材料の搬入のために現場を確認しなければならない。

工事開始前に、インフラ・機材室に本書類のすべての漏れやあいまいな部分を問い合わせなければならない。

図面上で寸法をはかることは敷地に禁止される。

天井高は床仕上げ面から、天井までの高さである。

図面上の寸法は仕上げモルタルの厚さを考慮していない。

B. 工 事

B-Ⅰ. 整 地

建設用地および建築物投影部分から2.5mの距離まで、建設業者または下請け業者は土地のGLより±30cmの厚さで土地の起伏にあわせ、整地を行う。

B-Ⅱ. なわ張り・やりかた

なわばり・やりかたは建設業者または下請け業者による水ぐい（地ぐい）、水いとにて施工される。BM（基準点）は建物位置外に設定する。建物のオリエンテーション（方位）は、北/南とする。（但し、既存の建物がある場合や敷地の形態によって難しい場合はその限りでない。）

B-Ⅲ. 根切り

すべての壁の布基礎のための根切り。根切りは巾0.5m、深さ最低0.85mで良好な地盤まで掘ることとする。

B-Ⅳ. 基礎・腰壁

B-Ⅳ-1. 基 礎

すべての基礎は、良好な地盤の上に捨てコンクリート厚さ5cmを敷いて施工する。基礎は、CPA210/325 : 150 kgの骨材コンクリートを使用する。また、フーチンはすべての20cm厚の壁の下に、厚さ15cm、巾40cmでCPA210/325の250kgの鉄筋コンクリートを使用する。配筋は、長手方向は8mmの異形鉄筋、スターラップは6mmの丸鋼を使用する。

B-Ⅳ-2. 腰 壁

腰壁は布基礎の上に直に立ちあげ、GLの一番高いところよりさらに20cmの高さまで立ちあげる。この壁はCPA210/325の350kgのセメントモルタルでつくった20cm×20cm×40cmのコンクリートブロックを使用する。

B-V. 床スラブ

突き固めしたラテライト20cm厚の上に8cm厚のコンクリートの土間スラブを敷設する。床仕上げ面の寸法は外壁の位置のGLから20cmあがりとする。床スラブは腰壁の上端部のレベルと同レベルで設定する。

床仕上げは床スラブと同時に施工した薄い粗面セメントモルタル仕上げとし、床スラブと一体となるようにする。(訳注：目地無し)

B-VI. コンクリートブロック・鉄筋コンクリート工事

B-VI-1. コンクリートブロック工事

耐力壁は、CPA325-350kgのセメントモルタルでできた20cm×20cm×40cmの穴あきブロック造とする。目地は巾1.5cm以下とし、内部を平滑にする。

B-VI-2. 鉄筋コンクリート工事

柱、まぐさ、つなぎ梁、小支柱のコンクリートはCPA325の350kgとする。柱は基礎からつなぎ梁までつながるものとし、断面は20cm×20cmとする。4本の小支柱はまぐさからとし、つなぎ梁と緊結する。これらは2本の

IPN100(訳注：鉄骨I型钢100mm)の支柱となり、柱と同じ断面とする。

まぐさは床から210cmの高さに取付、ドアや窓の縦かまちと一体化する。また、コンクリート部に緊結する建具の枠の取付部を見込んでおく。つなぎ梁に関しては、コンクリート/ブロック工事の最後に施工し、建物壁上部をつなぎ、屋根勾配に合わせる。IPN100および80はつなぎ梁に緊結する。柱と同様につなぎ梁の断面も20cm×20cmとする。屋根板をのせた後、20cm×20cmの鉄筋コンクリートのつなぎを建物の3方に外壁面から3cm張出し、かつ最上部のつなぎ梁のレベルに3~4cm重ねる。

すべての配筋は、長手方向は8mmの異形鉄筋、スターラップは6mmと丸鋼とする。

下請け業者または建設業者はすべて必要な型枠、サポート、パイプレーション、型枠取り外し等を見込むこととする。型枠はかんながけをしていない板を使い、施工に必要なものすべてを見込むこととする。

B-VII. 天井・屋根工事

B-VII-1. 屋根工事

屋根は5/10厚のアルミ板(BAC ALU)とし、IPN80の母屋に、防水用座金を取り付けた後に金属製の止めボルトで緊結する。

屋根板(BAC)は、電氣的現象を避けるため、アスファルト製フェルトまたは特殊な金属架構用ペイント(鉛塩を含むペイント以外の亜鉛、アルミまたはクロム亜鉛の粉をまぜたタール塗装)で母屋と縁を切る。この母屋は妻壁から2.9mの位置にある2本のIPN-100の梁にのせ、梁間隔も2.9mとする。

金属架構は風による持ち上がりを避けるため6mm筋の丸鋼で壁上部のつなぎ梁に緊結する。

B-VII. 天井工事

天井は、寄生虫害に対する特殊処理をほどこした、木製格子枠でサポートした5mm厚のベニヤ板とする。天井は1.08m × 1.20mの格子状をなす4cm巾の目隠し棒とすべての吊りものを含む。

天井ふところの換気は、天井より上の位置にある外壁の上部につくられた開口部によって確保される。この開口部は100mmのPVC管（ひとつの外壁に3ヶ所）に取り付けられた網戸によって保護される。

屋根水下の外壁上部とアルミ屋根との間に出来る小さなすきまは害虫の侵入を防ぐため、セメントモルタルでふさぐ。

B-VIII. 金属建具工事

固定ルーバー突きよろい戸は金属製ドア枠にとりつけられ、1.00m × 2.10mの寸法である。ドア枠はルーバーをより強固にするためかまち中央に1.60mの長さ、20mmのはばのフラットバーで溶接される。

1.00m × 1.20mの固定ルーバー付き金属窓は金属製窓枠に取り付けられる。

(0.50m × 1.20mの2枚戸) 各窓には窓の上下に締め金具が取り付けられる。すべての金属製建具には20mm巾のフラットバーを見込む。

B-IX. 壁仕上げ工事、黒板

・教室の内部はCPA325/350kgの1.5cm厚モルタル仕上げとする。

・教室外部はモルタル3回塗りとする。

第1層：CPA210/325、500kgのセメントモルタル厚さ5mmの下地塗り

第2層：CPA210/325、400kgのセメントモルタル厚さ12mmの中塗り

第3層：白色セメント混合モルタル厚さ7/8mmの仕上げ塗り

最終仕上げ：周辺の砂色

・窓台：傾斜を2cm/mつけ、張り出し無しのセメントモルタル単純仕上げとする。

B-IX-2. 黒板

CPA325、400kgのセメントモルタル塗り。黒板は2つ作るものとし、ひとつは7m × 1.20m、もうひとつは5m × 1.20mとする。黒板には厚さ7cm、壁からの張り出し10cmのチョーク置きをつくるものとし、CPA325、350kgの鉄筋コンクリート製とする。

B-XI. 内部塗装

石灰入りセメントモルタルの目つぶし、焼き付けの後、壁、窓、ドア、まぐさ下部、窓台、等すべての内部面をFomタイプまたは同種のペイントを2回塗りする。

出典：国民教育省調査企画局 インフラ・機材室

選定結果

ニアメ都市区


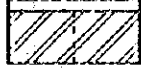
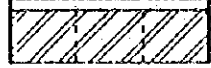


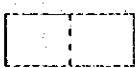


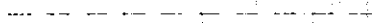




番号	学校名	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	判定
N I	コミュニケーション I	○	○	○	○	○	△	○	○	○
-01	ハコノダク I	○	○	○	○	○	△	○	○	○
-02	アホキ I	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-03	アホキ II	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-04	アホキ III	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-05	アホキ IV	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-06	アホキ V	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-07	アホキ VI	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-08	アホキ VII	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-09	アホキ VIII	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-10	アホキ IX	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-11	アホキ X	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-12	アホキ XI	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-13	アホキ XII	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-14	アホキ XIII	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-15	アホキ XIV	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-16	アホキ XV	○	○	○	○	○	○	○	○	○
N II	コミュニケーション II	○	○	○	○	○	△	○	○	○
-01	アホキ I	○	○	○	○	○	△	○	○	○
-02	アホキ II	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-03	アホキ III	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-04	アホキ IV	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-05	アホキ V	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-06	アホキ VI	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-07	アホキ VII	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-08	アホキ VIII	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-09	アホキ IX	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-10	アホキ X	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-11	アホキ XI	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-12	アホキ XII	○	○	○	○	○	○	○	○	○
N III	コミュニケーション III	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-01	アホキ I	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-02	アホキ II	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-03	アホキ III	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-04	アホキ IV	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-05	アホキ V	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-06	アホキ VI	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-07	アホキ VII	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-08	アホキ VIII	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-09	アホキ IX	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-10	アホキ X	○	○	○	○	○	○	○	○	○

テイラベリ県

番号	学校名	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	判定
F-	ファイラング部	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-01	アホキ I	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-02	アホキ II	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-03	アホキ III	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-04	アホキ IV	○	○	○	○	○	○	○	○	○
T I-	テイラベリ部	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-01	アホキ I	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-02	アホキ II	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-03	アホキ III	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-04	アホキ IV	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-05	アホキ V	○	○	○	○	○	○	○	○	○
K-	コロ部	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-01	アホキ I	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-02	アホキ II	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-03	アホキ III	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-04	アホキ IV	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-05	アホキ V	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-06	アホキ VI	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-07	アホキ VII	○	○	○	○	○	○	○	○	○
O-	ワラム部	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-01	アホキ I	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-02	アホキ II	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-03	アホキ III	○	○	○	○	○	○	○	○	○
S-	サイ部	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-01	アホキ I	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-02	アホキ II	○	○	○	○	○	○	○	○	○
T II-	テラ部	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-01	アホキ I	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-02	アホキ II	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-03	アホキ III	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-04	アホキ IV	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-05	アホキ V	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-06	アホキ VI	○	○	○	○	○	○	○	○	○

注) 1. 各項目毎の○△×の内容については、資料 計画地選定基準を参照

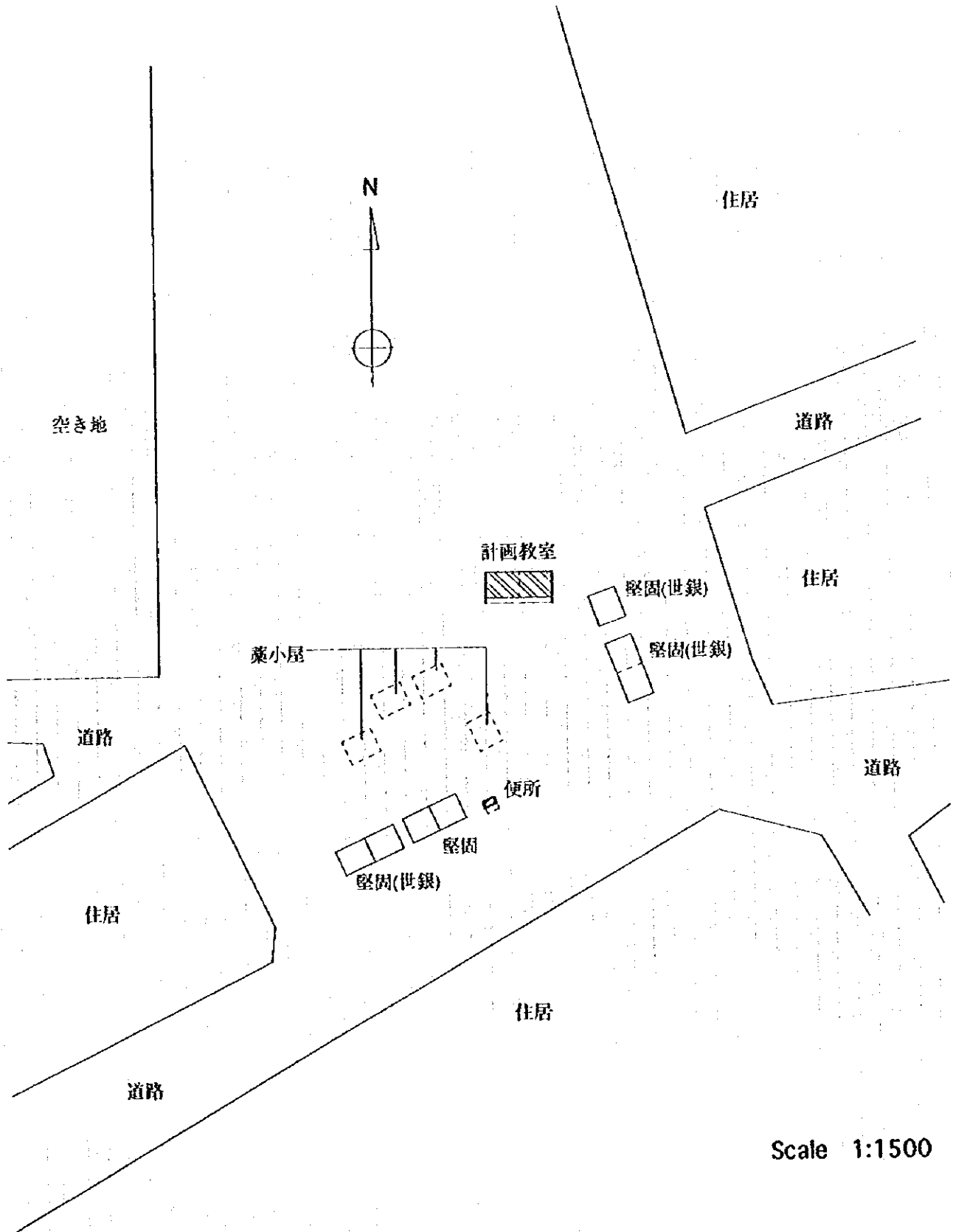
添付資料15 小学校計画対象校 配置図

建物種別	表 示
(1) 計画施設	
教室棟	   <p>1 教室棟 (64.08 M²) 2 教室棟 (128.16M²) 3 教室棟 (192.24M²)</p>
便所棟	 (6.48M ²)
(2) 既存施設	
既存教室	  <p>堅固(日 本):前回の日本無償資金協力による施設 堅固(世 銀):世銀援助による施設 堅固(その他):コンクリート・ブロックによる壁の要所を鉄筋コンクリートで補強した構造 半堅固:堅固構造のコンクリート・ブロックを日干し煉瓦で置き換えた構造 硬化土:堅固構造のコンクリート・ブロックを、セメントを混入させたラテライトブロックに置き換えた構造 パンコ:日干し煉瓦の在来工法による構造</p>
既存薬小屋教室	 薬小屋教室
その他施設	 校長室、守衛室、便所、その他
(3) その他	
敷地境界線	
塀	
生垣塀	
樹木	 

NIAMEY 1 - 1

パニファンドゥ 1

施設面積:	教室棟	128.16	m ²
	便所棟	6.48	m ²
	合計	134.64	m ²

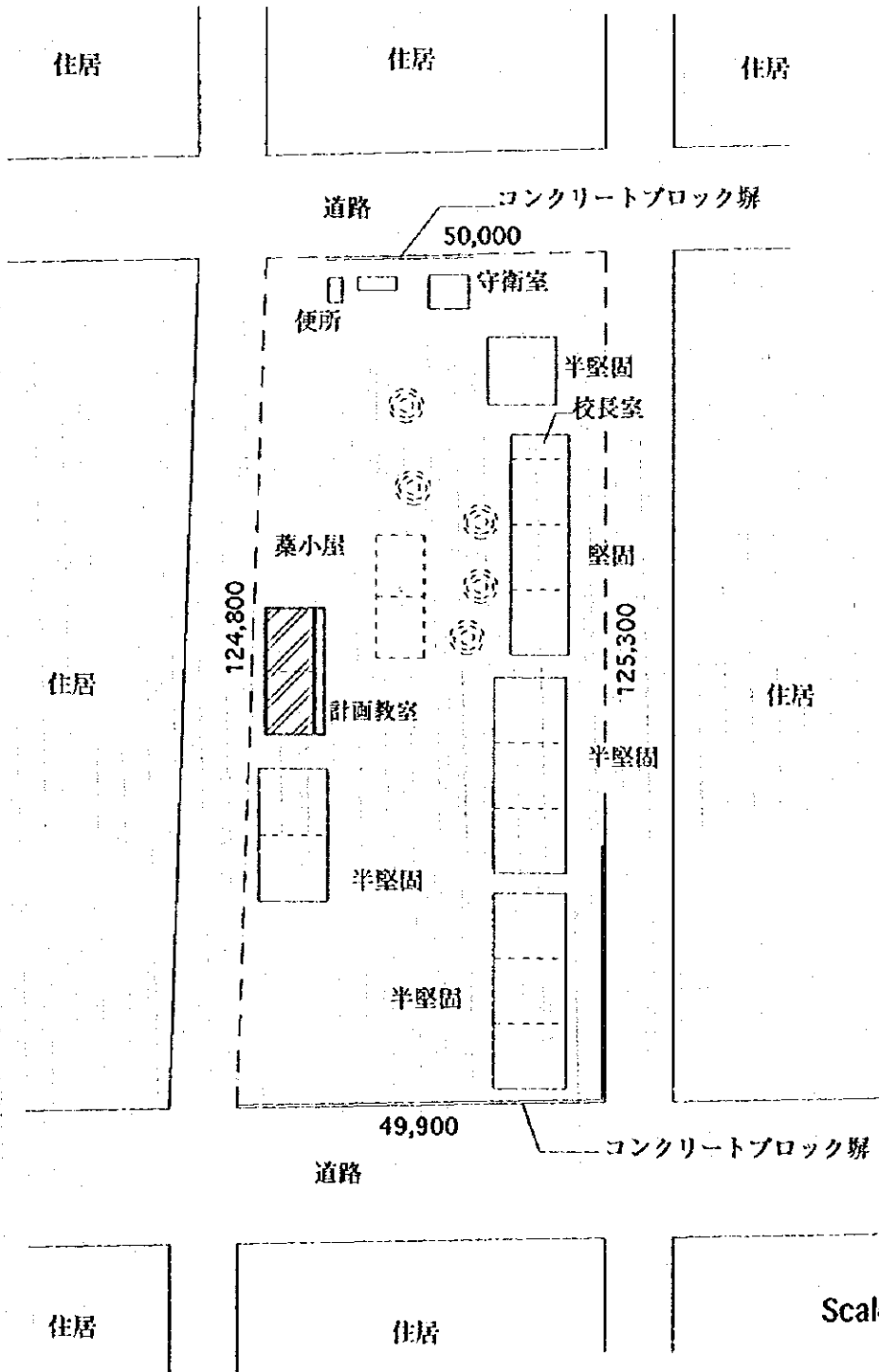
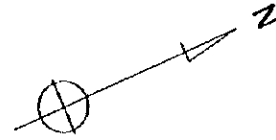


Scale 1:1500

NIAMEYI - 2

ブロック 1

施設面積:	教室棟	128.16	m ²
	便所棟	0	m ²
	合計	128.16	m ²

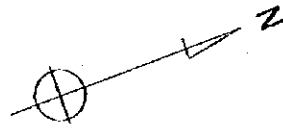


Scale: 1:1000

NIAMEY I - 3

ブコキ II

施設面積:	教室棟	128.16	m ²
	便所棟	6.48	m ²
	合計	134.64	m ²



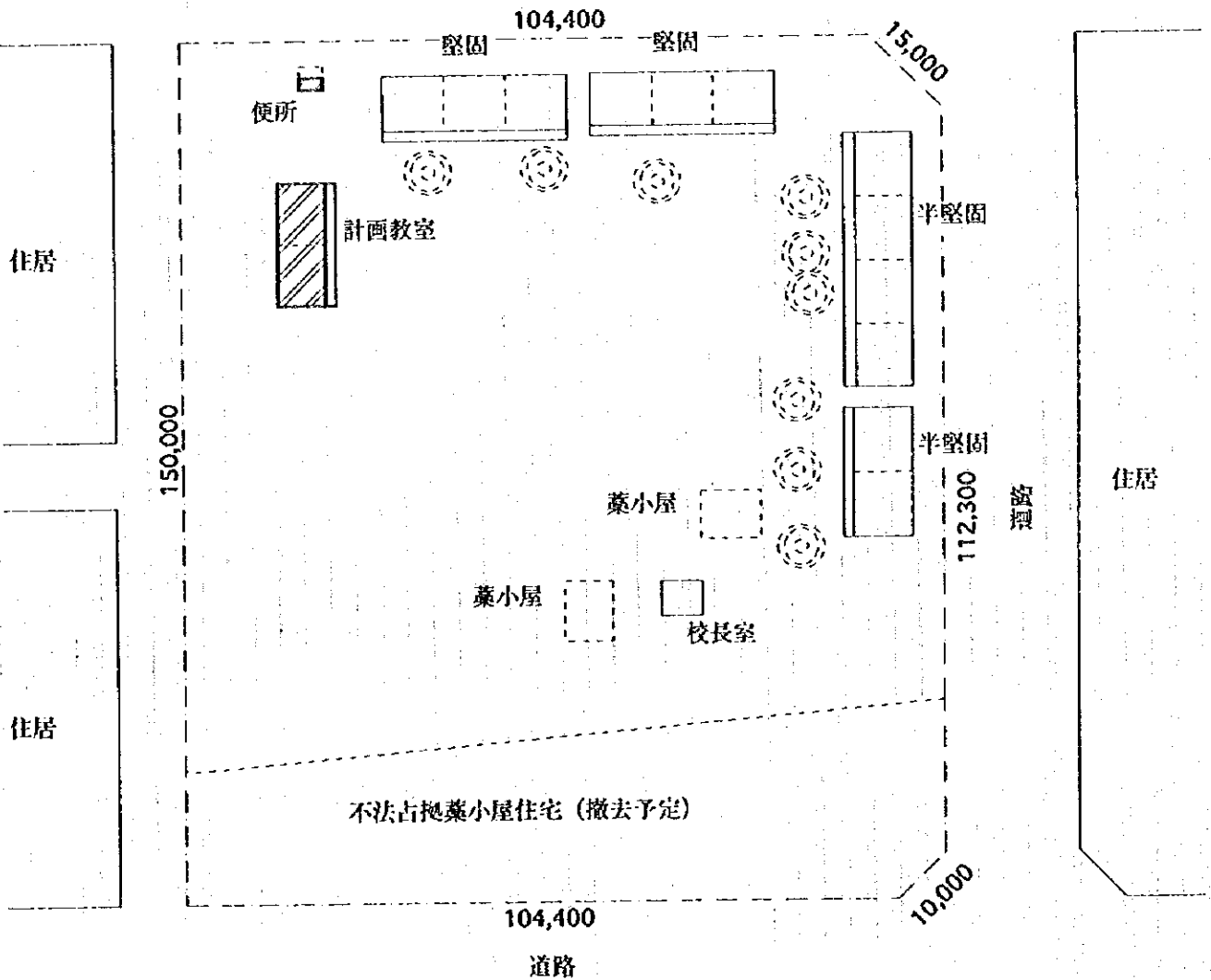
住居

住居

Gaz スタンド

住居

道路(アスファルト舗装)



住居

住居

住居

住居

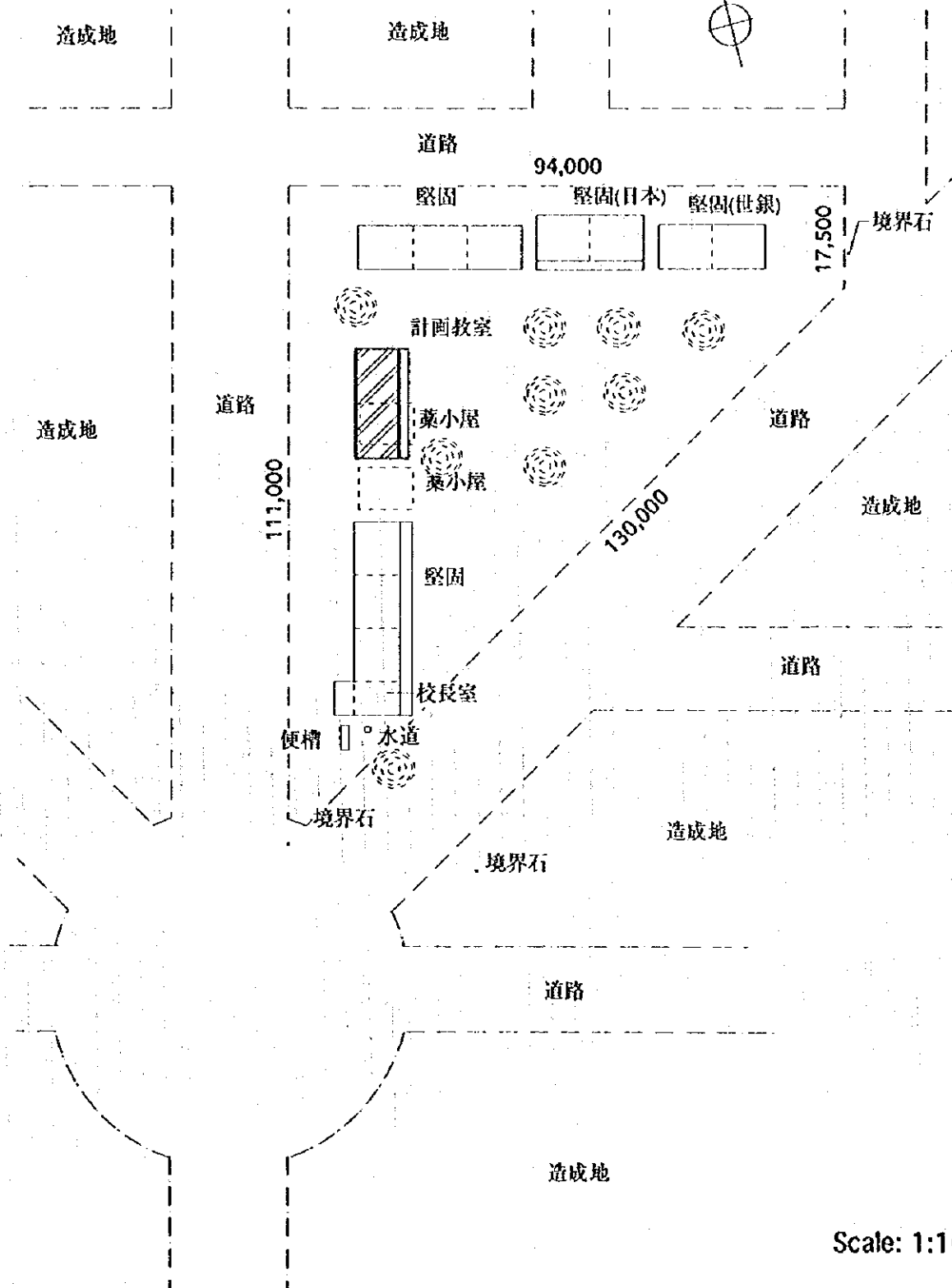
住居

Scale: 1:1000

NIAMEY I - 4

シテ ケツス

施設面積:	教室棟	128.16	m ²
	便所棟	0	m ²
	合計	128.16	m ²

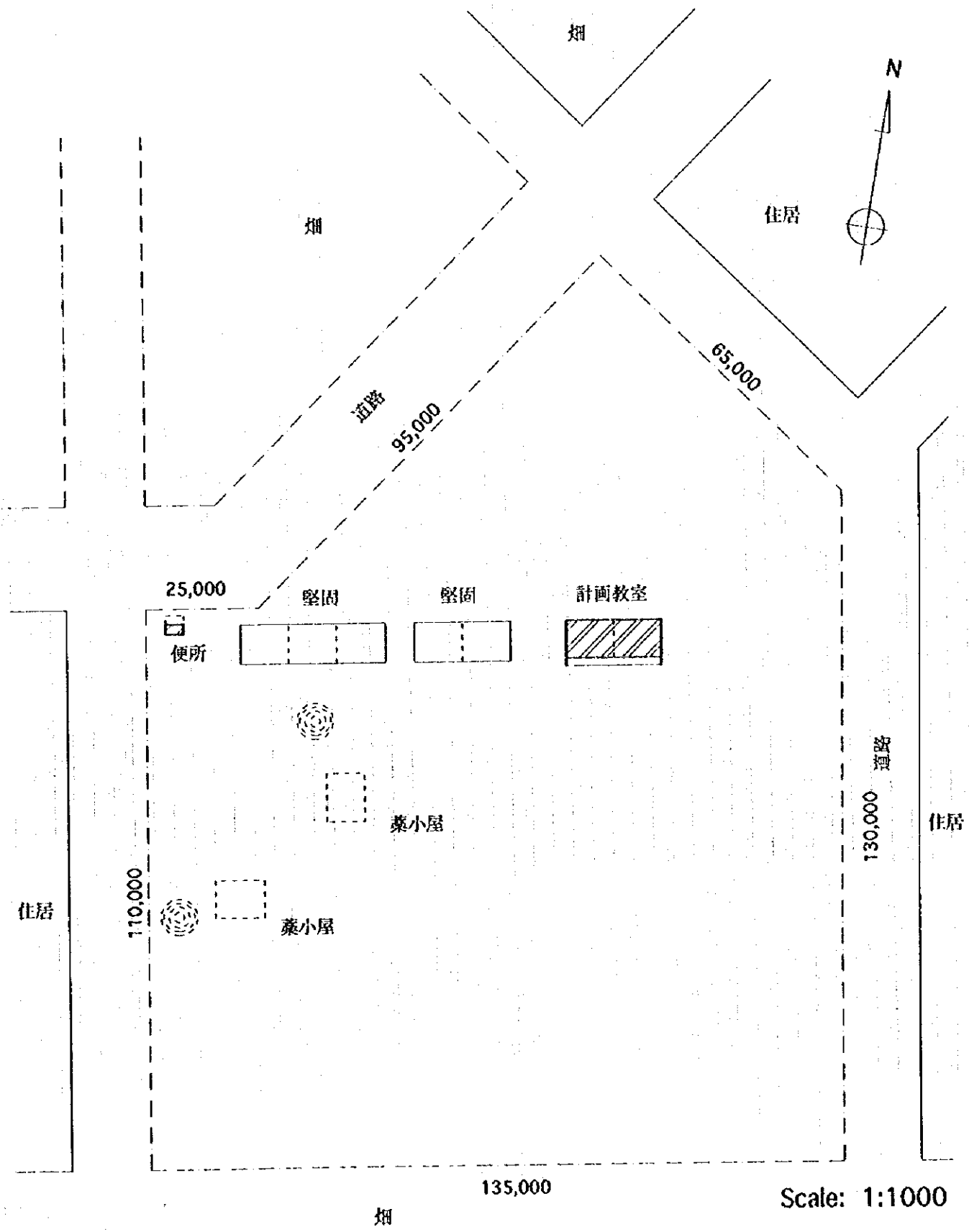


Scale: 1:1000

NIAMEYI - 5

ダール エッサラーム II

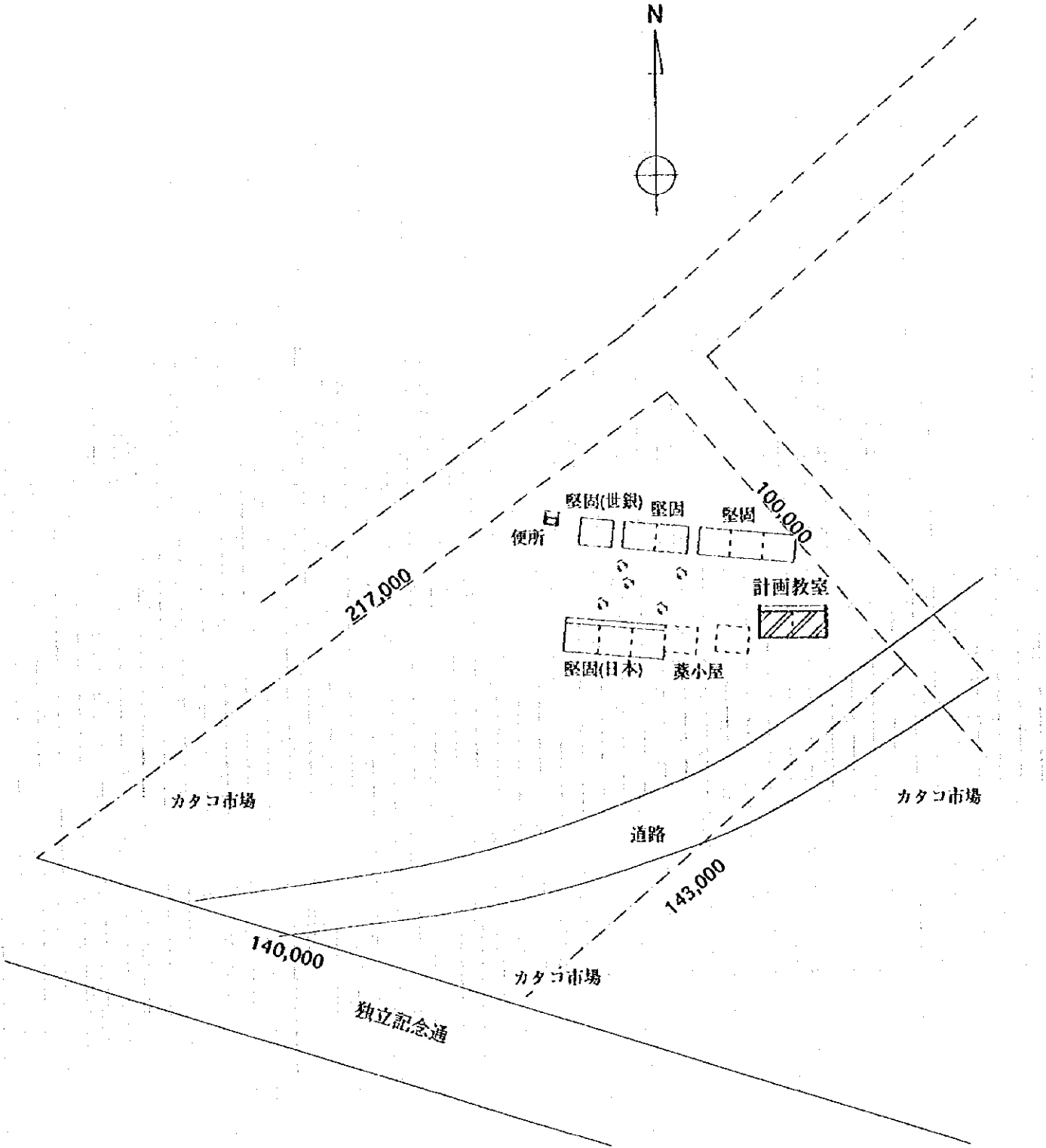
施設面積: 教室棟 128.16 m²
 便所棟 6.48 m²
 合計 134.64 m²



NIAMEY 1 - 6

アイゼイボン

施設面積: 教室棟 128.16 m²
便所棟 6.48 m²
合計 134.64 m²

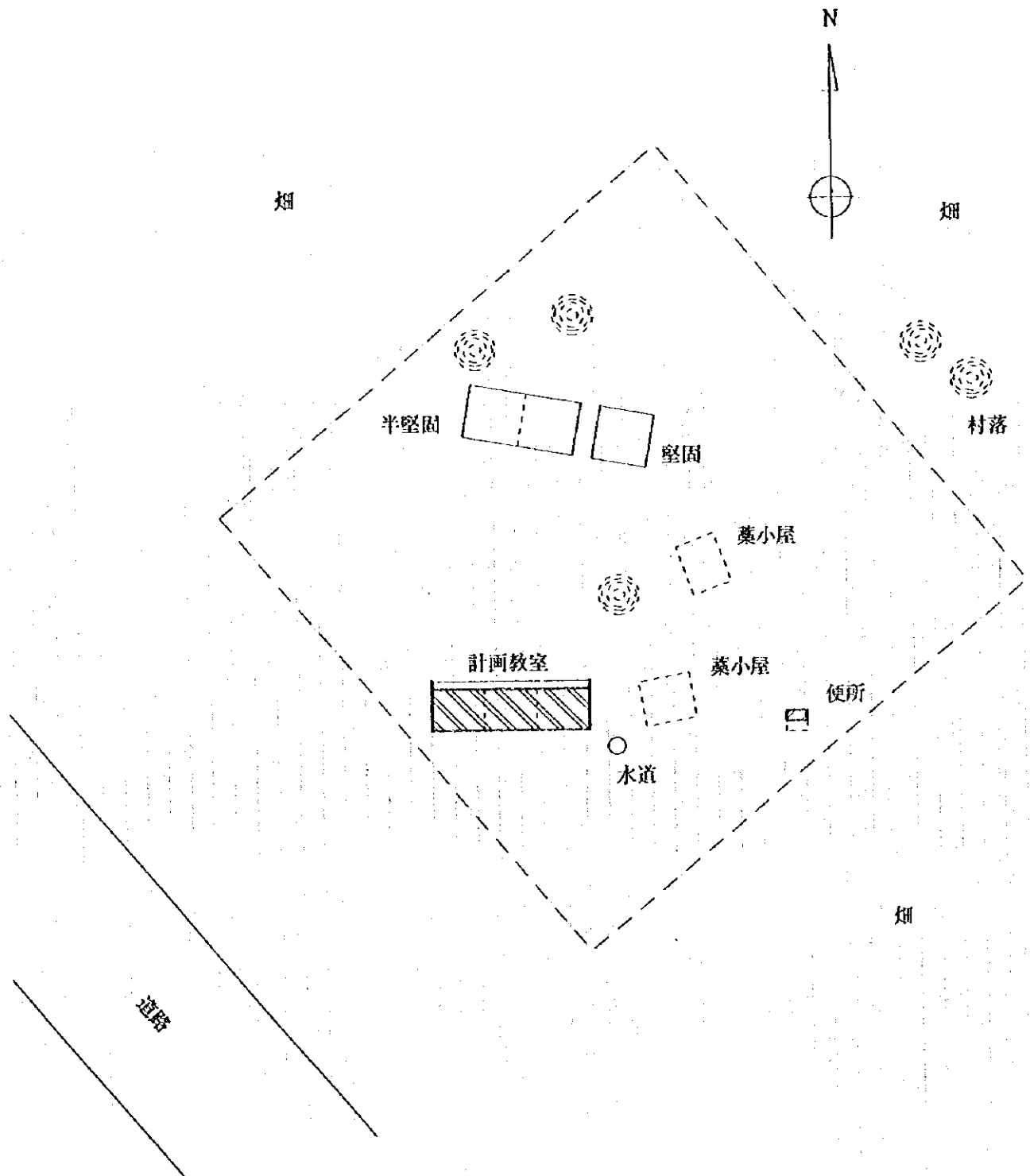


Scale: 1:1500

NIAMEY 1 - 7

ガボグラ

施設面積:	教室棟	192.24	m ²
	便所棟	6.48	m ²
	合計	198.72	m ²



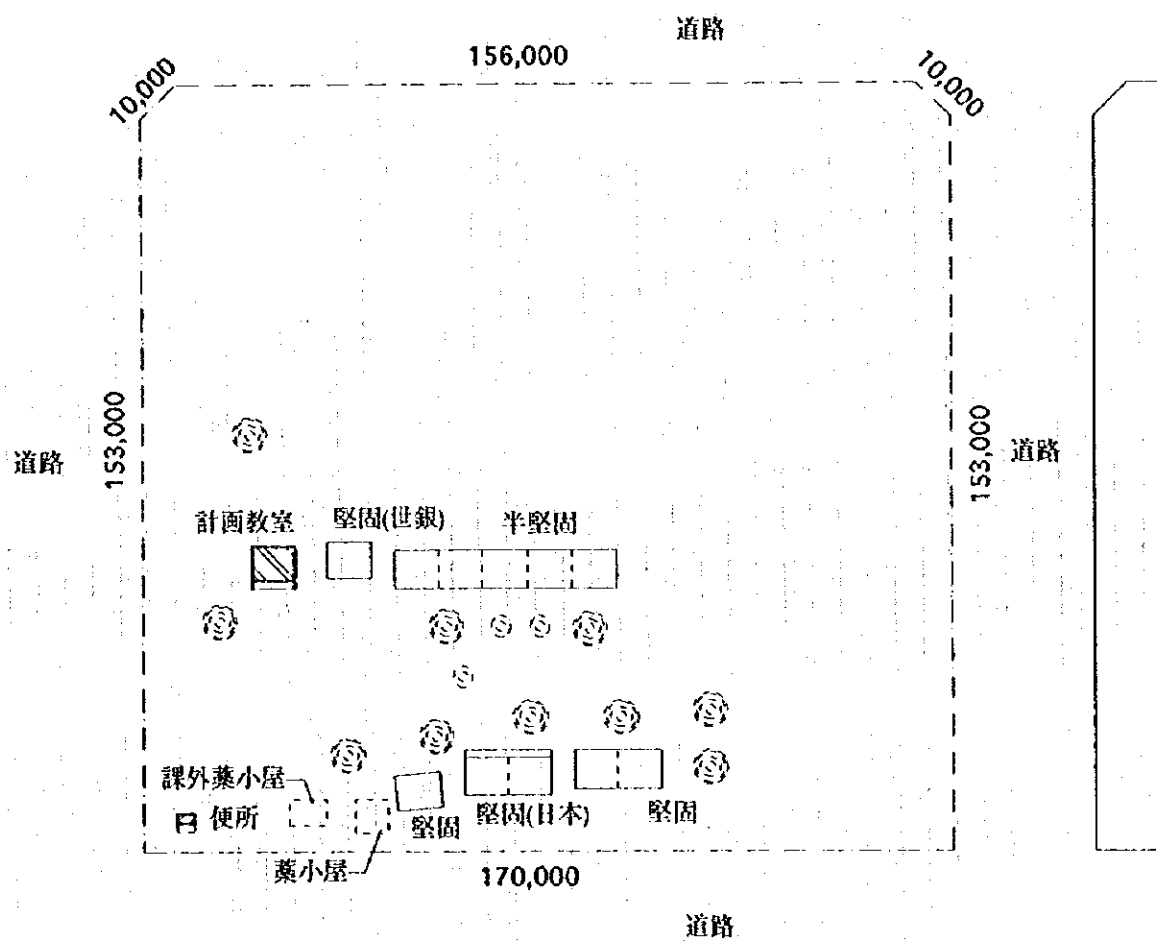
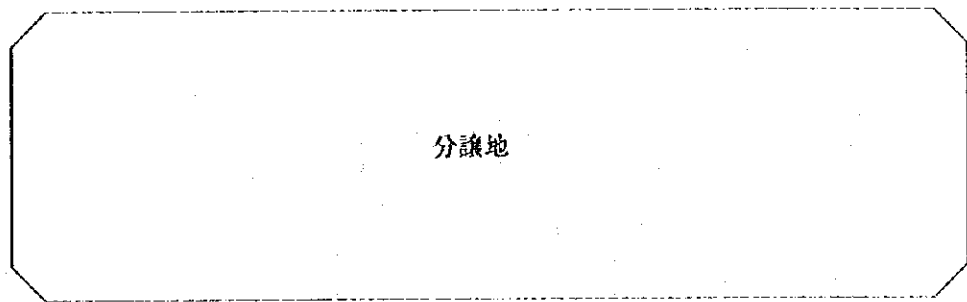
備考：敷地境界の明示無し

Scale: 1:1000

NIAMEY I - 8

グアル II

施設面積:	教室棟	64.08	m ²
	便所棟	6.48	m ²
	合計	70.56	m ²

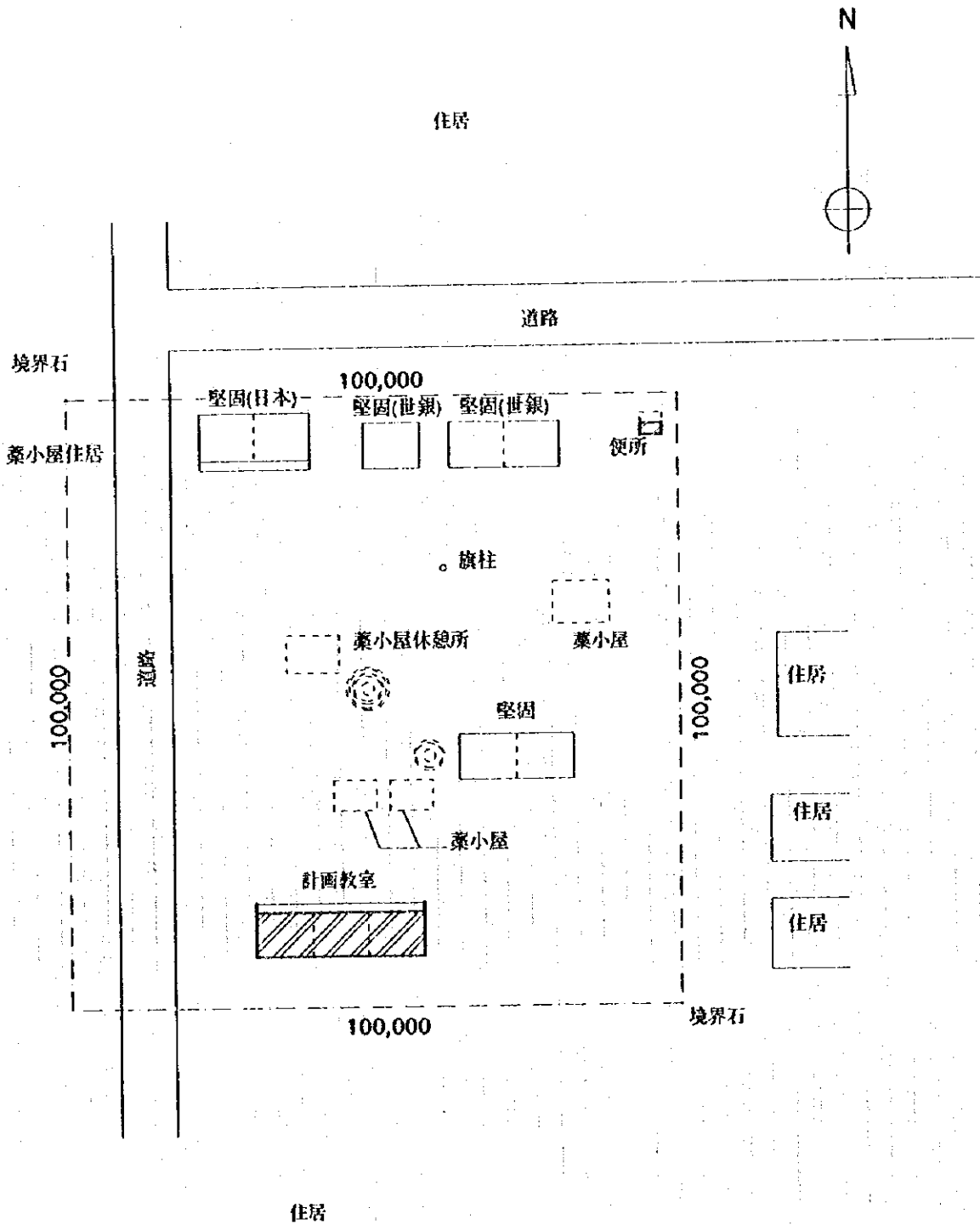


Scale: 1:1500

NIAMEY I - 10

コワラ テギ

施設面積:	教室棟	192.24	m ²
	便所棟	6.48	m ²
	合計	198.72	m ²



Scale 1:1000

NIAMEY I - 11

ラザレ II

施設面積:	教室棟	64.08	m ²
	便所棟	6.48	m ²
	合計	70.56	m ²



住居

住居

道路(未舗装)

半堅固

132,200

計画教室

半堅固

薬小屋

半堅固

半堅固

堅固

住居

住居

50,000

38,000

94,800

98,400

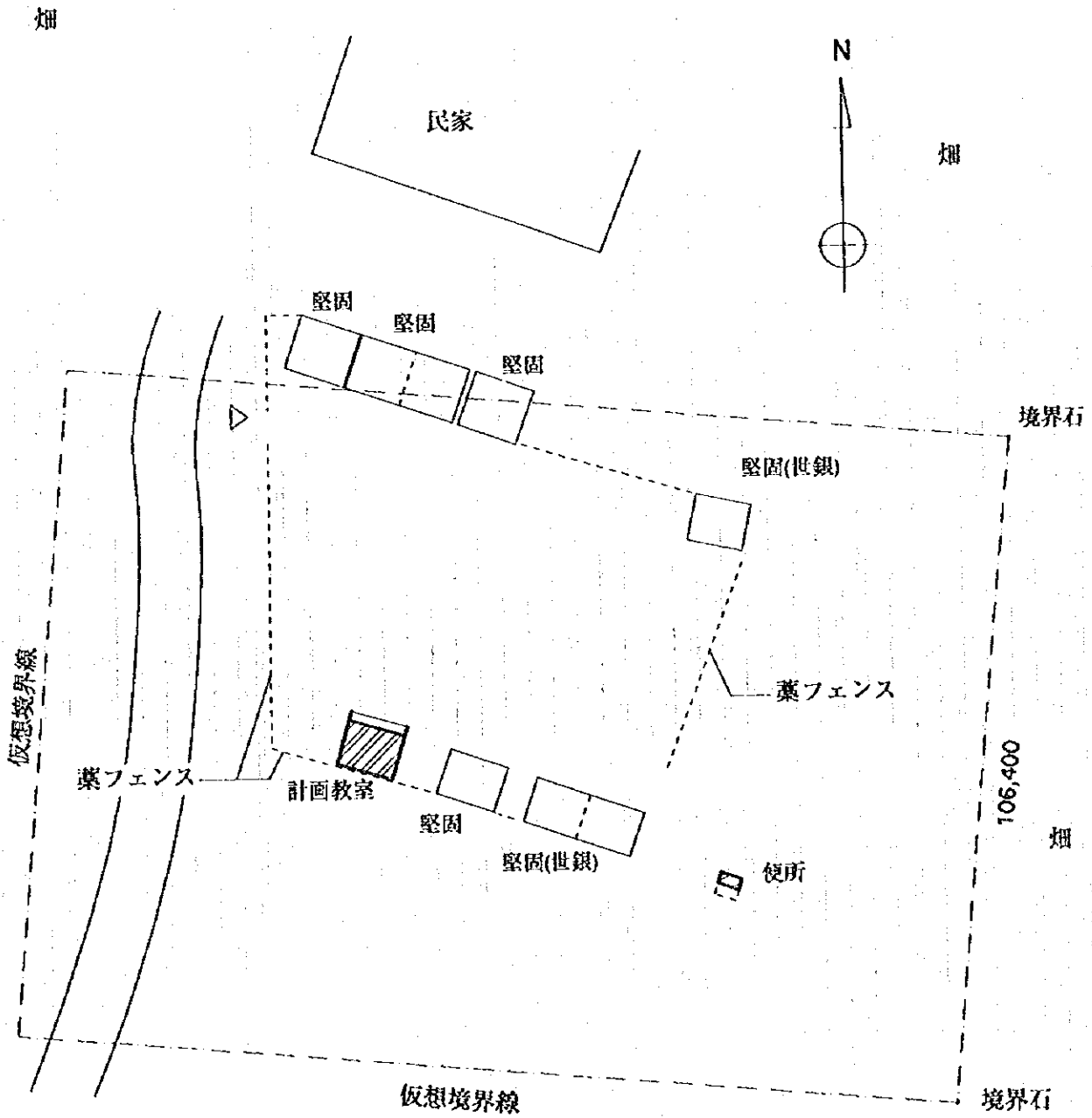
住居

Scale: 1:1000

NIAMEYI - 12

ロッソ グラフ

施設面積:	教室棟	64.08	m ²
	便所棟	6.48	m ²
	合計	70.56	m ²



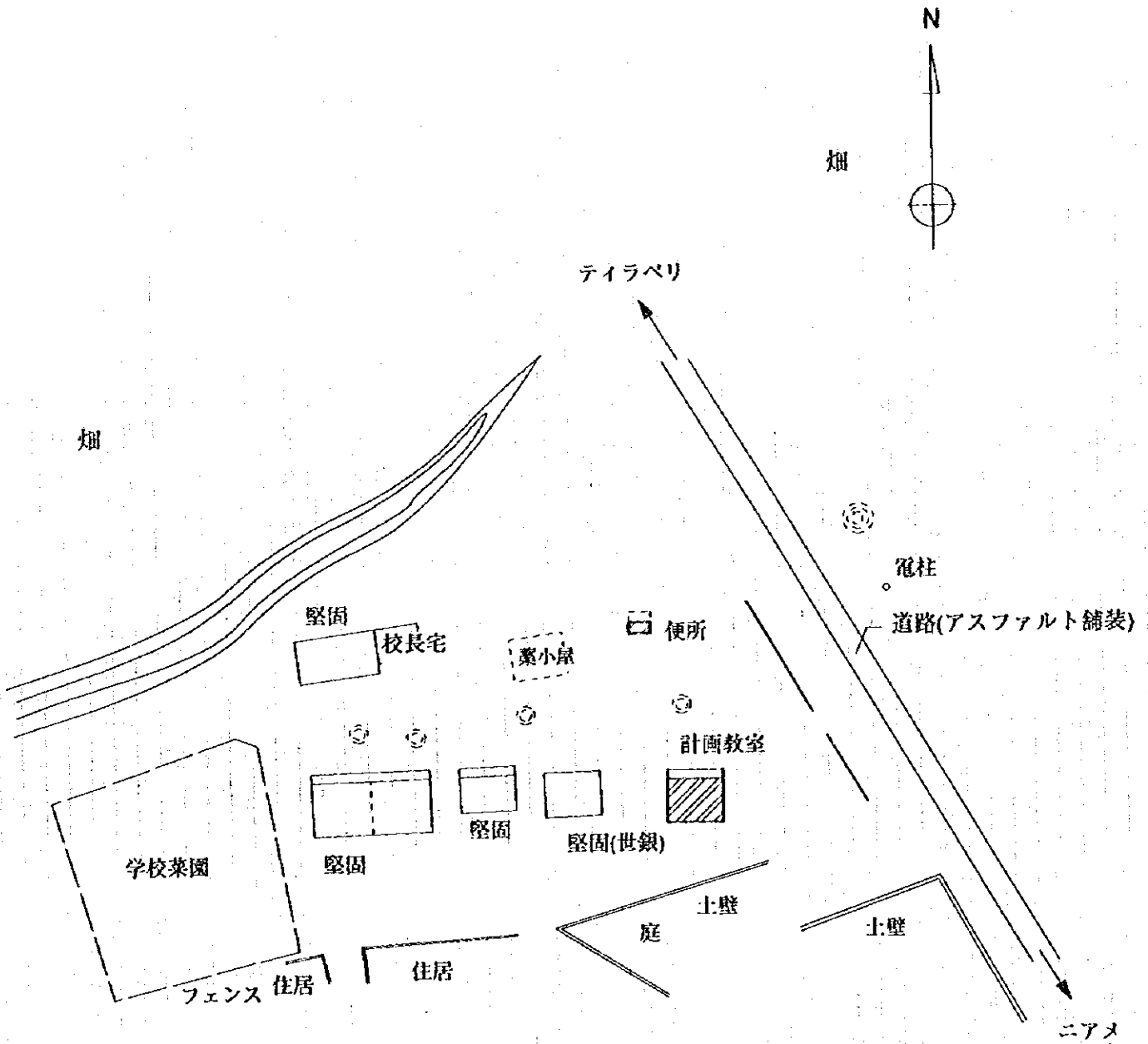
106,400

Scale 1:1000

NIAMEYI - 14

ドンディピア

施設面積:	教室棟	64.08	m ²
	便所棟	6.48	m ²
	合計	70.56	m ²

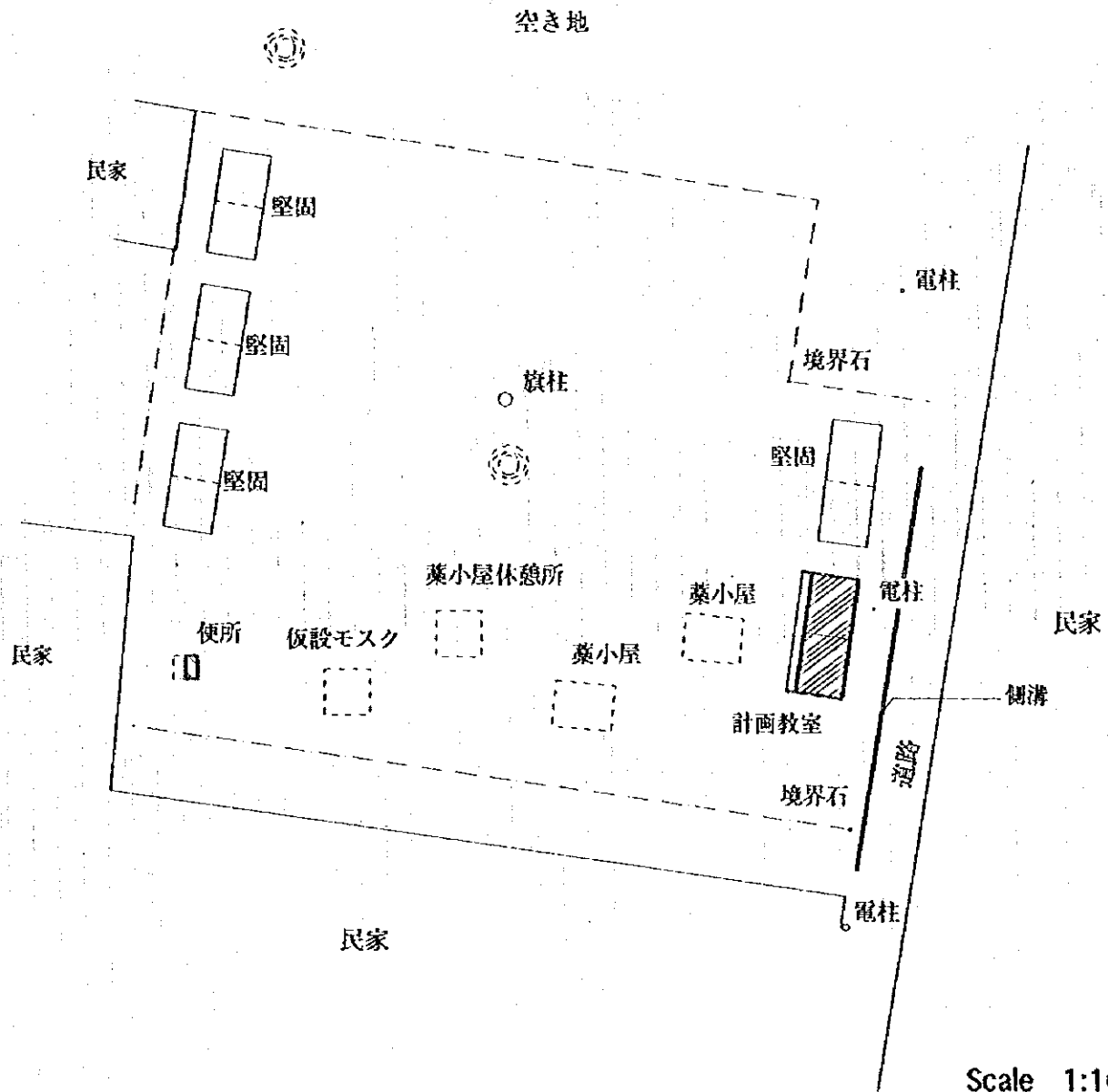
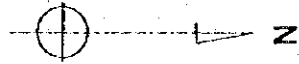


Scale 1:1000

NIAMEY I - 15

ヤンタラ ルカーズマン

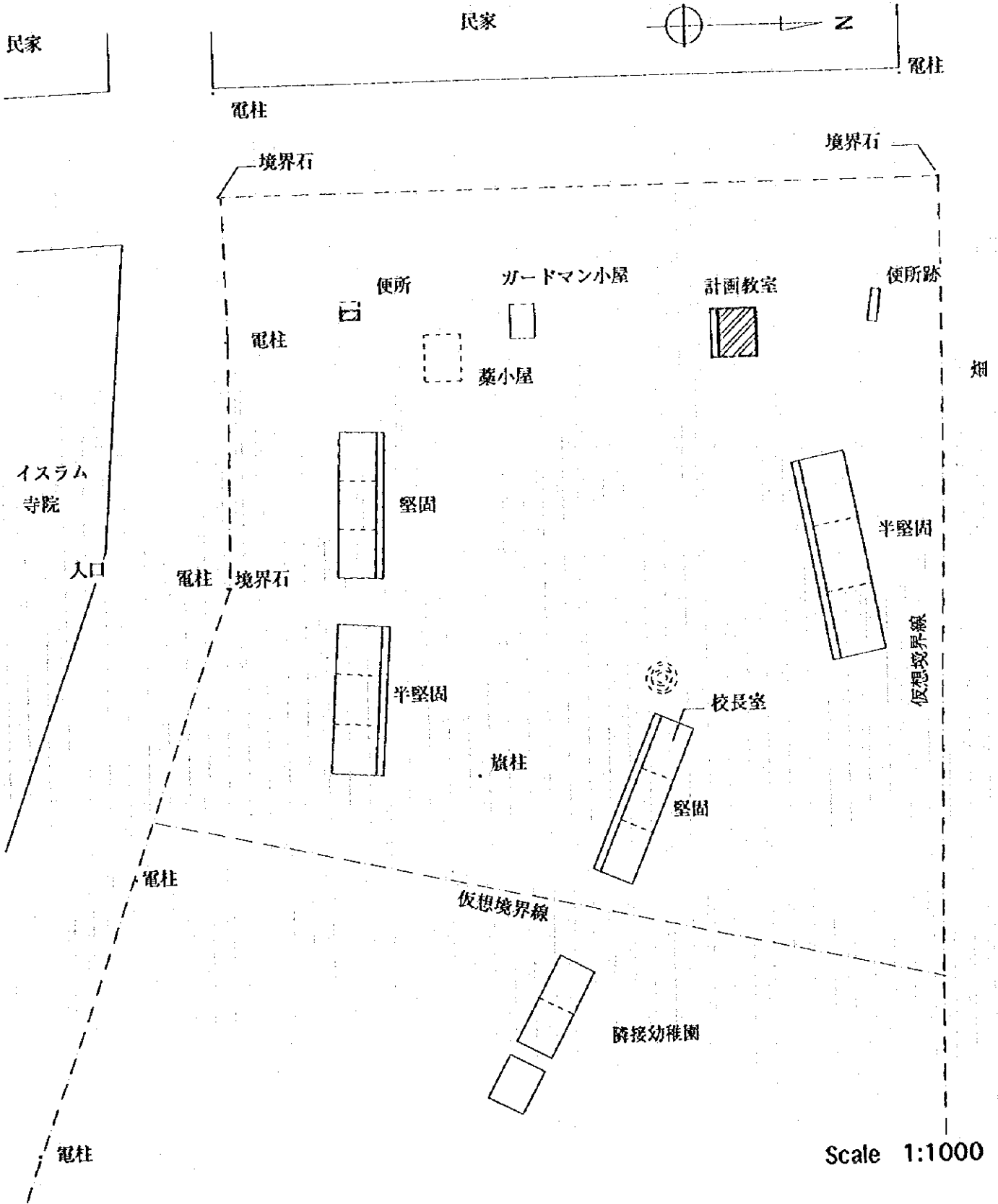
施設面積: 教室棟 128.16 m²
便所棟 6.48 m²
合計 134.64 m²



NIAMEYI - 16

ラザレ I

施設面積:	教室棟	64.08	m ²
	便所棟	6.48	m ²
	合計	70.56	m ²



NIAMEY II - 1

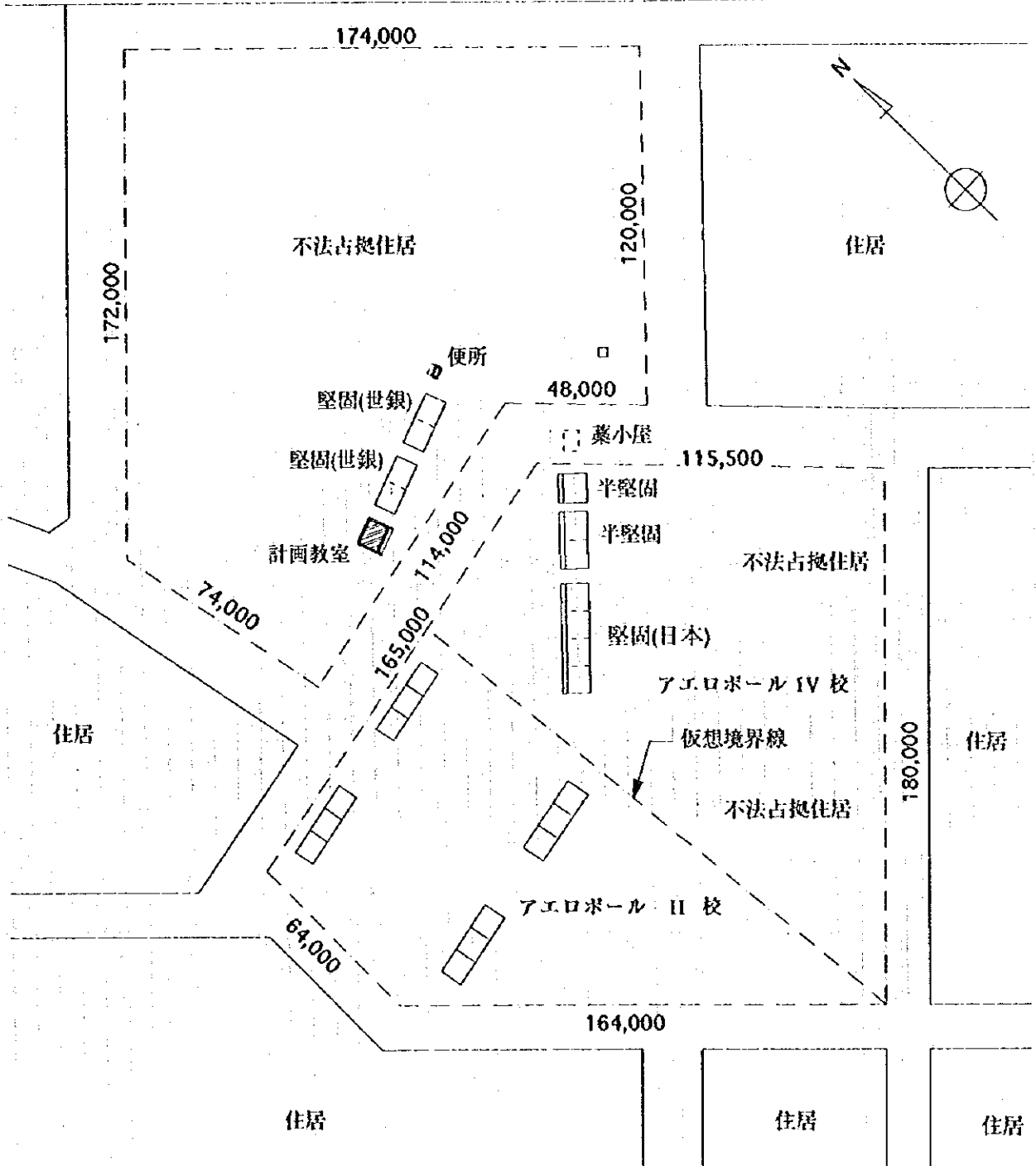
アエロポール IV

施設面積：教室棟	64.08	m ²
便所棟	6.48	m ²
合計	70.56	m ²

ニアメ ←

国道1号

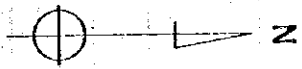
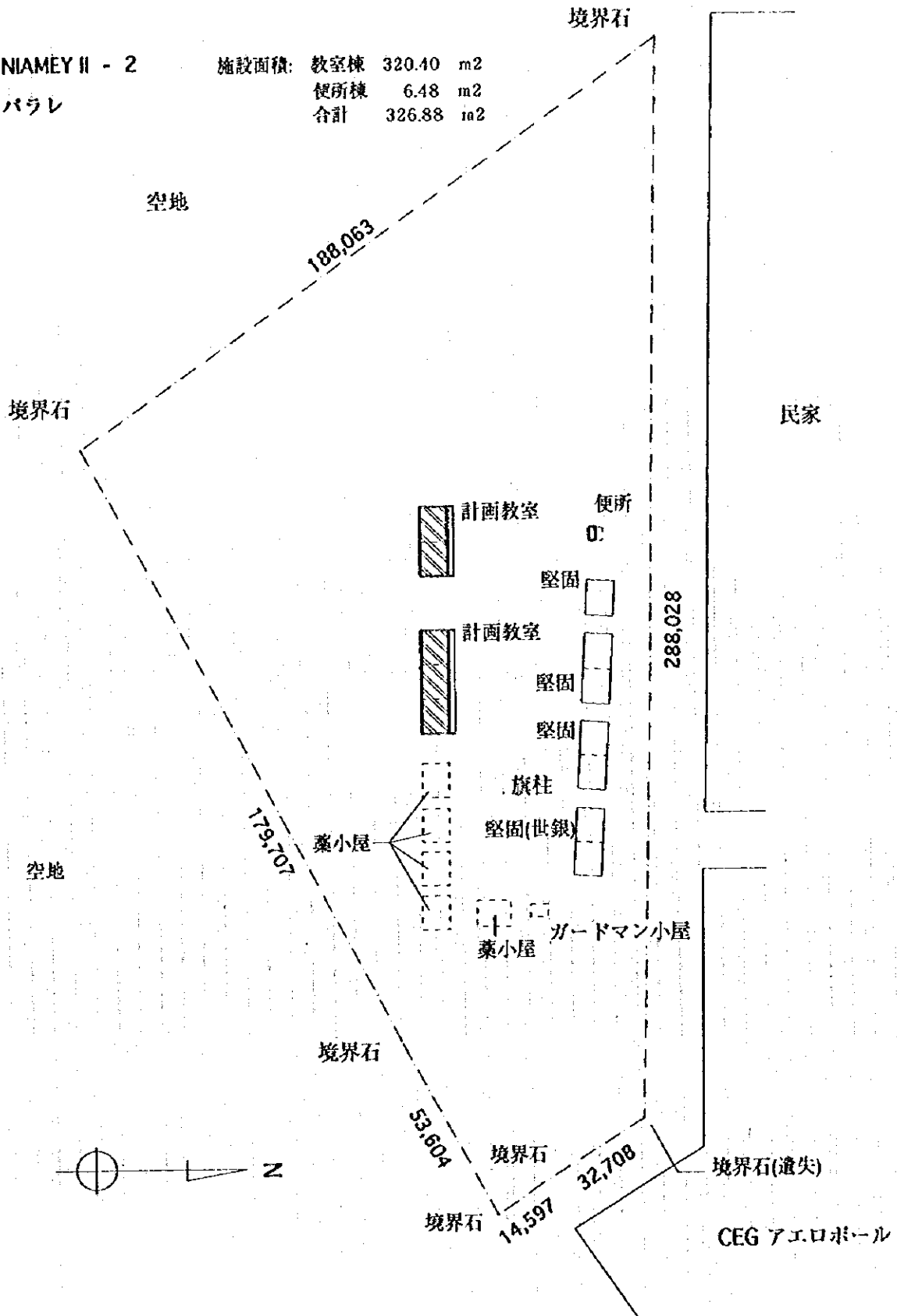
→ ビルニン・ガウレ
ドツ



Scale: 1:2000

NIAMEY II - 2
 パラレ

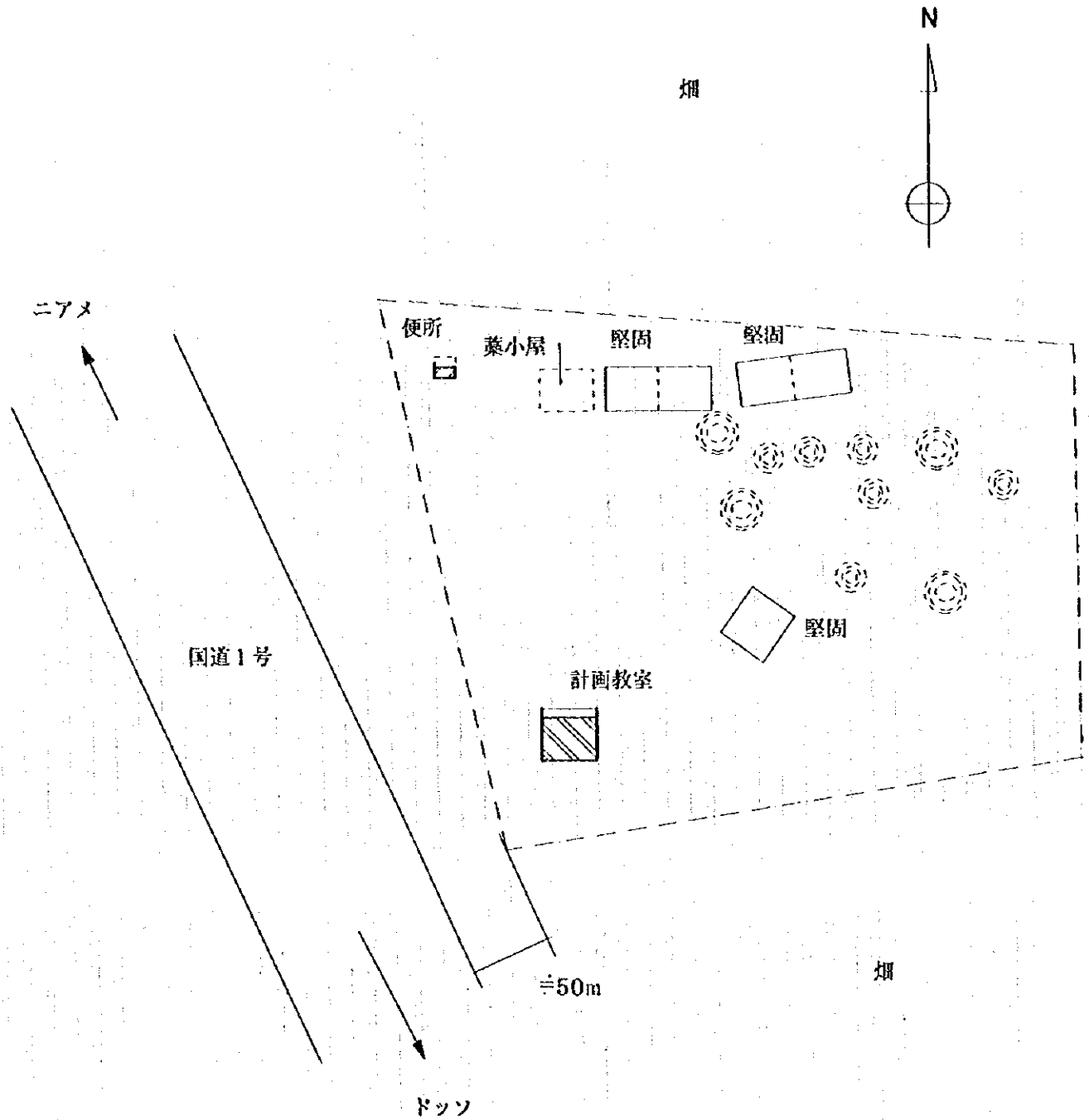
施設面積: 教室棟 320.40 m²
 便所棟 6.48 m²
 合計 326.88 m²



Scale 1:1500

NIAMEY II - 3
 パニグング

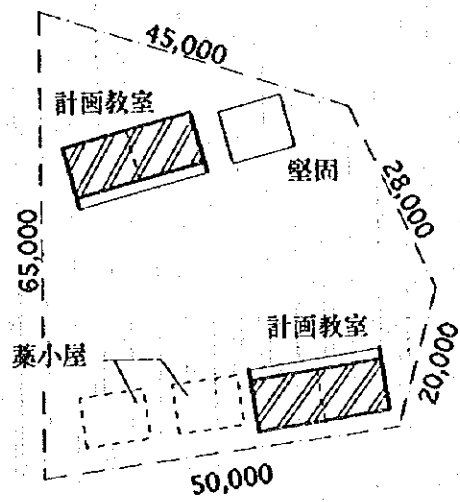
施設面積:	教室棟	64.08	m ²
	便所棟	6.48	m ²
	合計	70.56	m ²



Scale: 1:1000

NIAMEY II - 4
ボッセイ バング

施設面積: 教室棟 256.32 m²
便所棟 0 m²
合計 256.32 m²

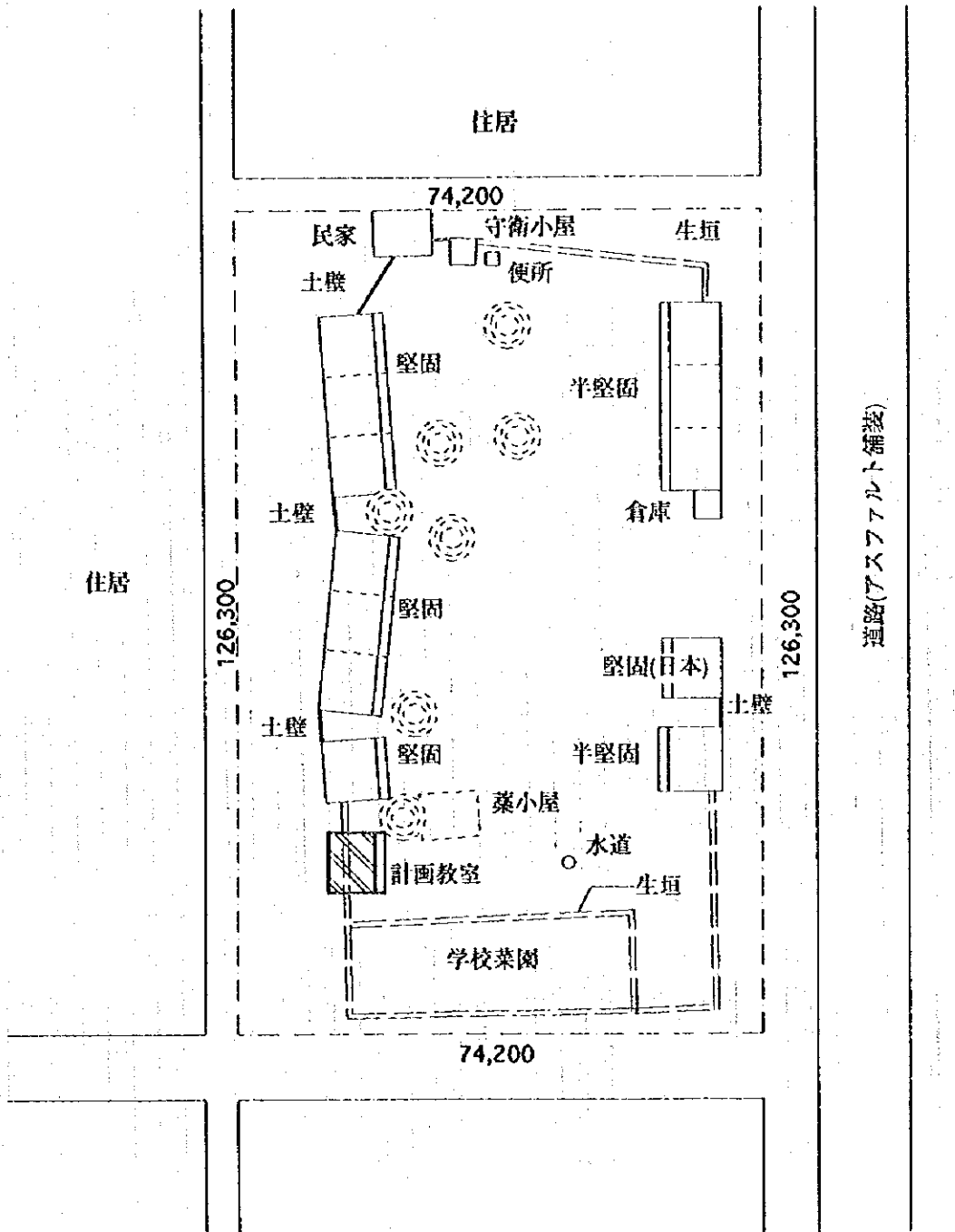
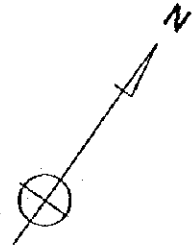


Scale: 1:1000

NIAMEY II - 5

ガムカレ III

施設面積:	教室棟	64.08	m ²
	便所棟	0	m ²
	合計	64.08	m ²

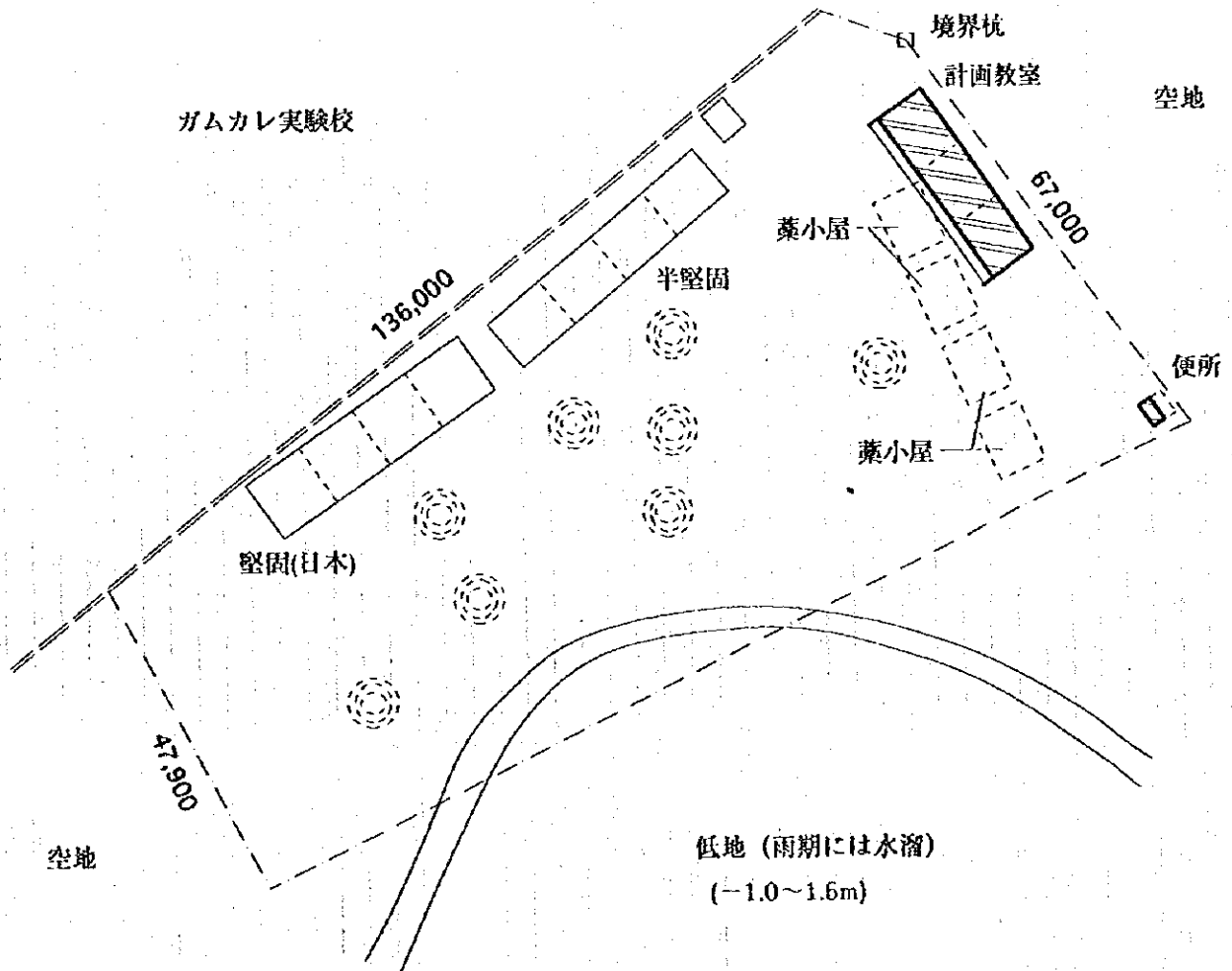


Scale: 1:1000

NIAMEY II - 6

ガムカレ IV

施設面積: 教室棟 192.24 m²
便所棟 6.48 m²
合計 198.72 m²

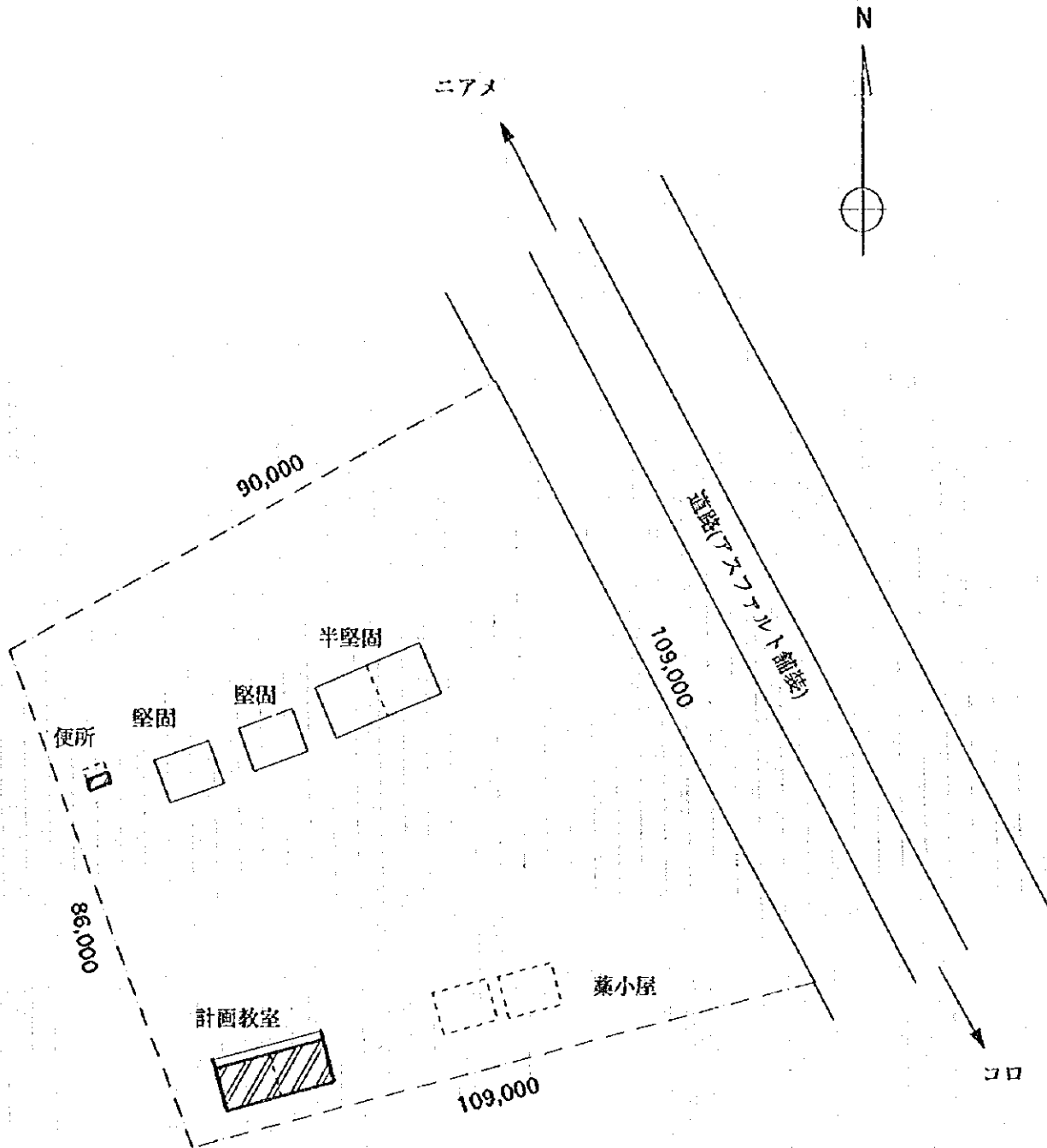


Scale: 1:1000

NIAMEY II - 7

ゲリギンデ

施設面積:	教室棟	128.16	m ²
	便所棟	6.48	m ²
	合計	134.64	m ²

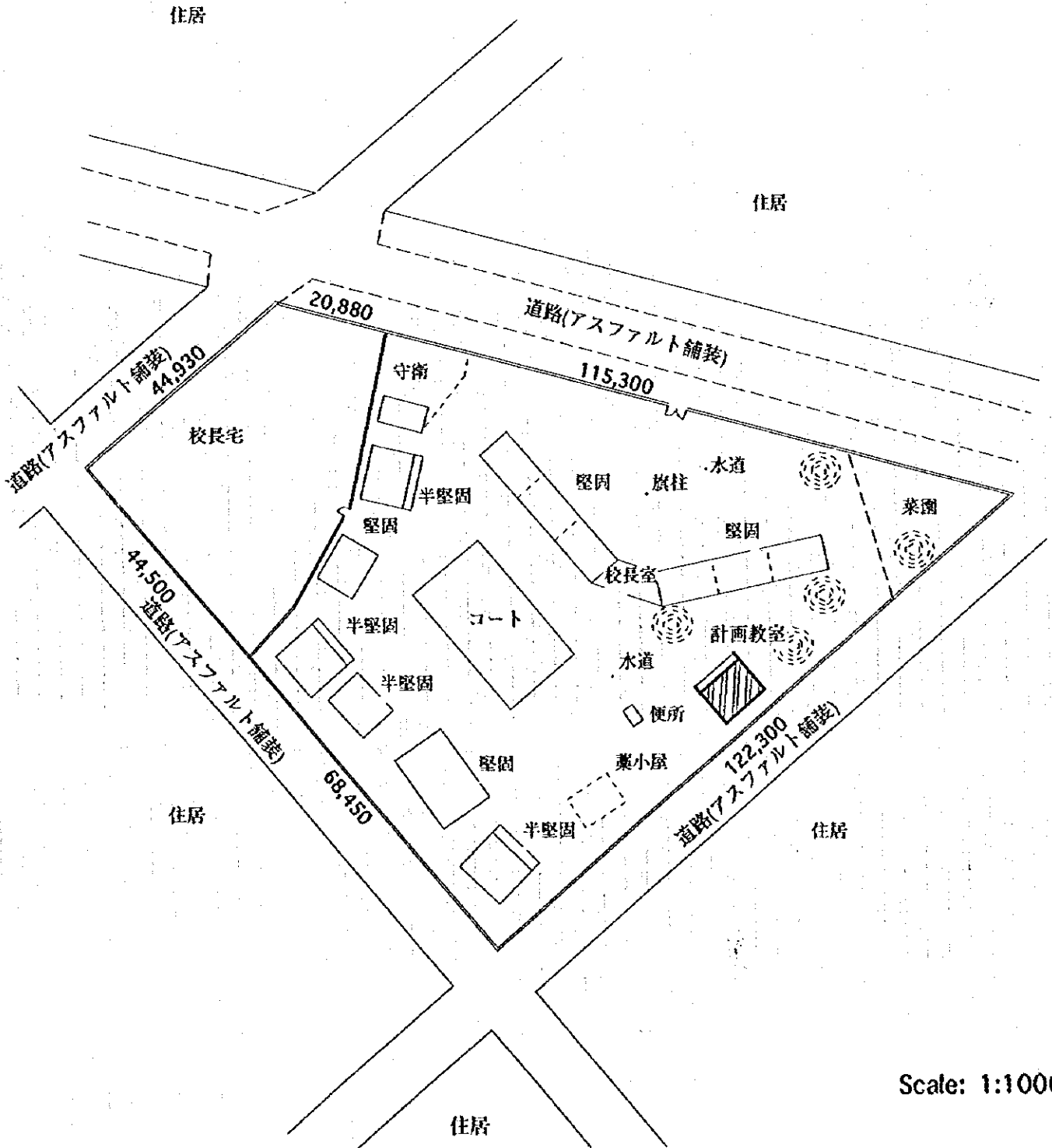


Scale: 1:1000

NIAMEY II - 8

カレー

施設面積:	教室棟	64.08	m ²
	便所棟	0	m ²
	合計	64.08	m ²

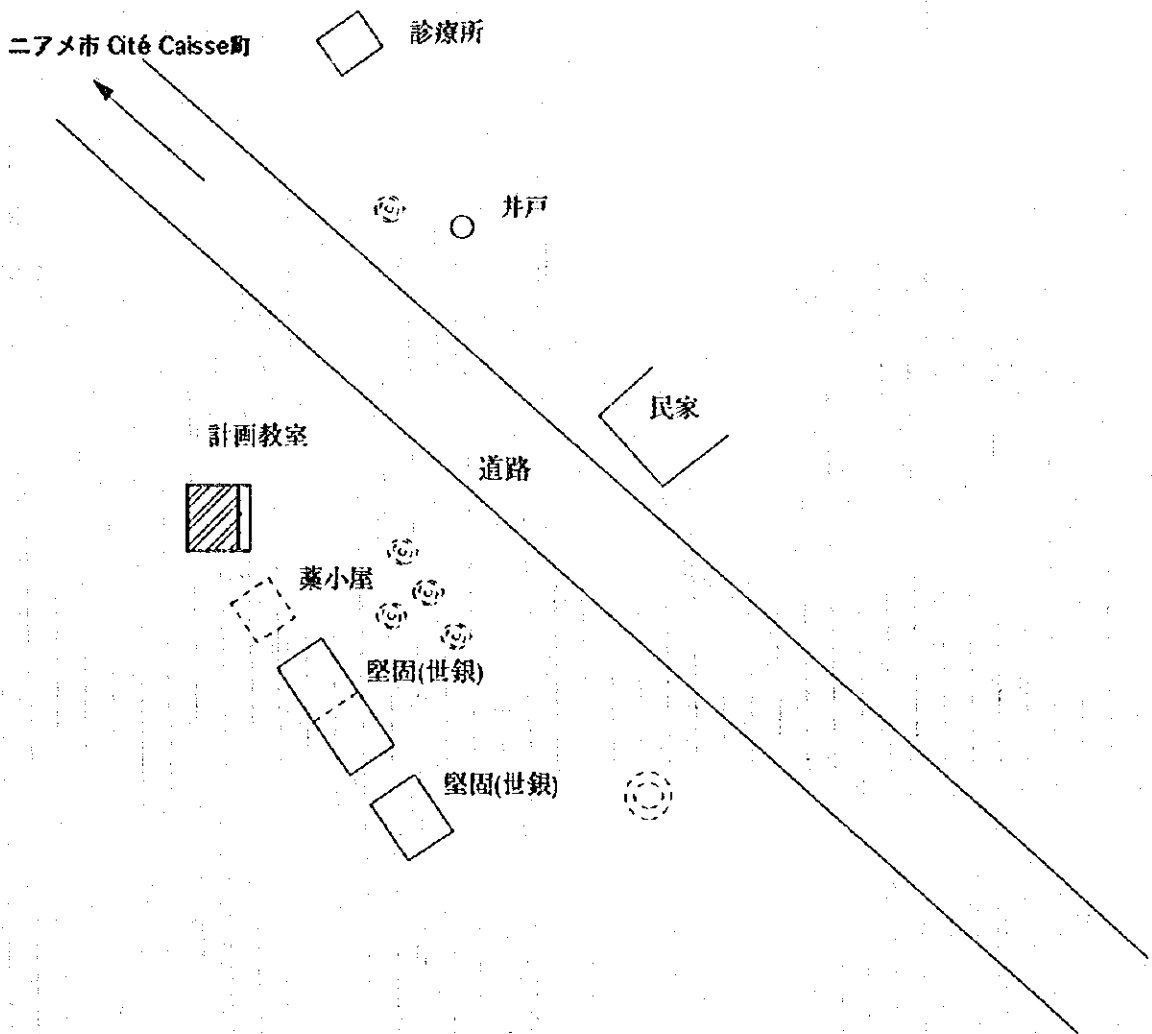


Scale: 1:1000

NIAMEY II - 9

コング ボンガ

施設面積:	教室棟	64.08	m ²
	便所棟	0	m ²
	合計	64.08	m ²

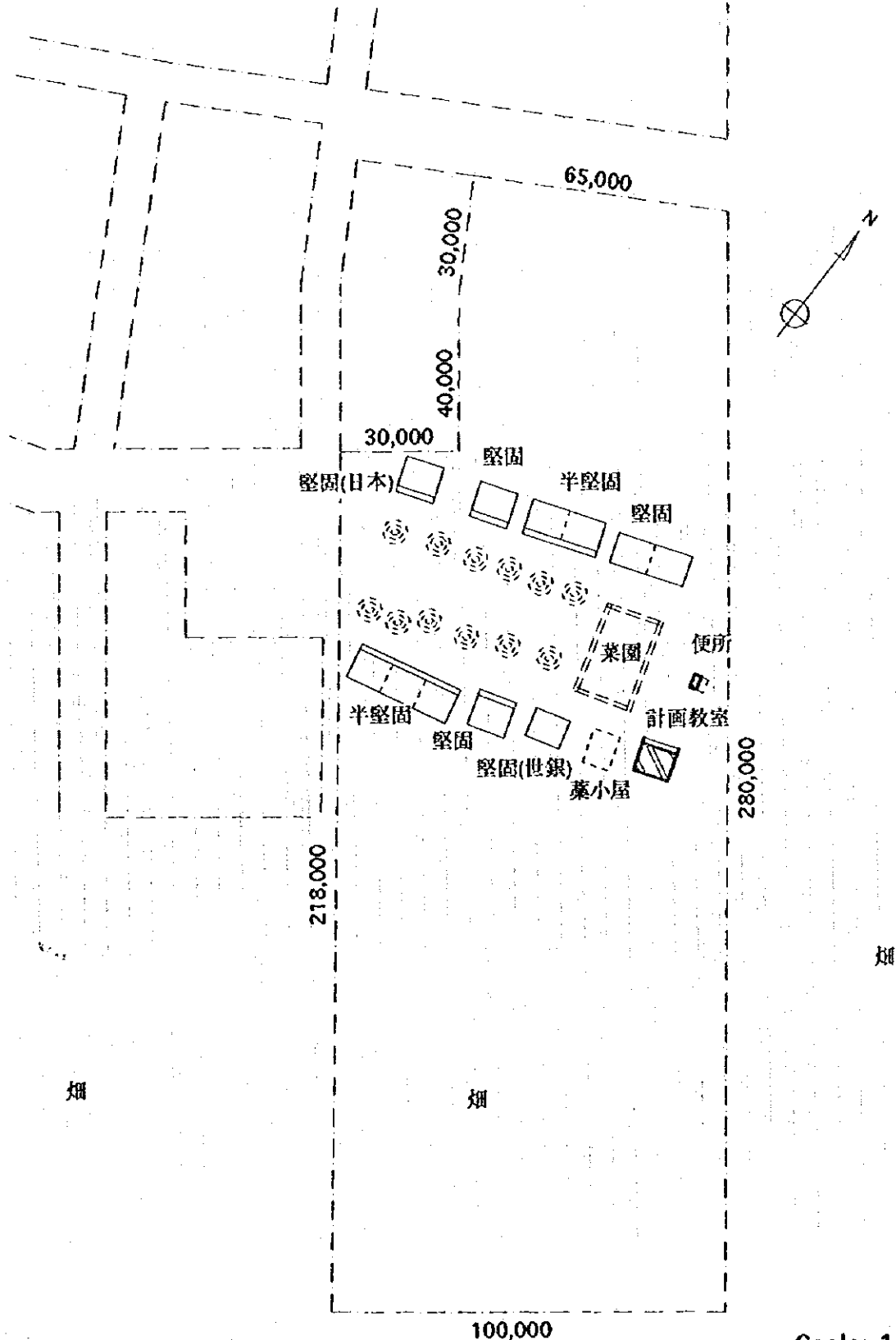


Scale: 1:1000

NIAMEY II - 10

サガ II

施設面積:	教室棟	64.08	m ²
	便所棟	6.48	m ²
	合計	70.56	m ²



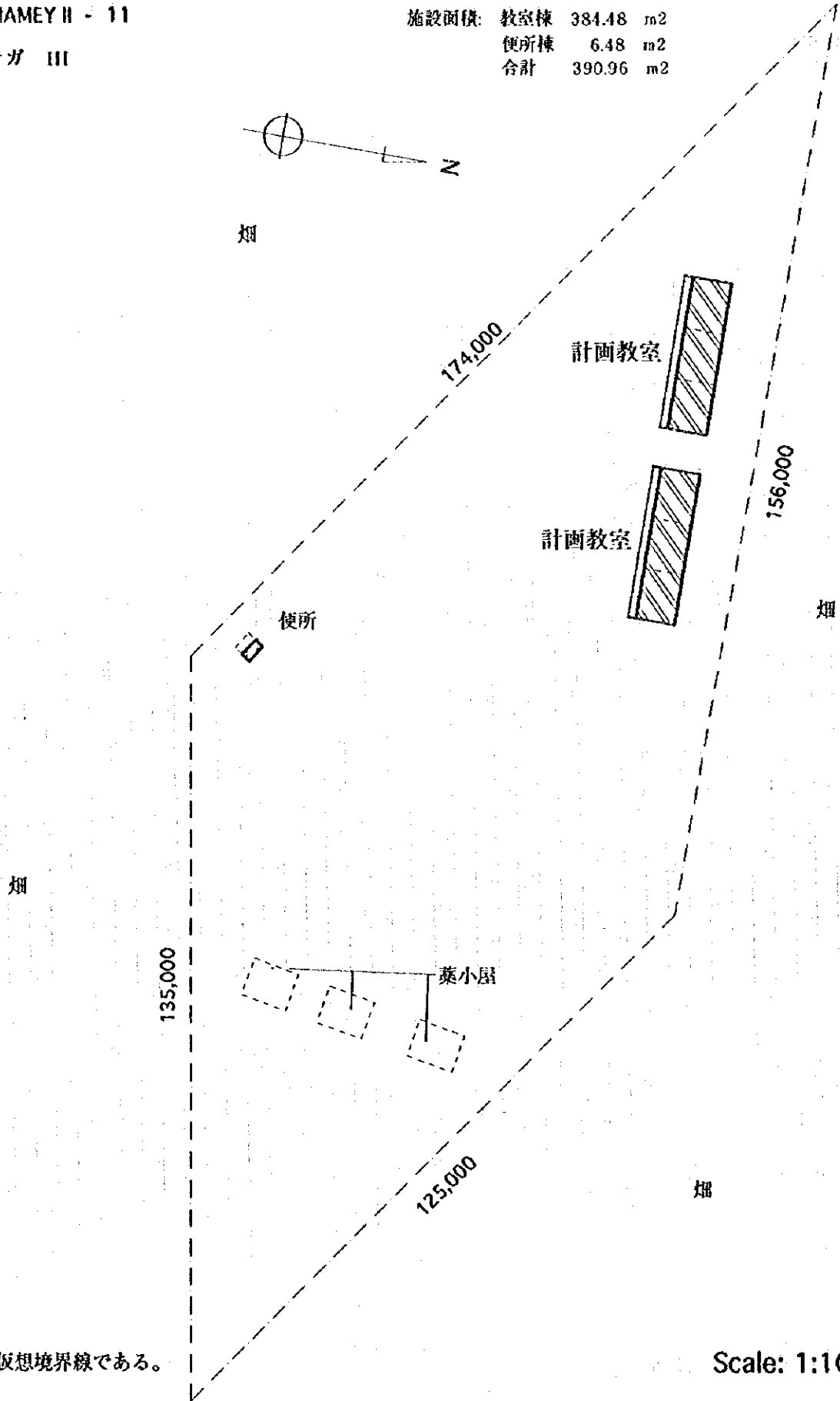
備考：敷地境界は地積図による。

Scale: 1:1500

NIAMEY II - 11

サガ III

施設面積: 教室棟 384.48 m²
便所棟 6.48 m²
合計 390.96 m²

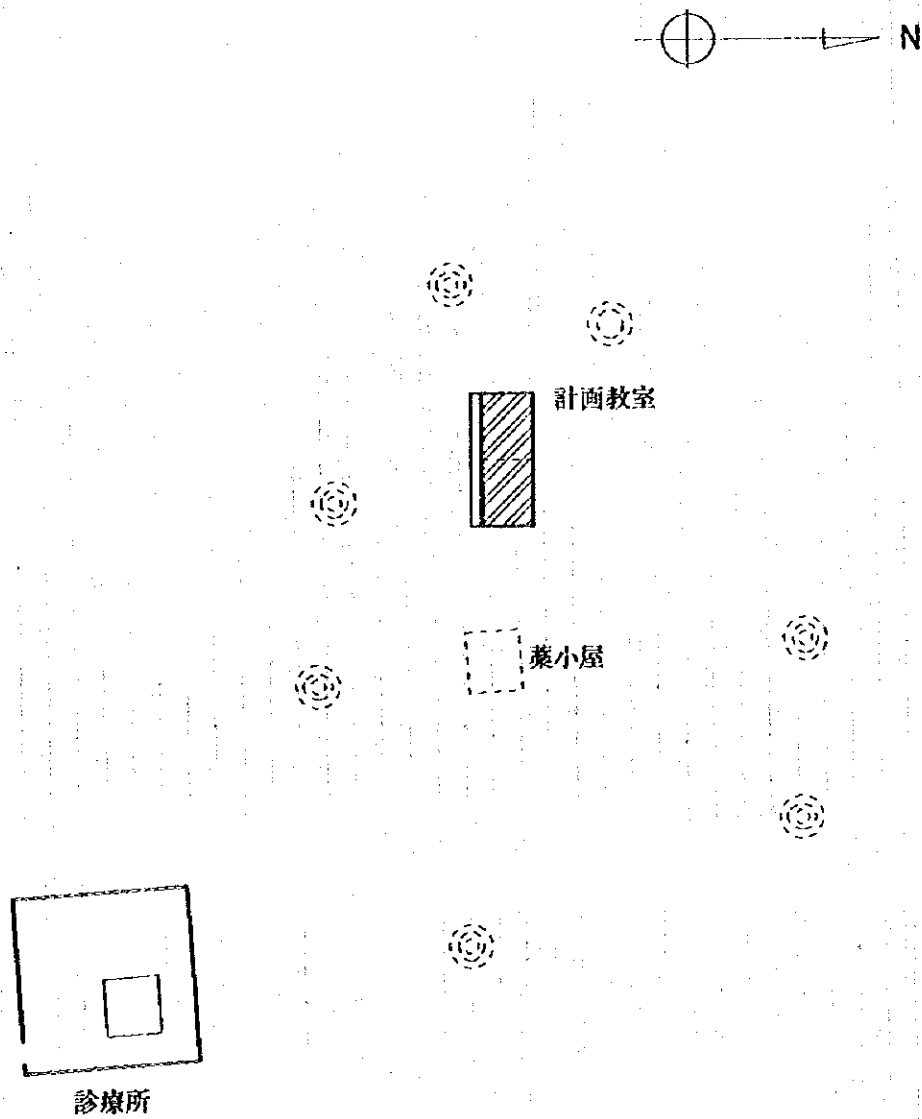


備考: 仮想境界線である。

Scale: 1:1000

NIAMEY II - 12
サガ グル II

施設面積: 教室棟 128.16 m²
便所棟 0 m²
合計 128.16 m²

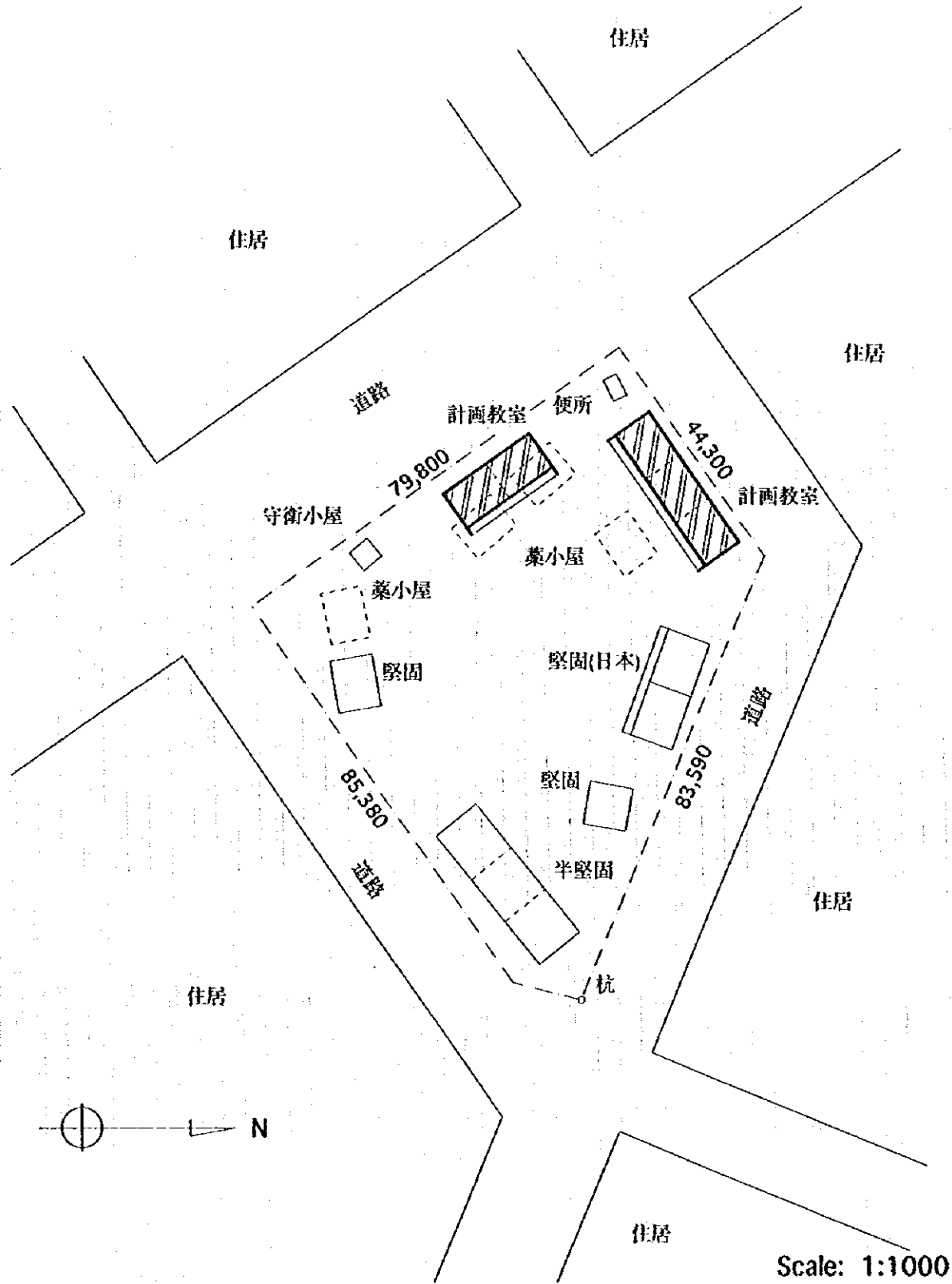


Scale: 1:1000

NIAMEY III - 1

カラジェ

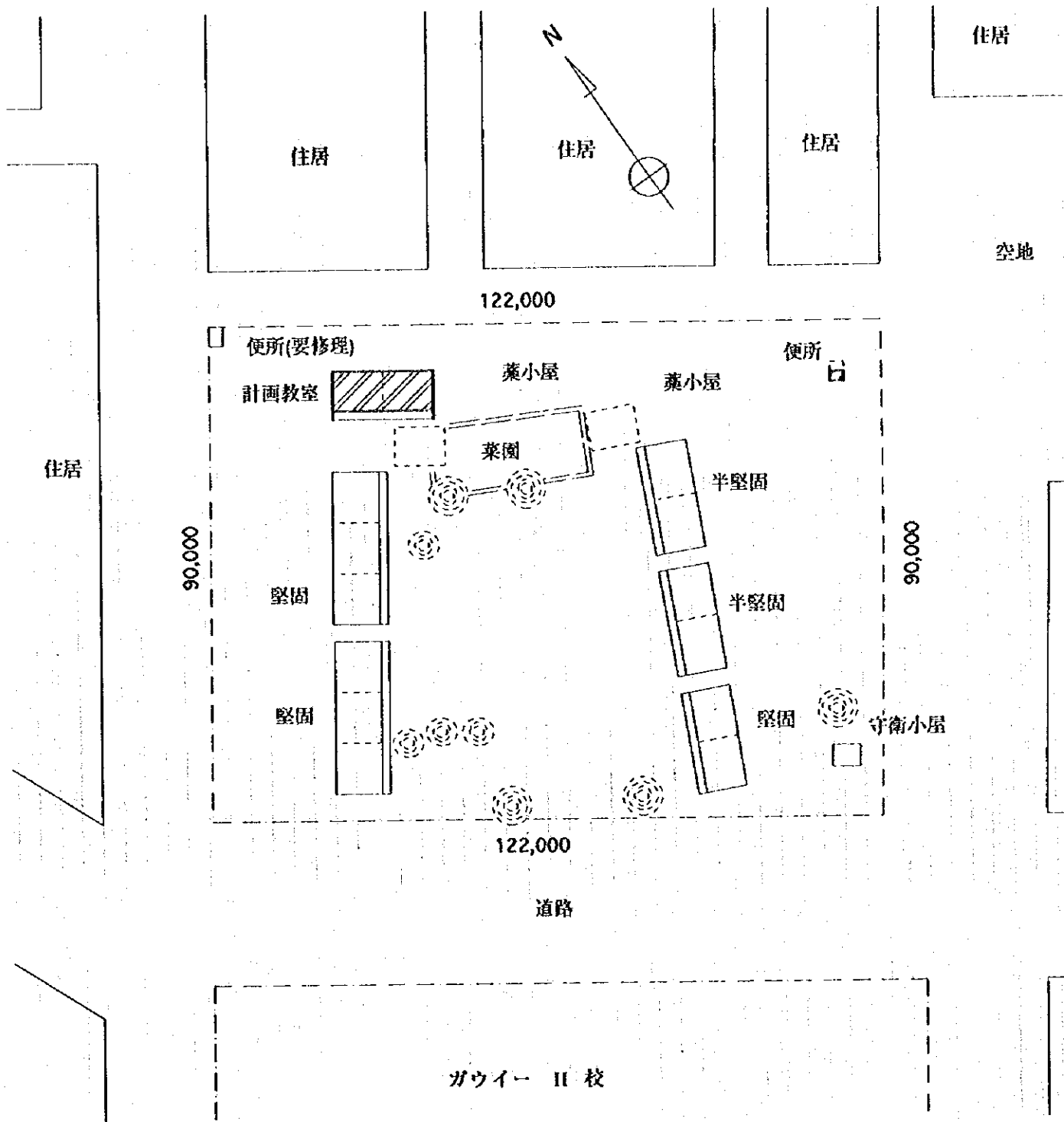
施設面積:	教室棟	320.40	m ²
	便所棟	0	m ²
	合計	320.40	m ²



NIAMEY III - 2

ガウイー I

施設面積:	教室棟	128.16	m ²
	便所棟	6.48	m ²
	合計	134.64	m ²

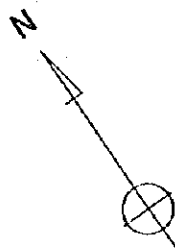


Scale: 1:1000

NIAMEY III - 3

ガウイー II

施設面積:	教室棟	256.32	m ²
	便所棟	0	m ²
	合計	256.32	m ²

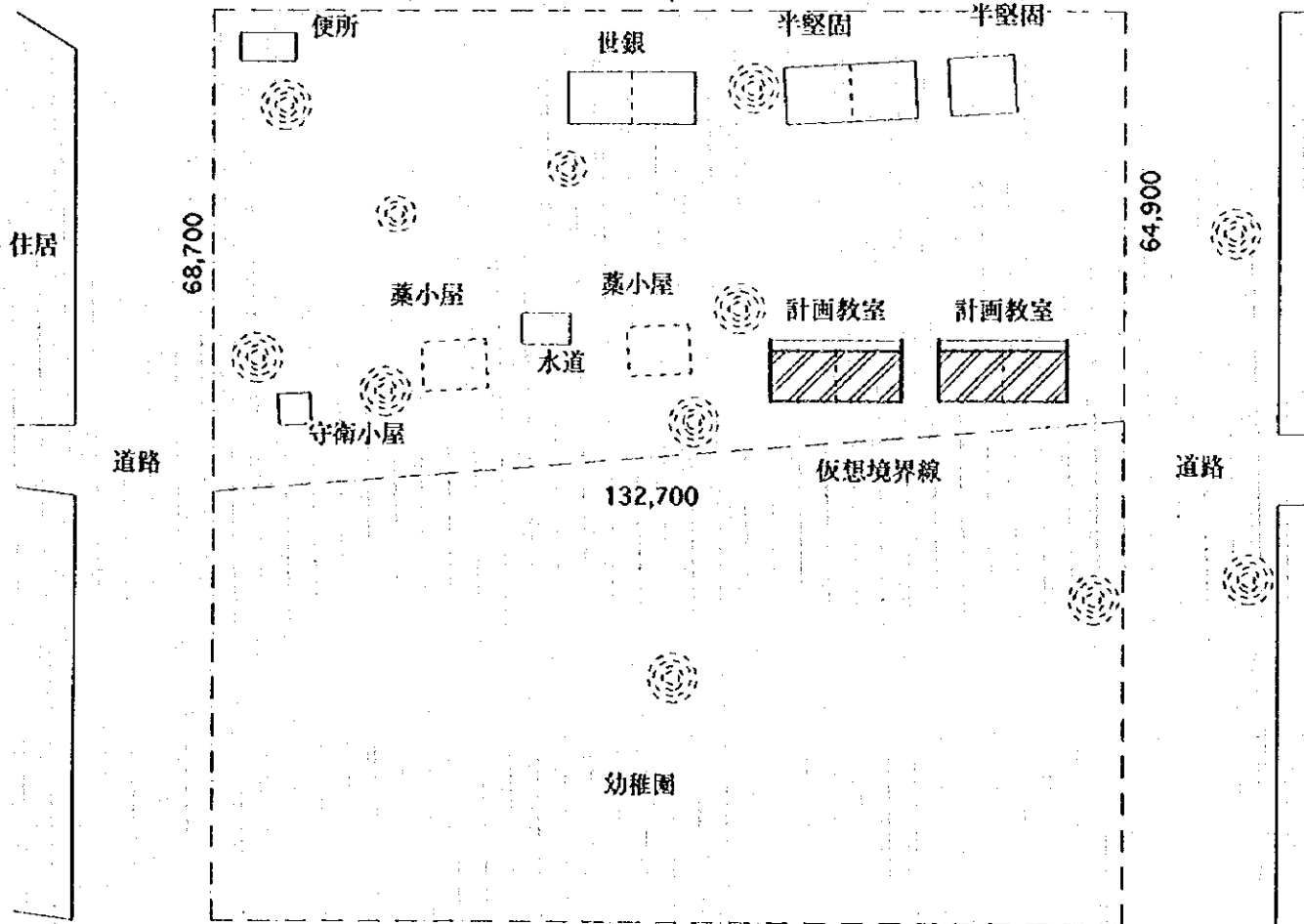


ガウイー I 校



道路

130,000



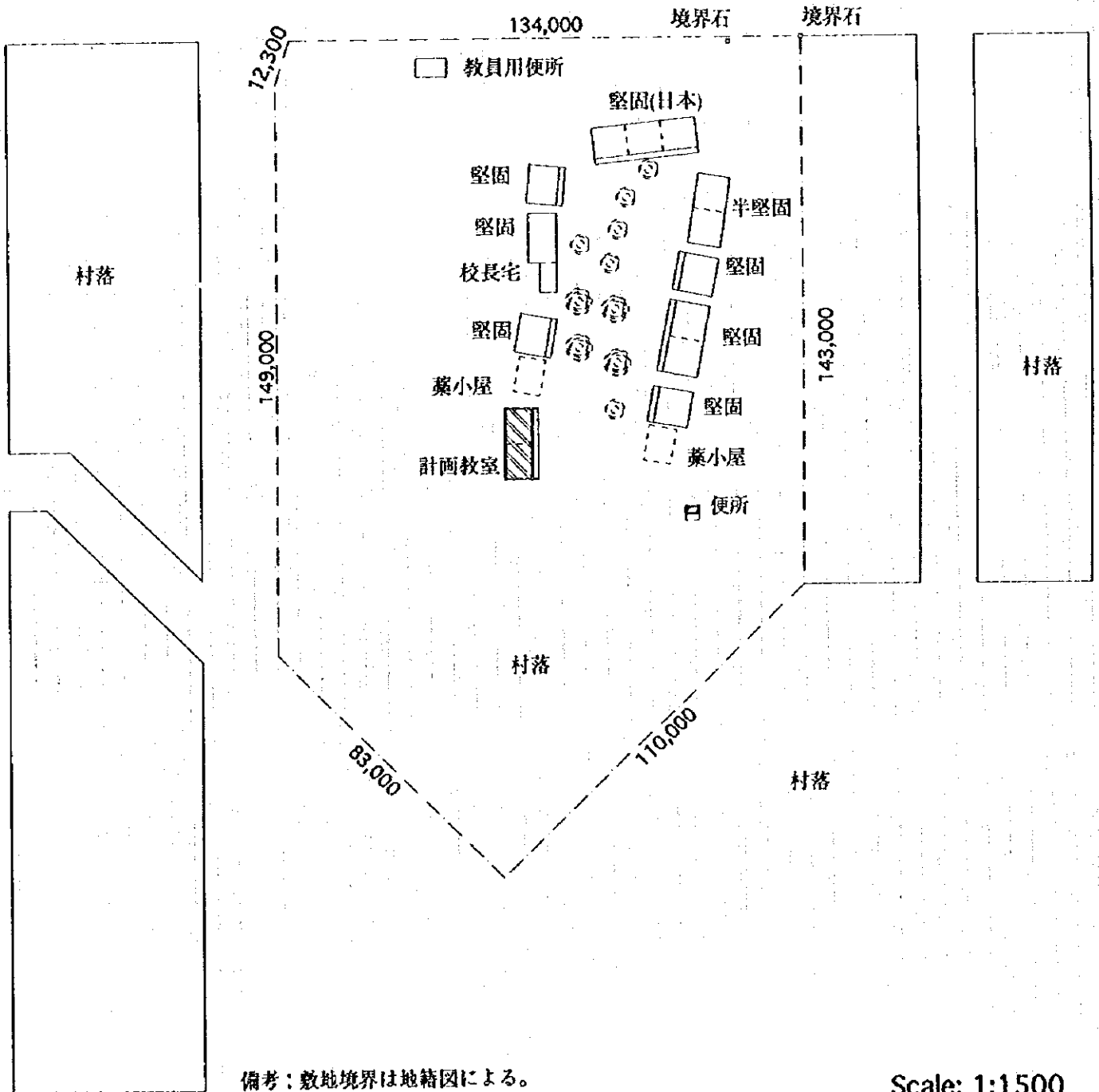
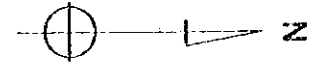
道路

Scale: 1:1000

NIAMEY III - 4

キルキソイ I

施設面積:	教室棟	128.16	m ²
	便所棟	6.48	m ²
	合計	134.64	m ²



備考：敷地境界は地籍図による。

Scale: 1:1500

NIAMEY III - 5

キルキソイ II

施設面積:	教室棟	576.72	m ²
	便所棟	6.48	m ²
	合計	583.20	m ²

民家

民家



民家

道路

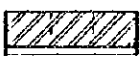
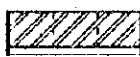
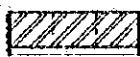
便所

計画教室



計画教室

計画教室



薬小屋

民家

道路

薬小屋

民家

民家

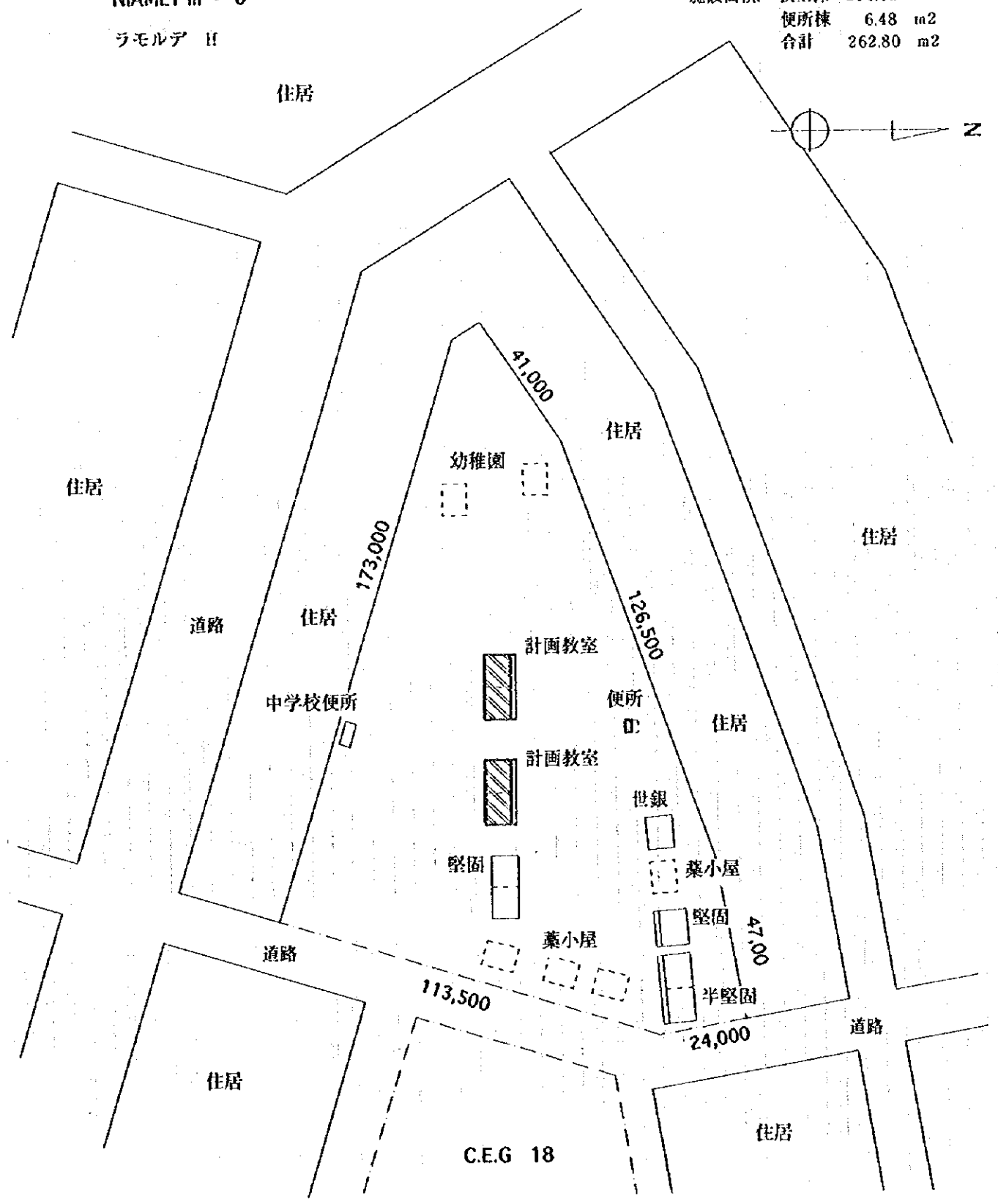
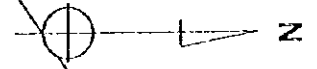
民家

Scale: 1:1500

NIAMEY III - 6

ラモルデ II

施設面積:	教室棟	256.32	m ²
	便所棟	6.48	m ²
	合計	262.80	m ²

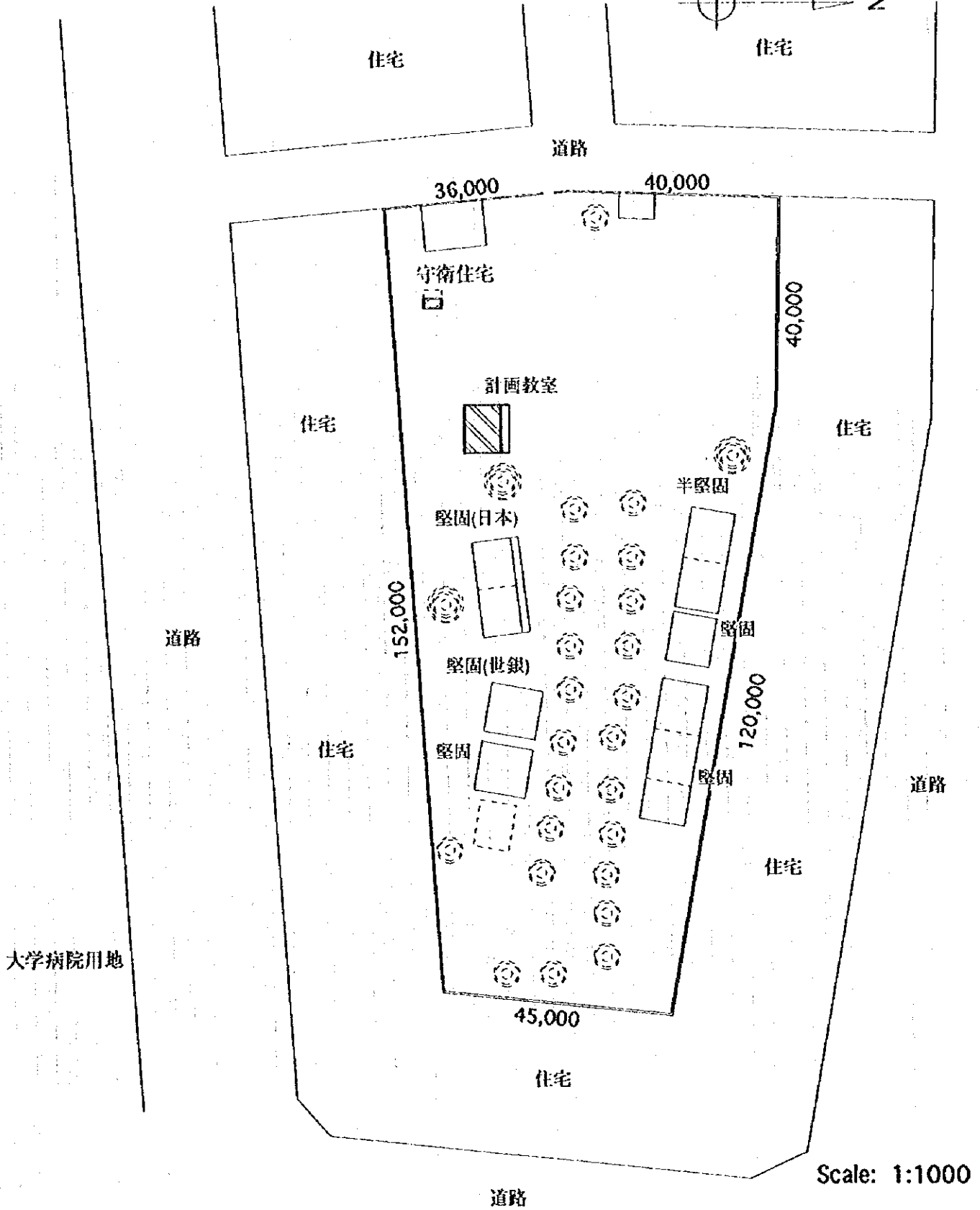
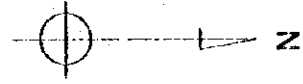


Scale: 1:1500

NIAMEY III - 7

ノガレ

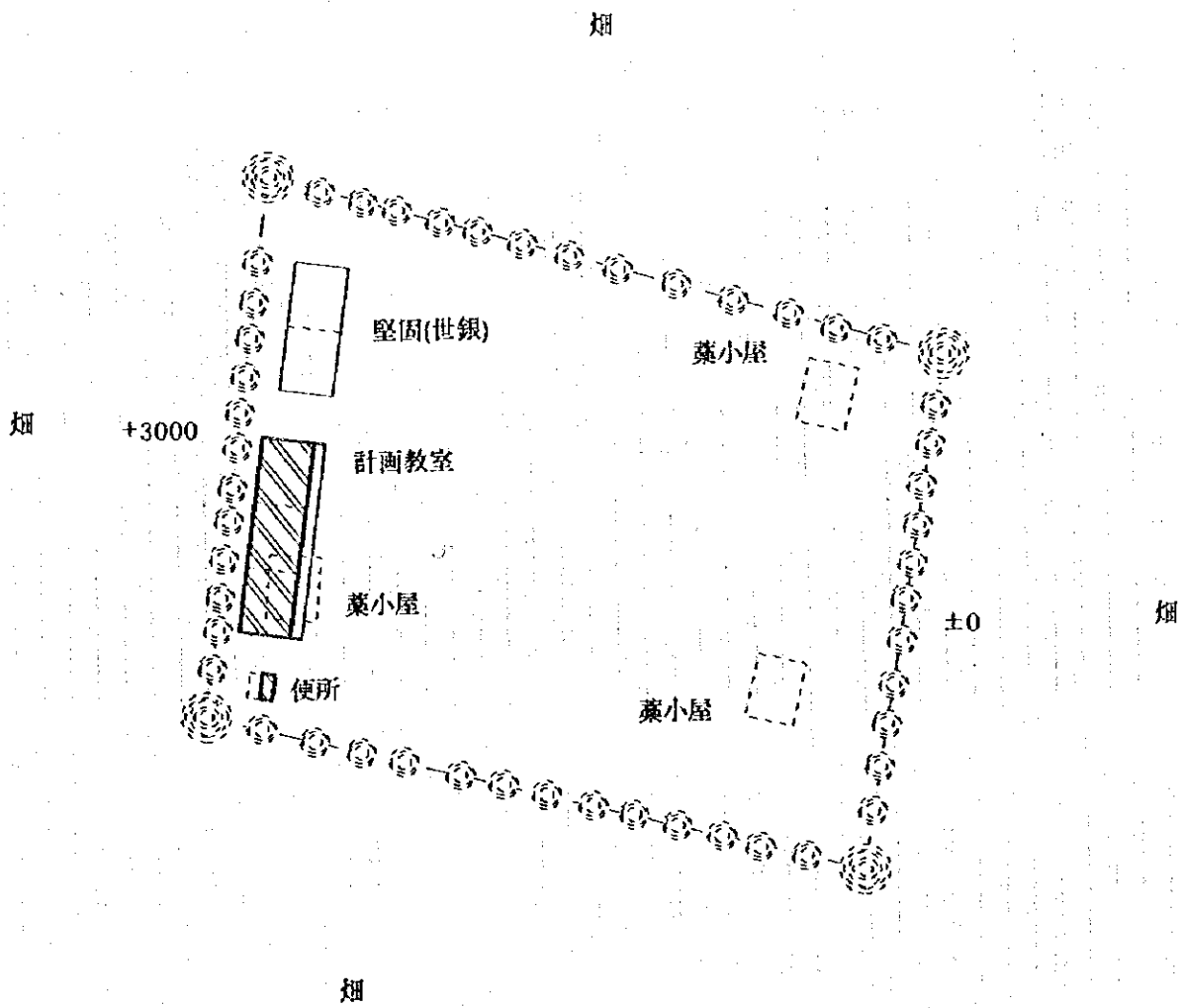
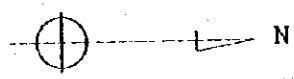
施設面積:	教室棟	64.08	m ²
	便所棟	6.48	m ²
	合計	70.56	m ²



Scale: 1:1000

NIAMEY III - 8
 ネニ グンダ

施設面積: 教室棟 192.24 m²
 便所棟 6.48 m²
 合計 198.72 m²



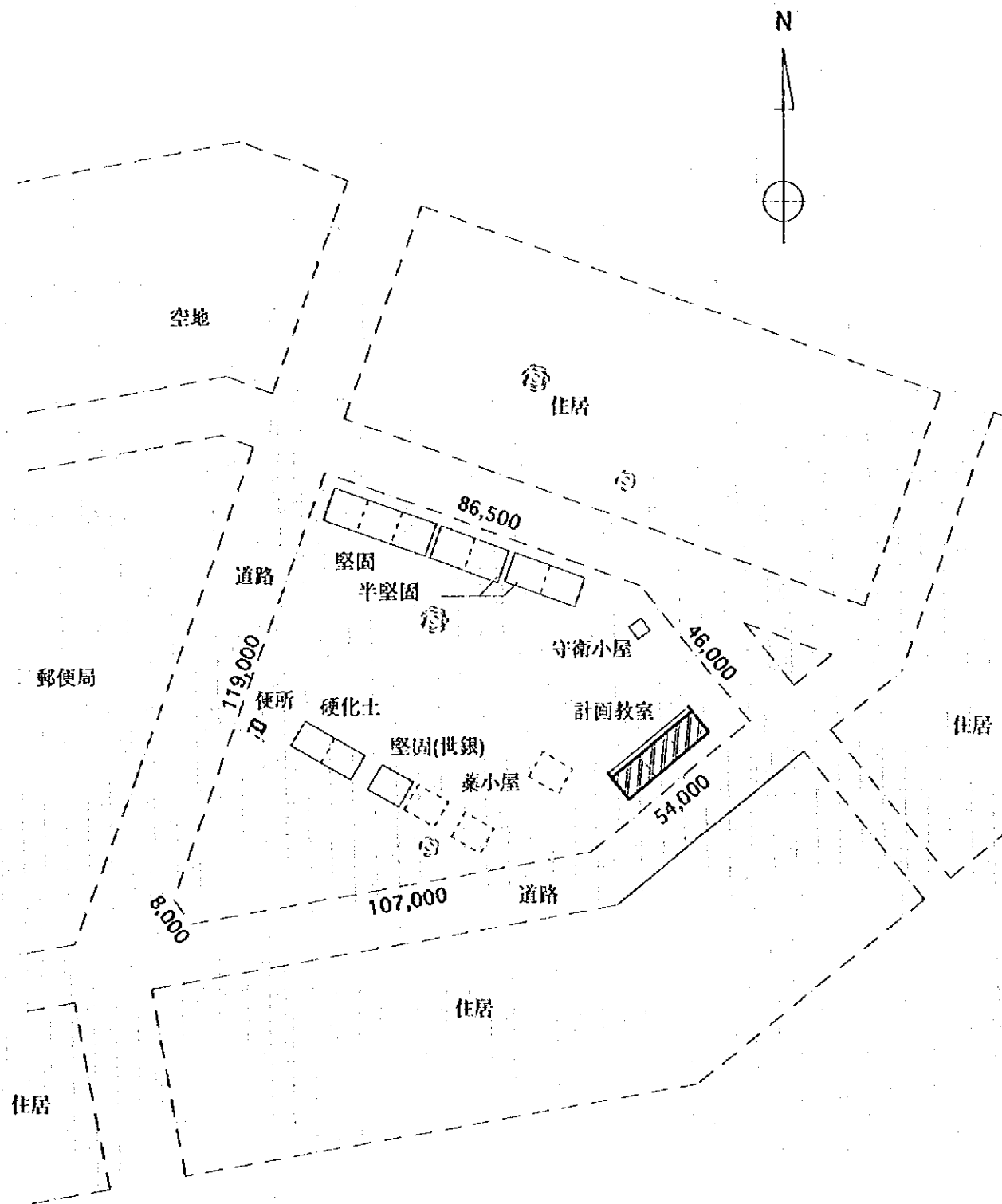
備考: 仮想境界線

Scale: 1:1000

NIAMEY III - 9

ボン ケネディー

施設面積: 教室棟 192.24 m²
便所棟 6.48 m²
合計 198.72 m²

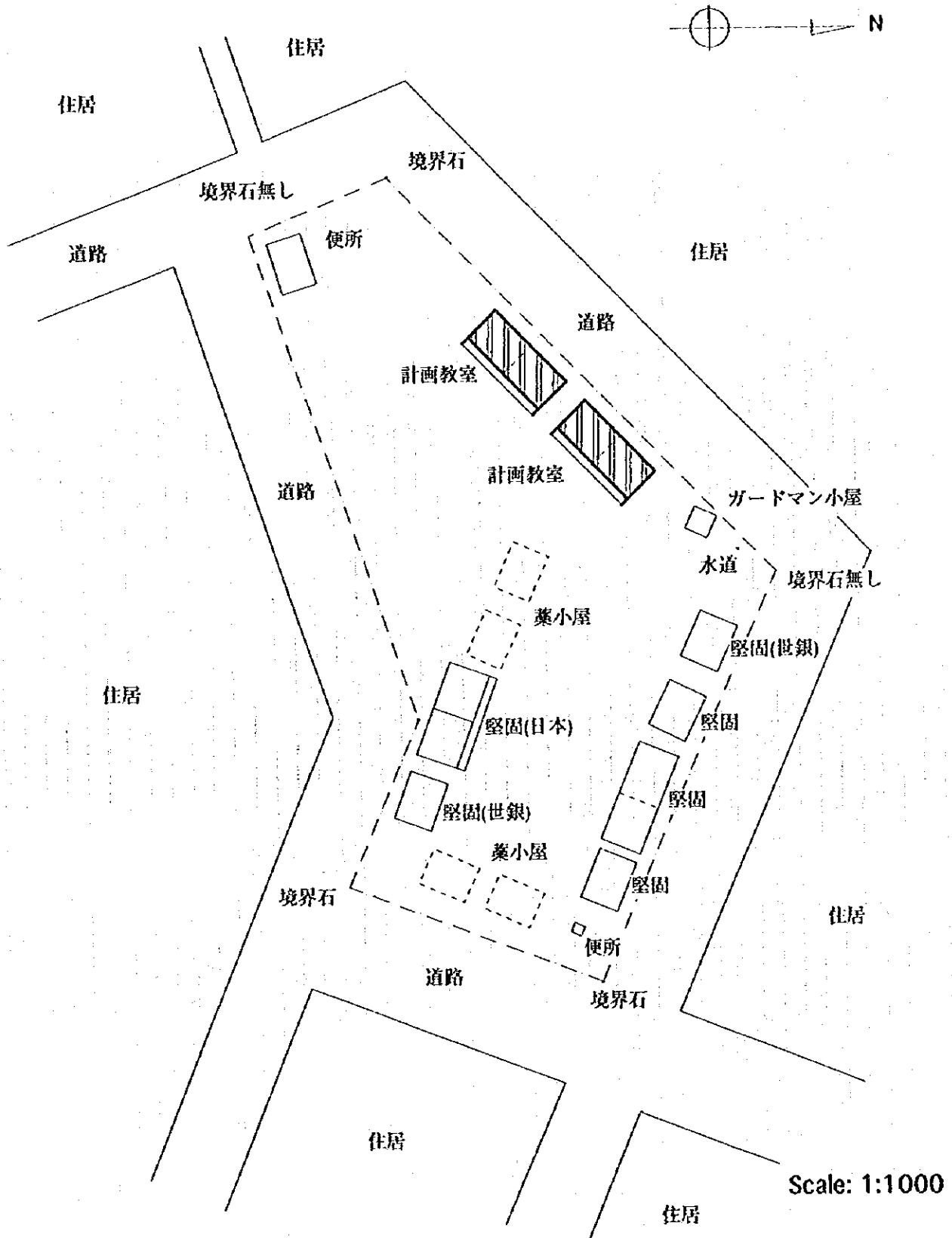


Scale: 1:1500

NIAMEY III - 10

リープ ドロワット III

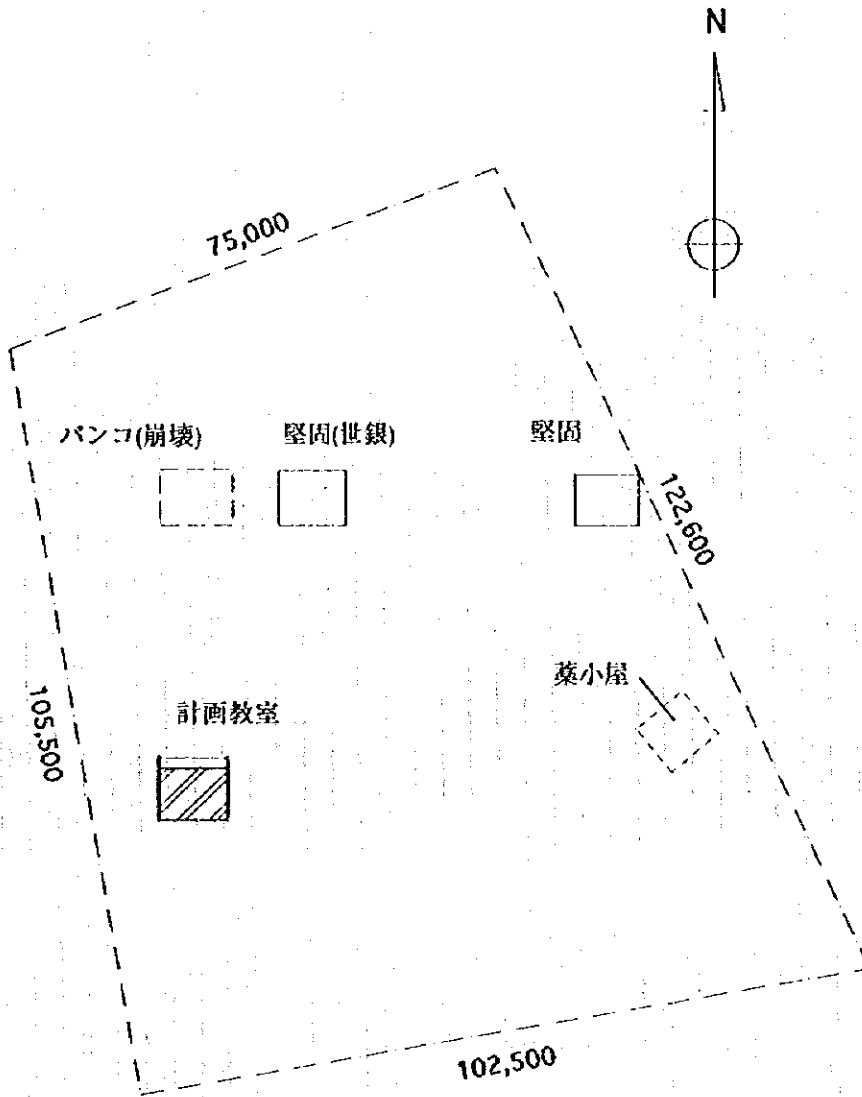
施設面積: 教室棟 256.32 m²
便所棟 0 m²
合計 256.32 m²



TILLABERY - 1

タイペリ

施設面積	教室棟	64.08	m ²
	便所棟	0	m ²
	合計	64.08	m ²



Scale: 1:1000

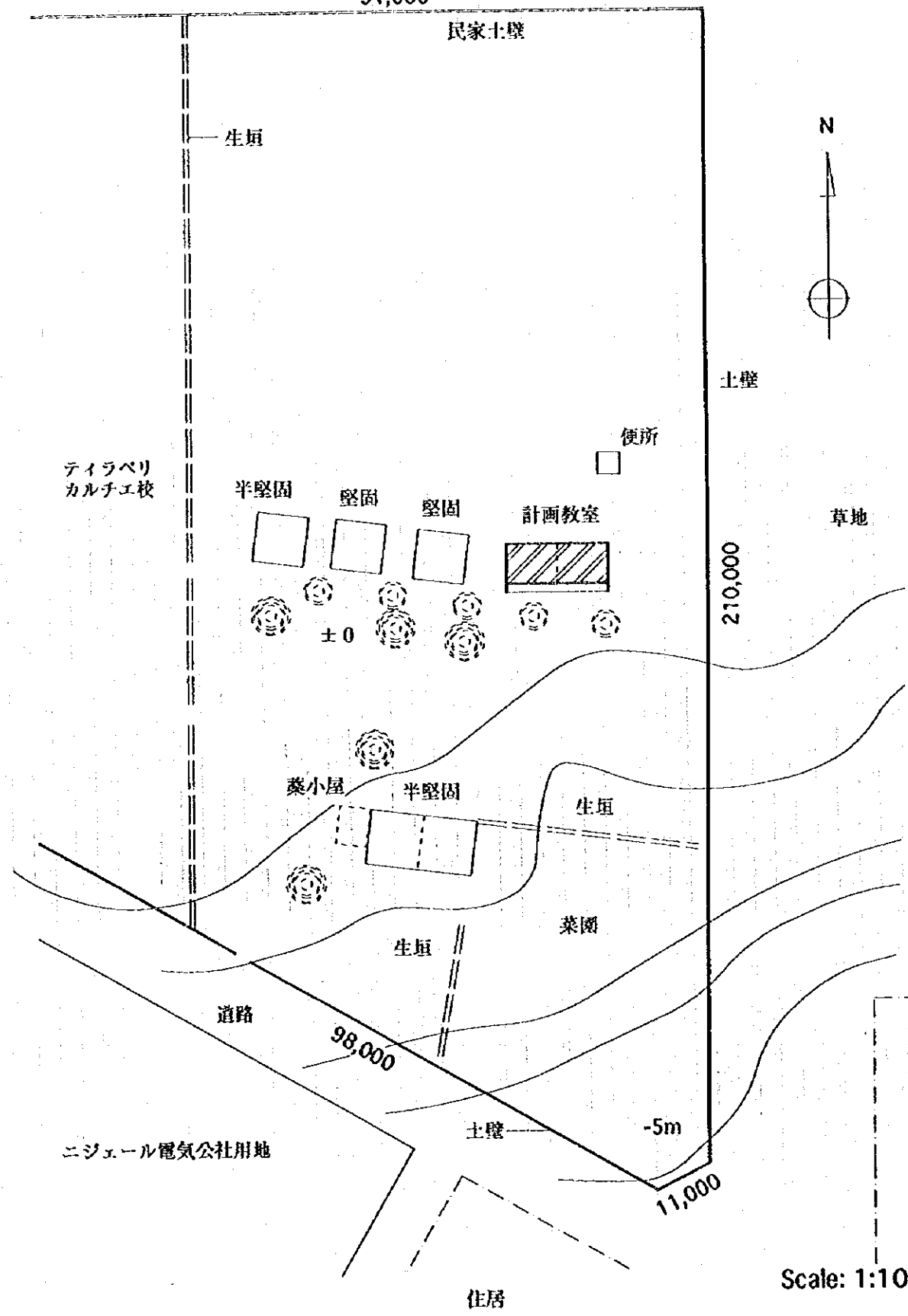
TILLABERY 2

住居

施設面積:	教室棟	128.16	m ²
	便所棟	0	m ²
	合計	128.16	m ²

ティラベリ メダルサ

91,000

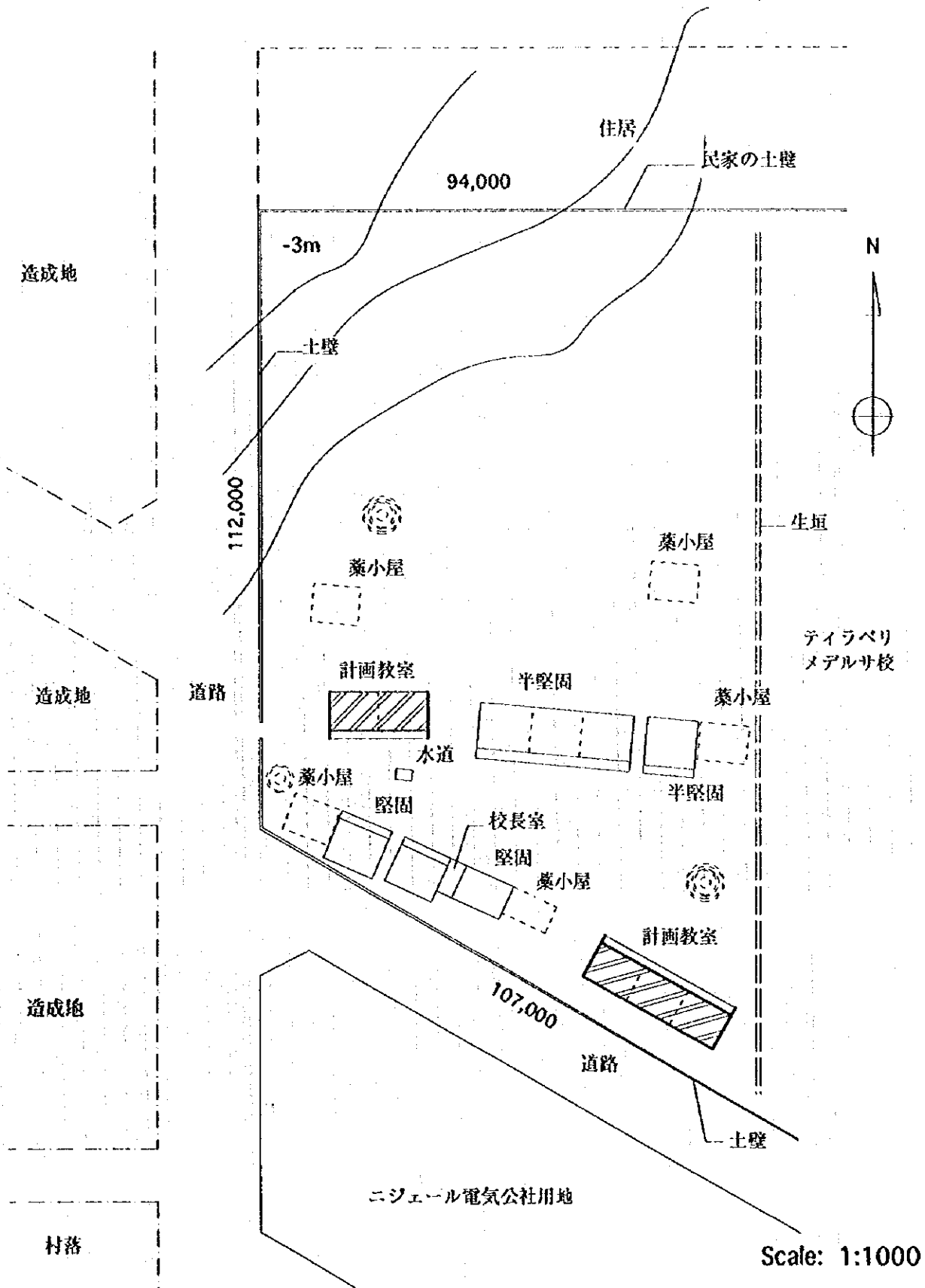


Scale: 1:1000

TILLABERY - 3

テイラベリ カルチエ

施設面積: 教室棟 320.40 m²
 便所棟 0 m²
 合計 320.40 m²

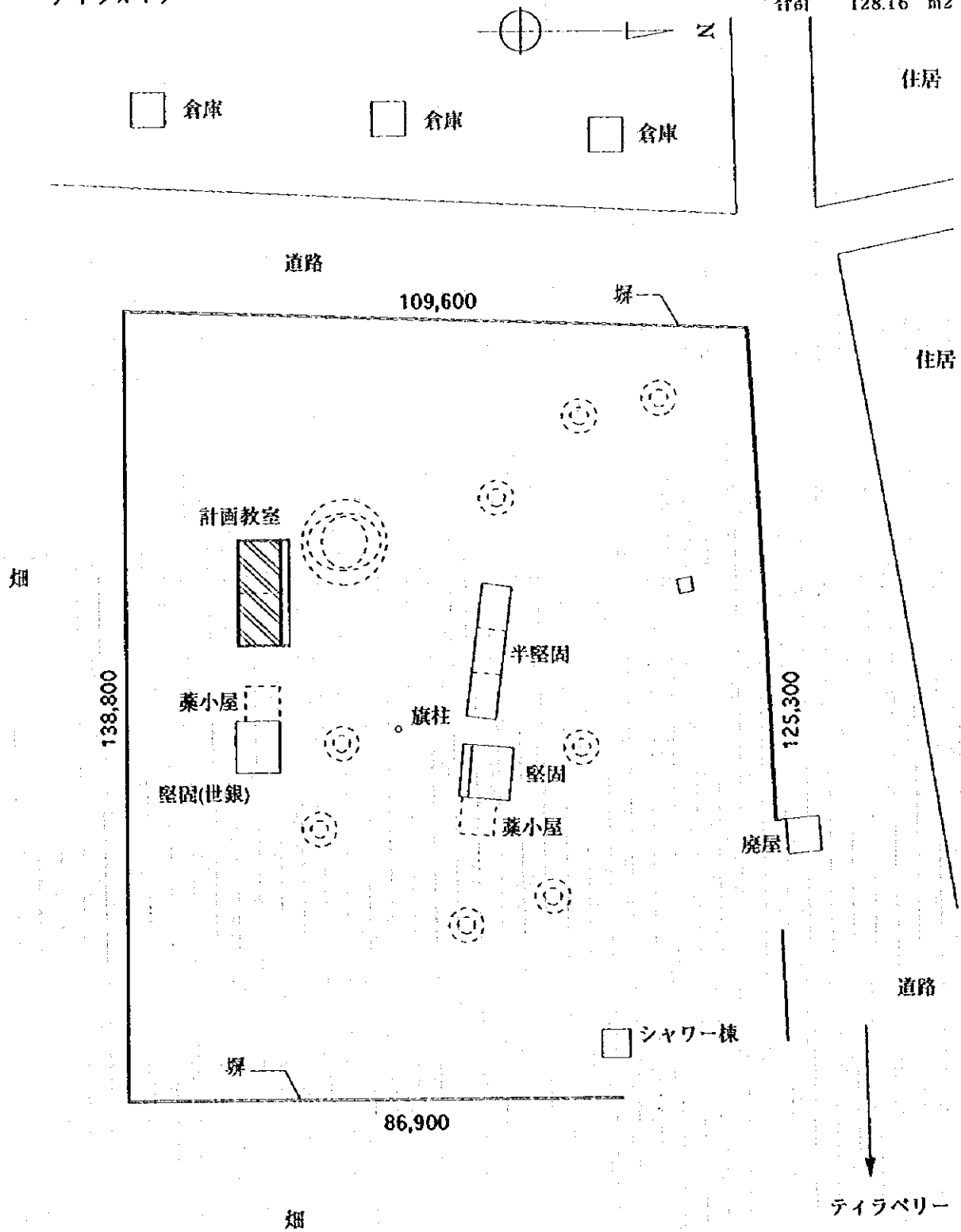


Scale: 1:1000

TILLABERY - 4

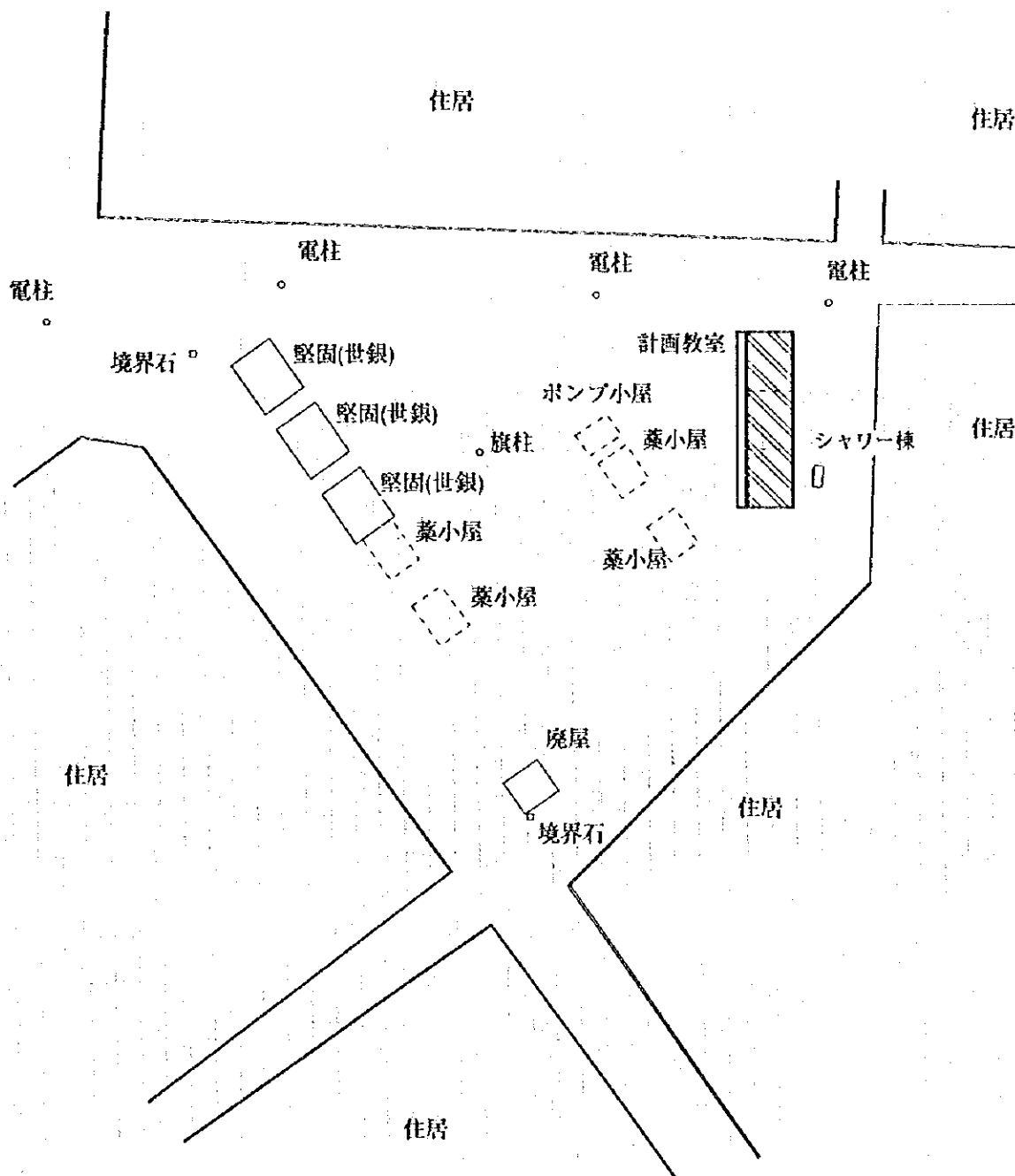
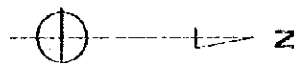
テイラカイナ

施設面積:	教室棟	128.16	m ²
	便所棟	0	m ²
	合計	128.16	m ²



Scale 1:1000

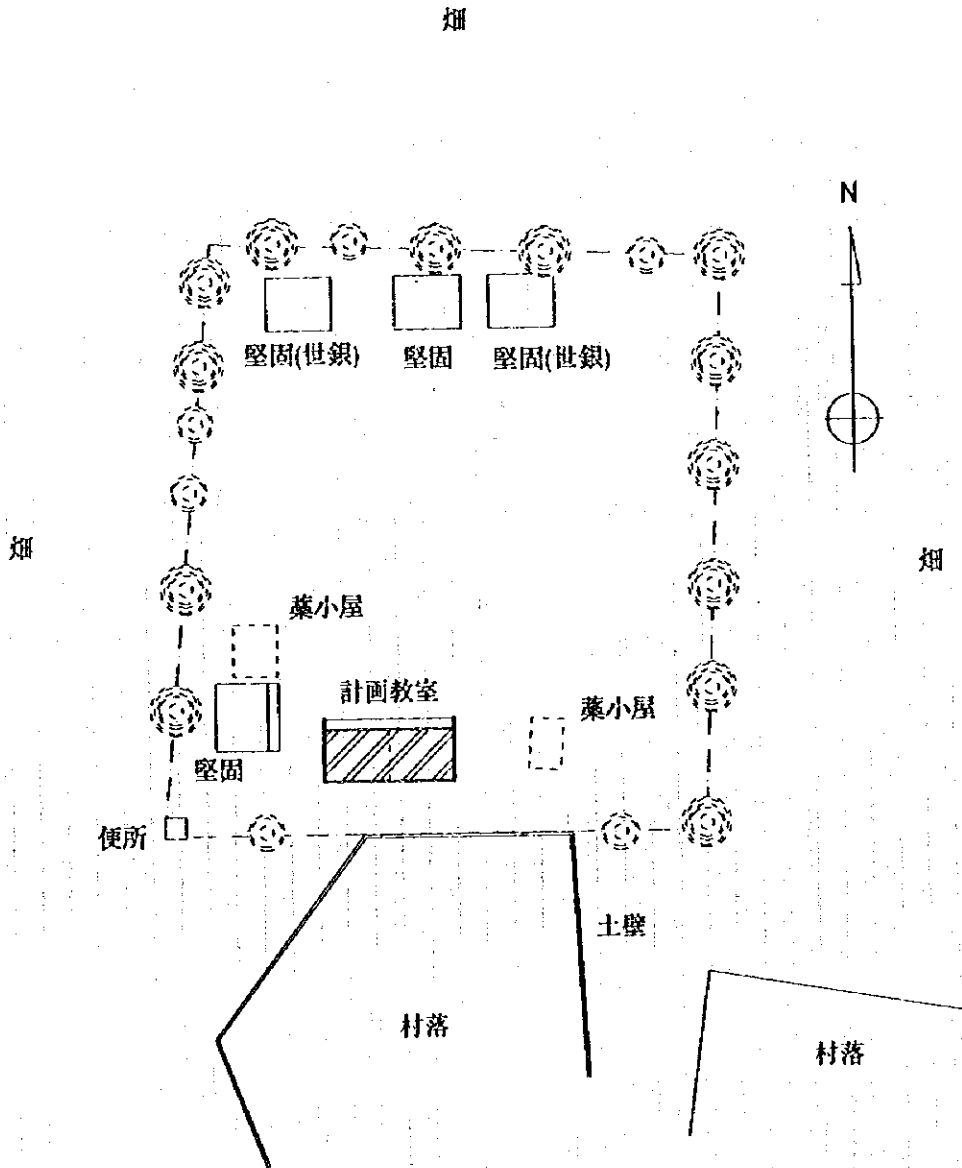
施設面積:	教室棟	192.24	m ²
	便所棟	0	m ²
	合計	192.24	m ²



Scale 1:1000

KOLLO - 1
コロ ガルマ

施設面積: 教室棟 128.16 m²
 便所棟 0 m²
 合計 128.16 m²



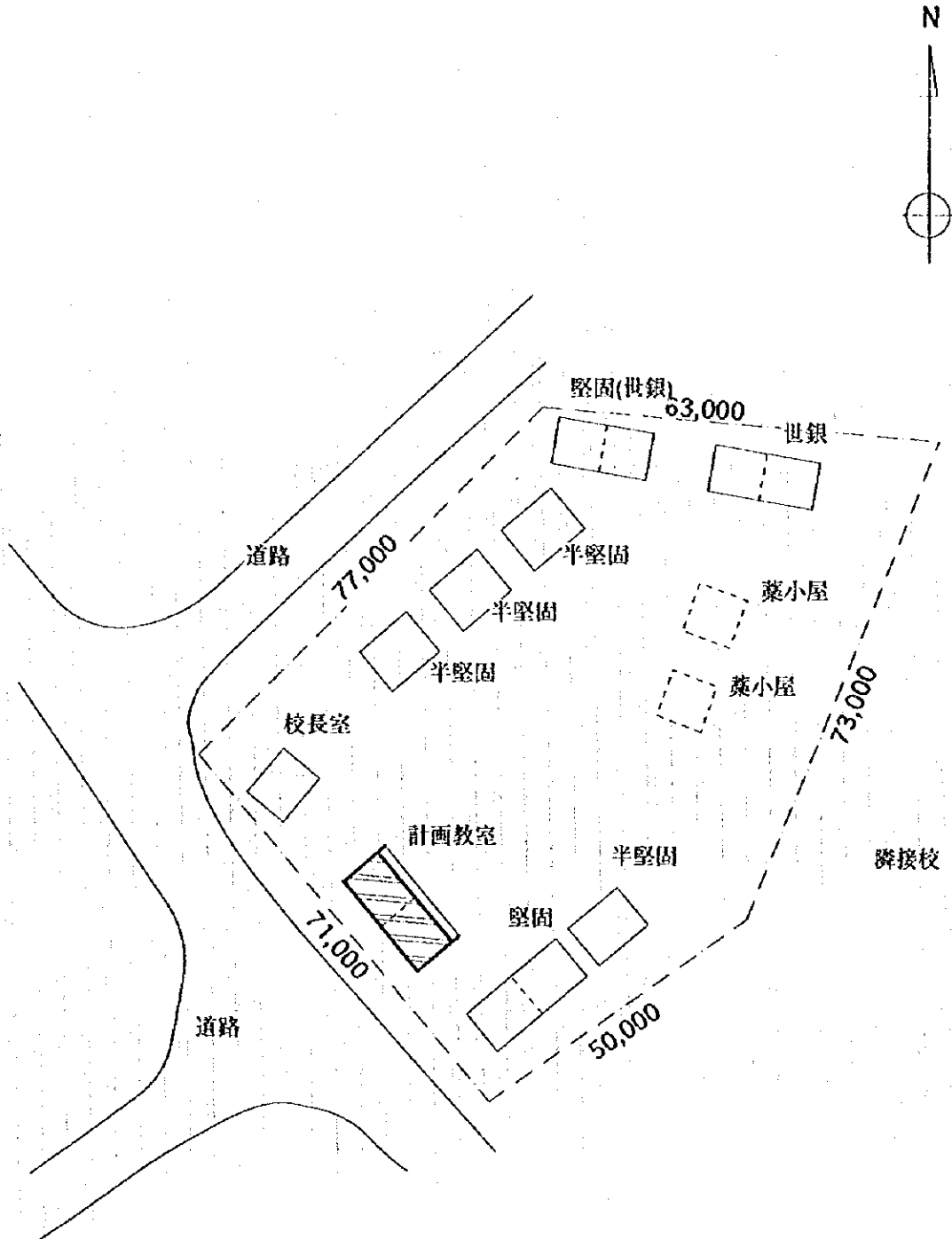
備考: 敷地境界無し。

Scale: 1:1000

KOLLO - 3

コロ カルチエ

施設面積:	教室棟	128.16	m ²
	便所棟	0	m ²
	合計	128.16	m ²



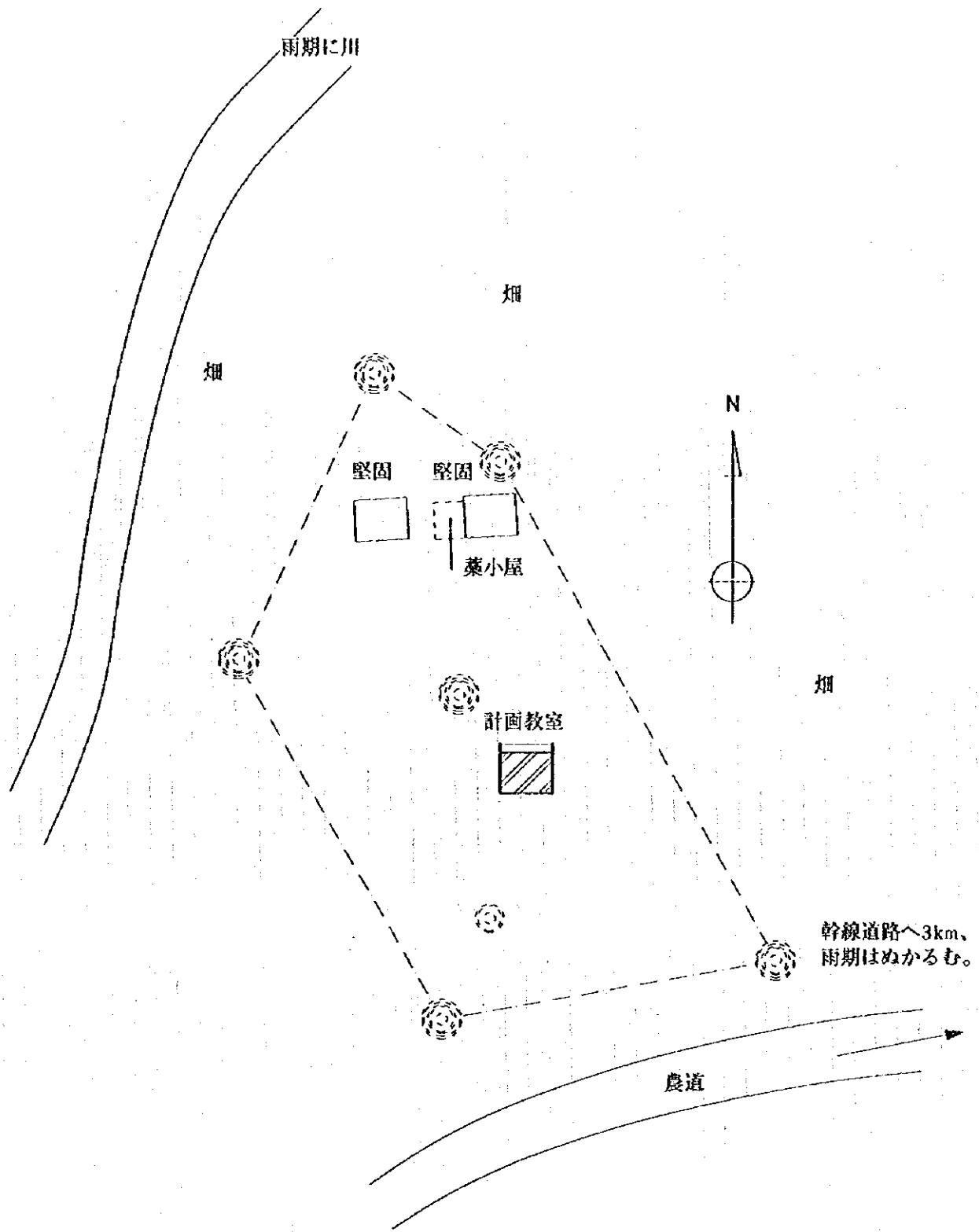
備考：境界線は仮想である。

Scale: 1:1000

KOLLO - 4

リボレ ザルマ

施設面積:	教室棟	64.08	m ²
	便所棟	0	m ²
	合計	64.08	m ²



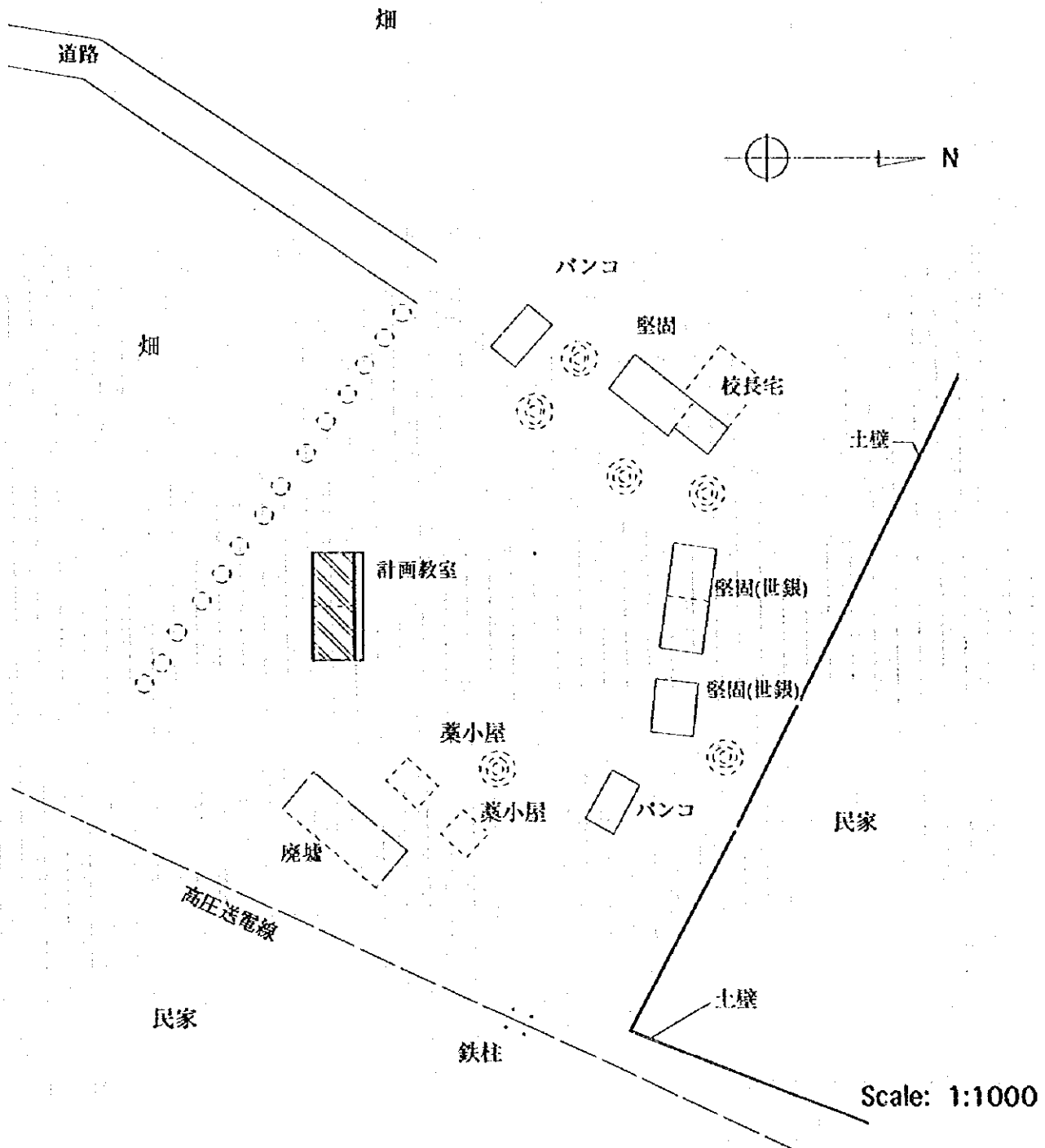
備考：明瞭な敷地境界無し。

Scale: 1:1000

KOLLO -5

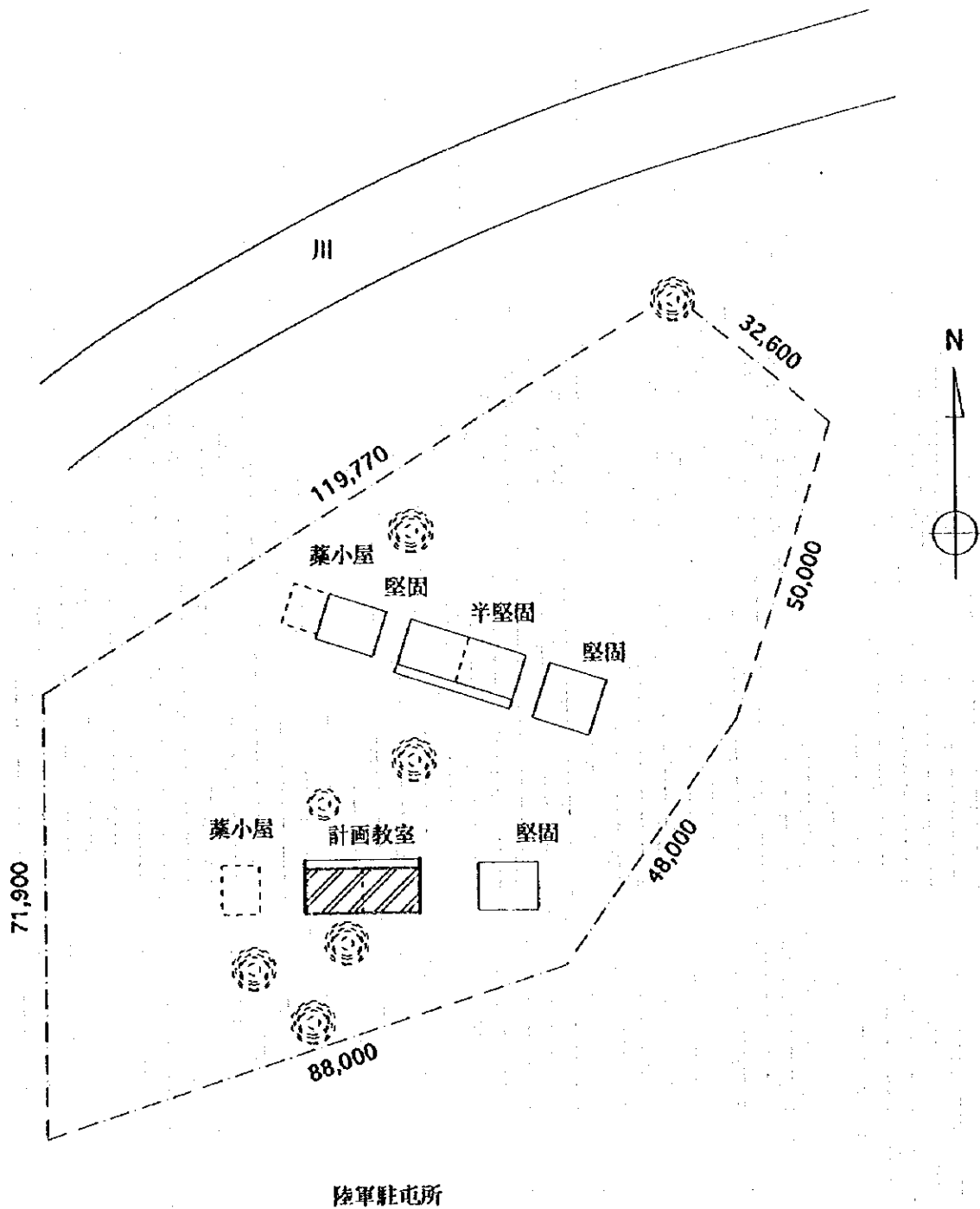
クルテレ

施設面積:	教室棟	128.16	m ²
	便所棟	0	m ²
	合計	128.16	m ²



KOLLO - 6
 スドゥレ

施設面積: 教室棟 128.16 m²
 便所棟 0 m²
 合計 128.16 m²

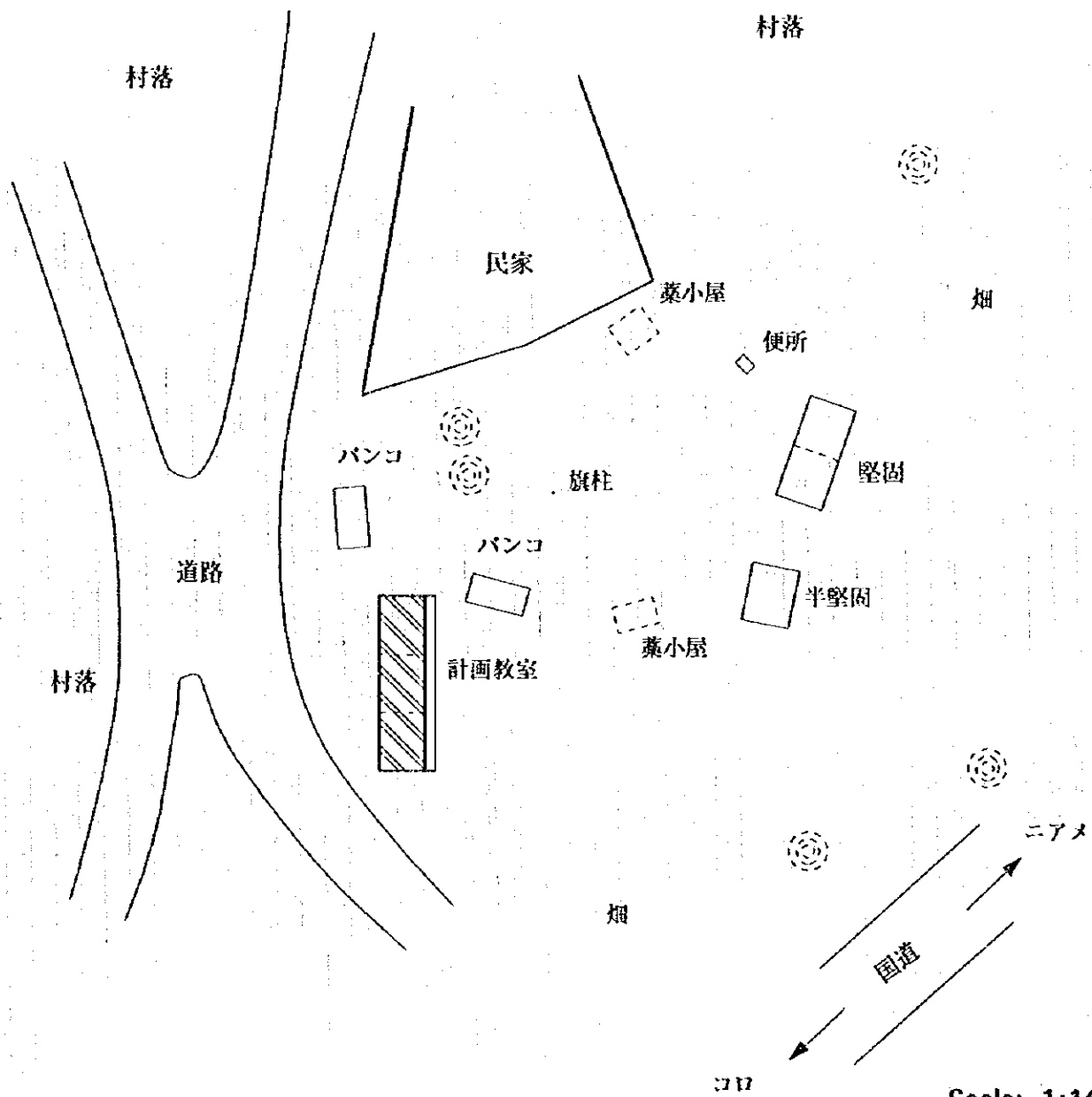
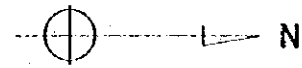


Scale: 1:1000

KOLLO - 7

リボレ チンダファル

施設面積:	教室棟	192.24	m ²
	便所棟	0	m ²
	合計	192.24	m ²

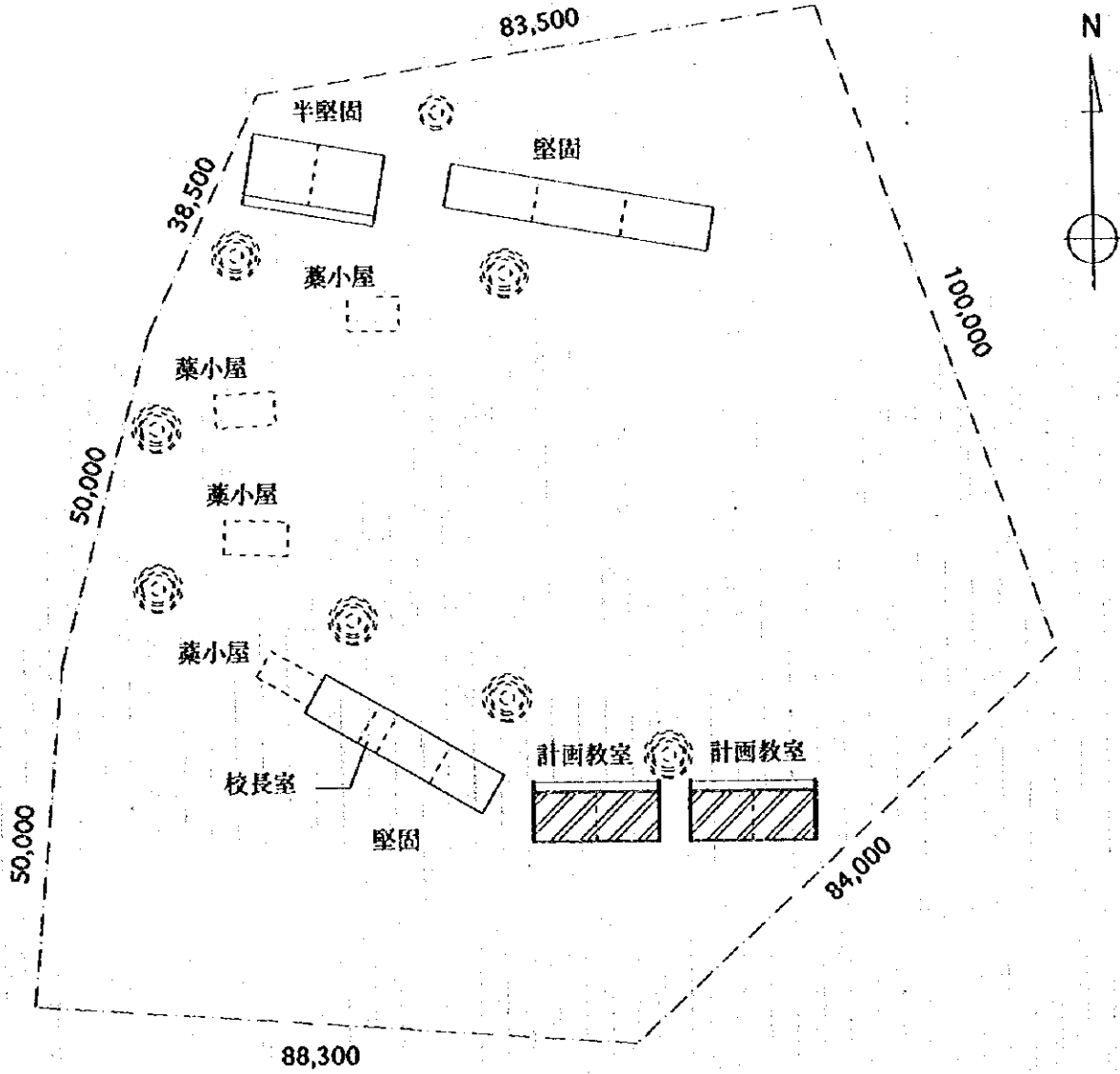


Scale: 1:1000

SAY - 1

サイ サントロ

施設面積:	教室棟	256.32	m ²
	便所棟	0	m ²
	合計	256.32	m ²

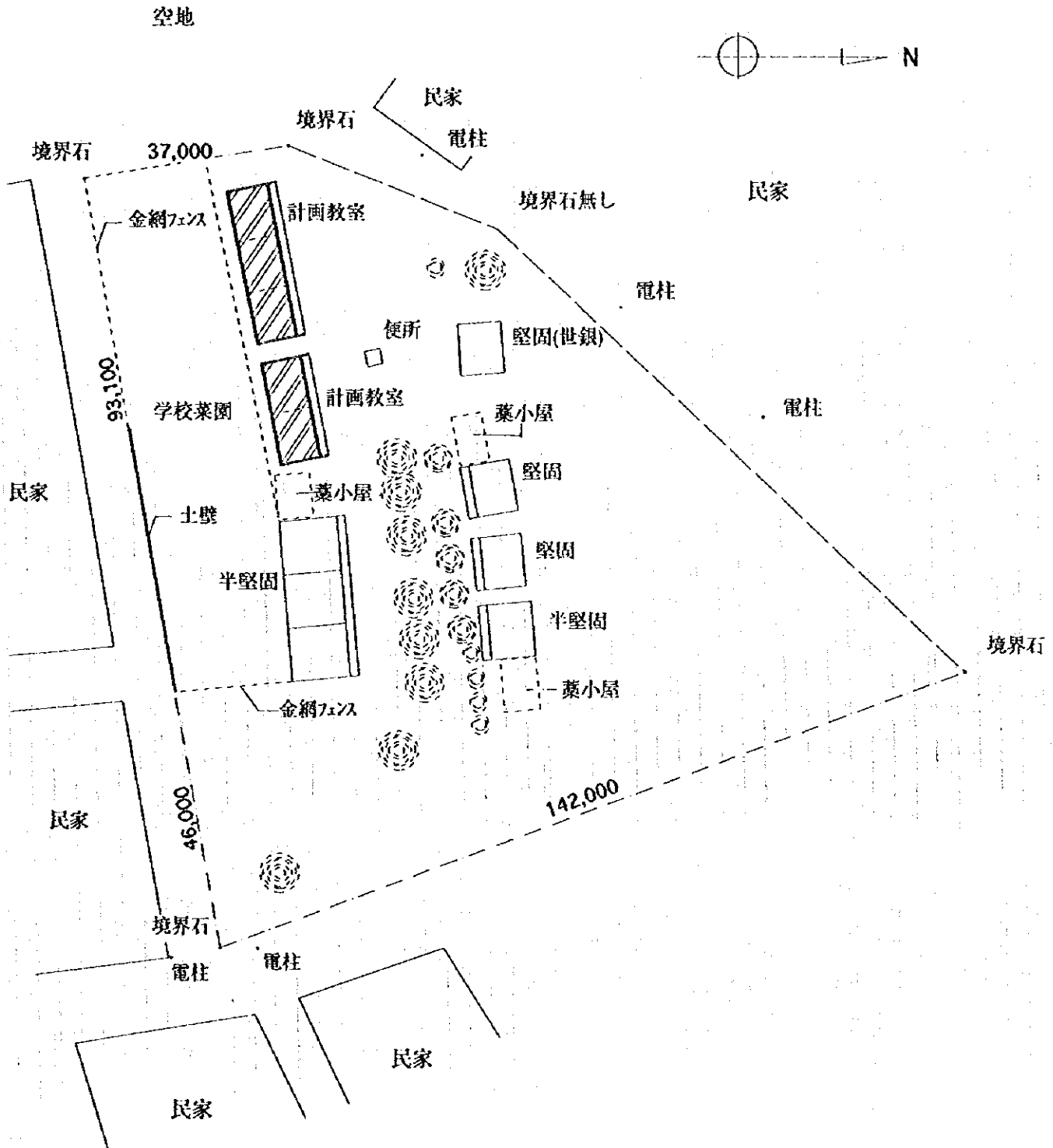


Scale: 1:1000

SAY - 2

サイ カルチエ.

施設面積:	教室棟	320.40	m ²
	便所棟	0	m ²
	合計	320.40	m ²

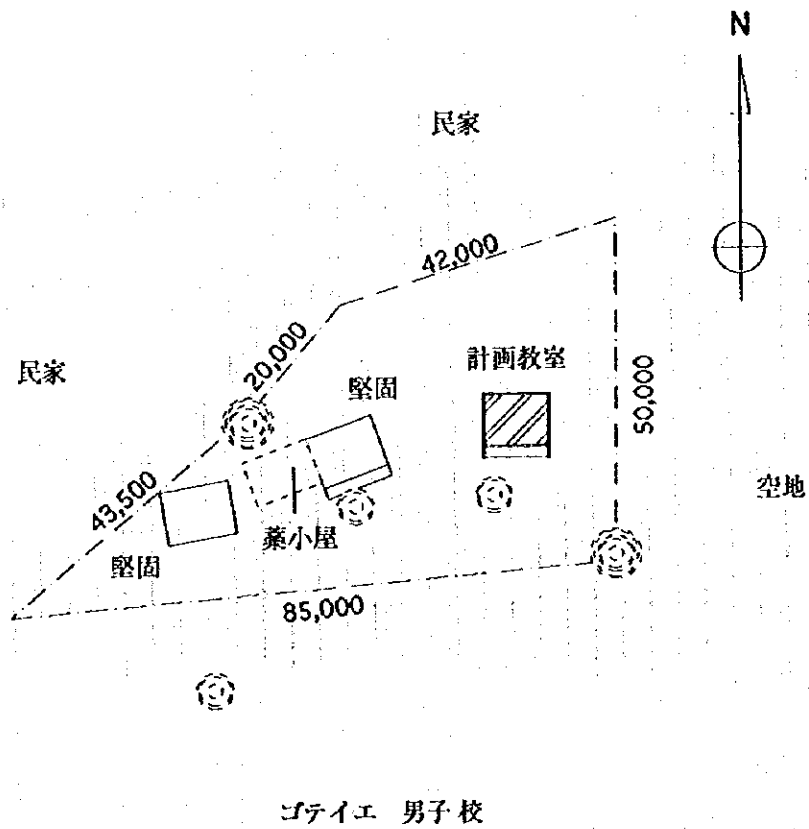


Scale: 1:1000

TERA - 1

ゴテイエ メダルサ

施設面積:	教室棟	64.08	m ²
	便所棟	0	m ²
	合計	64.08	m ²



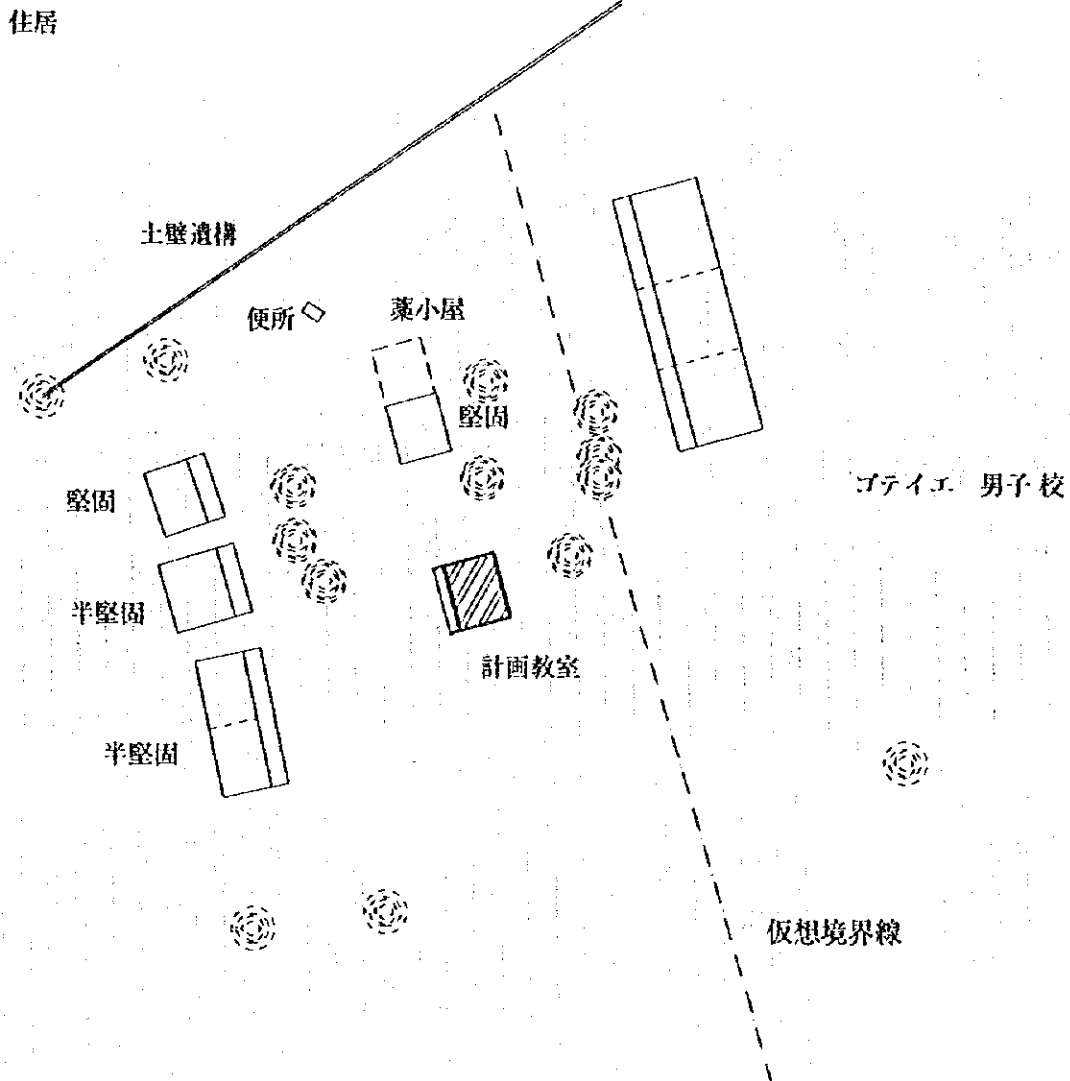
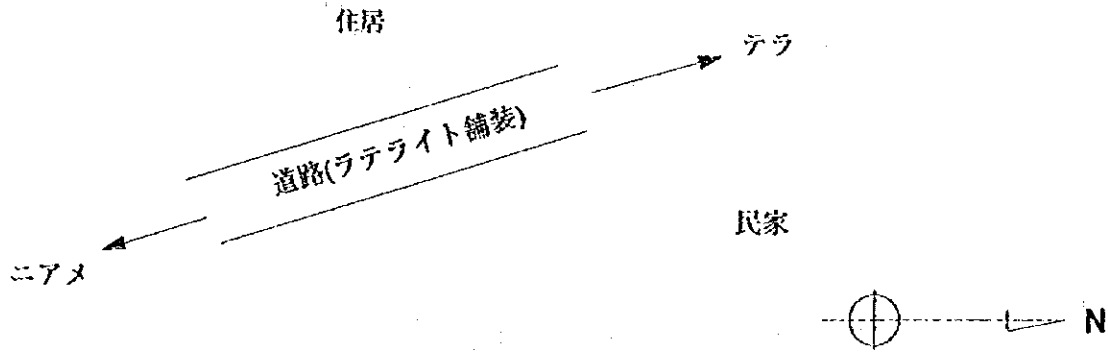
備考：敷地境界石無し。

Scale: 1:1000

TERA - 2

ブテイエ 女子校

施設面積:	教室棟	64.08	m ²
	便所棟	0	m ²
	合計	64.08	m ²



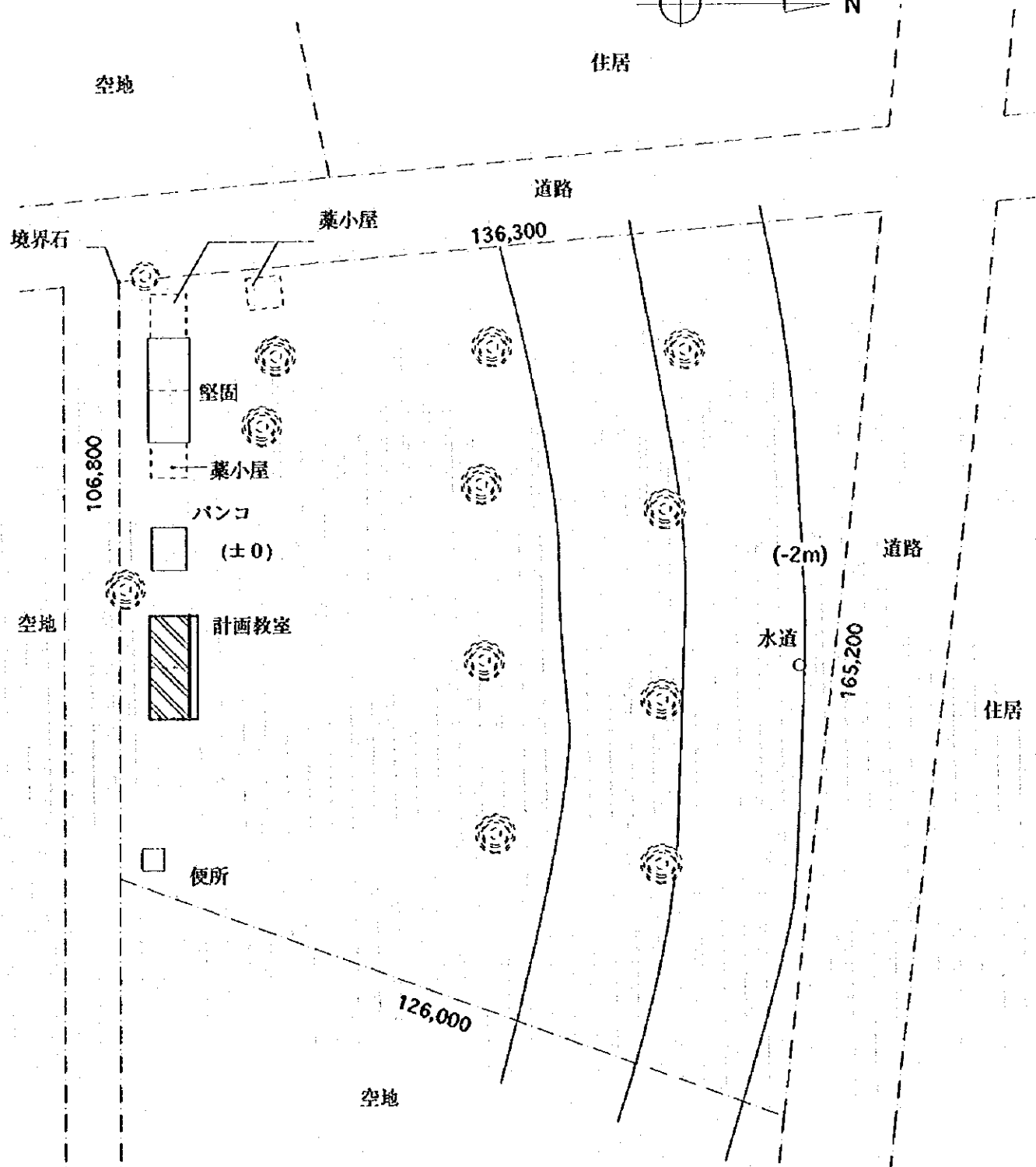
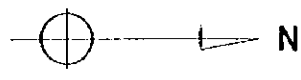
備考：敷地境界明示無し

Scale: 1:1000

TERA - 3

テラ 実験校

施設面積:	教室棟	128.16	m ²
	便所棟	0	m ²
	合計	128.16	m ²

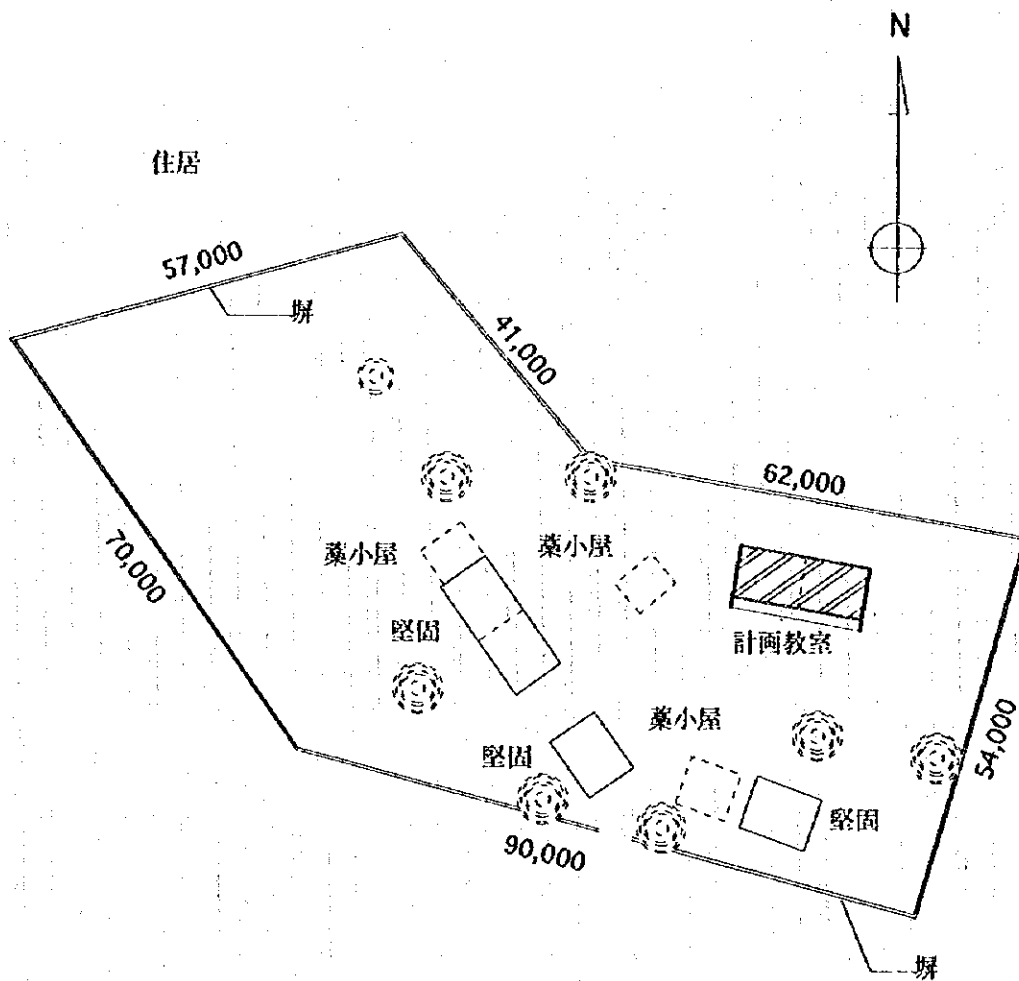


Scale: 1:1000

TERA - 4

フタンコレ

施設面積:	教室棟	128.16	m ²
	便所棟	0	m ²
	合計	128.16	m ²

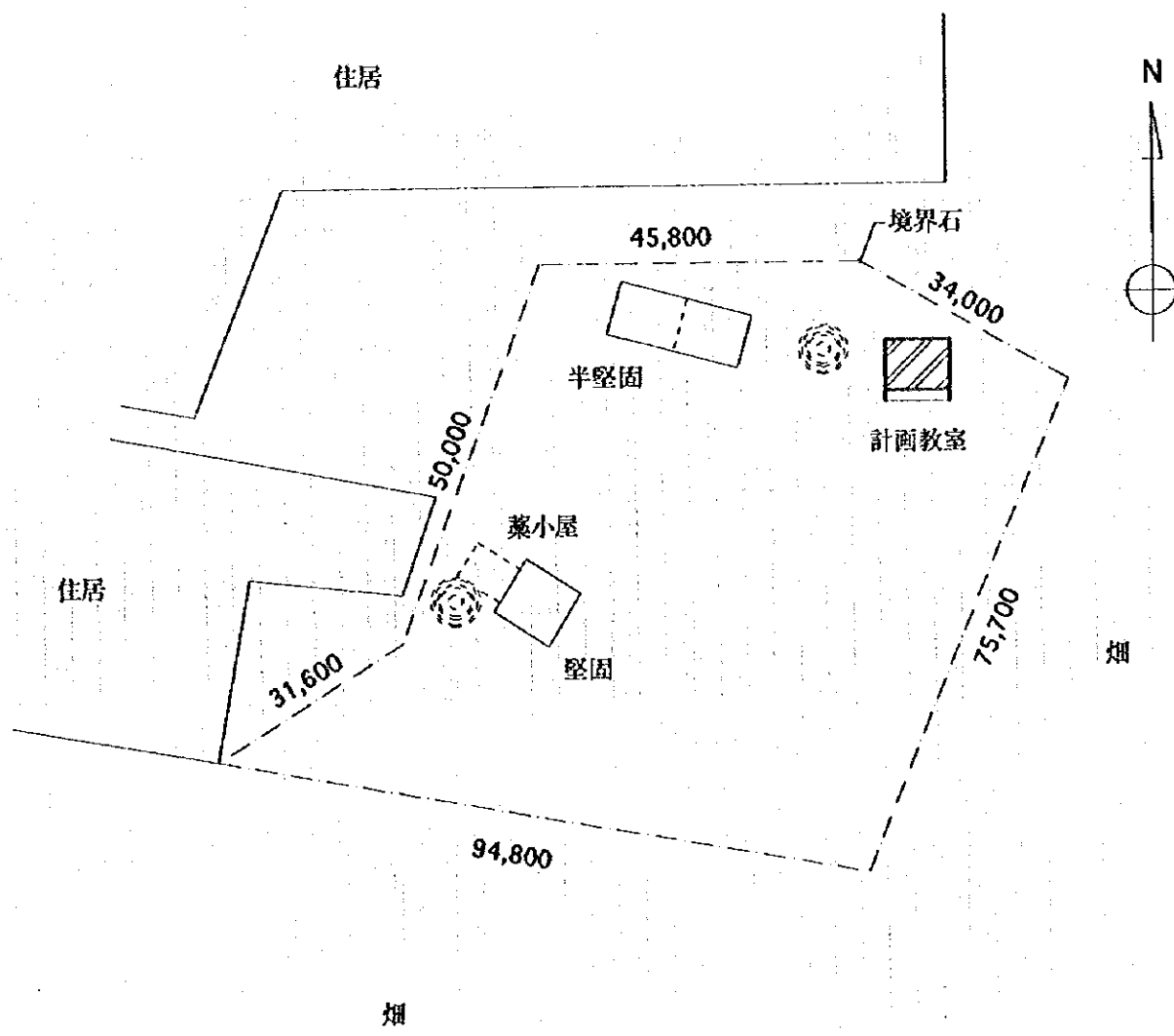


Scale: 1:1000

TERA - 5

シルフィ コアラ

施設面積:	教室棟	64.08	m ²
	便所棟	0	m ²
	合計	64.08	m ²



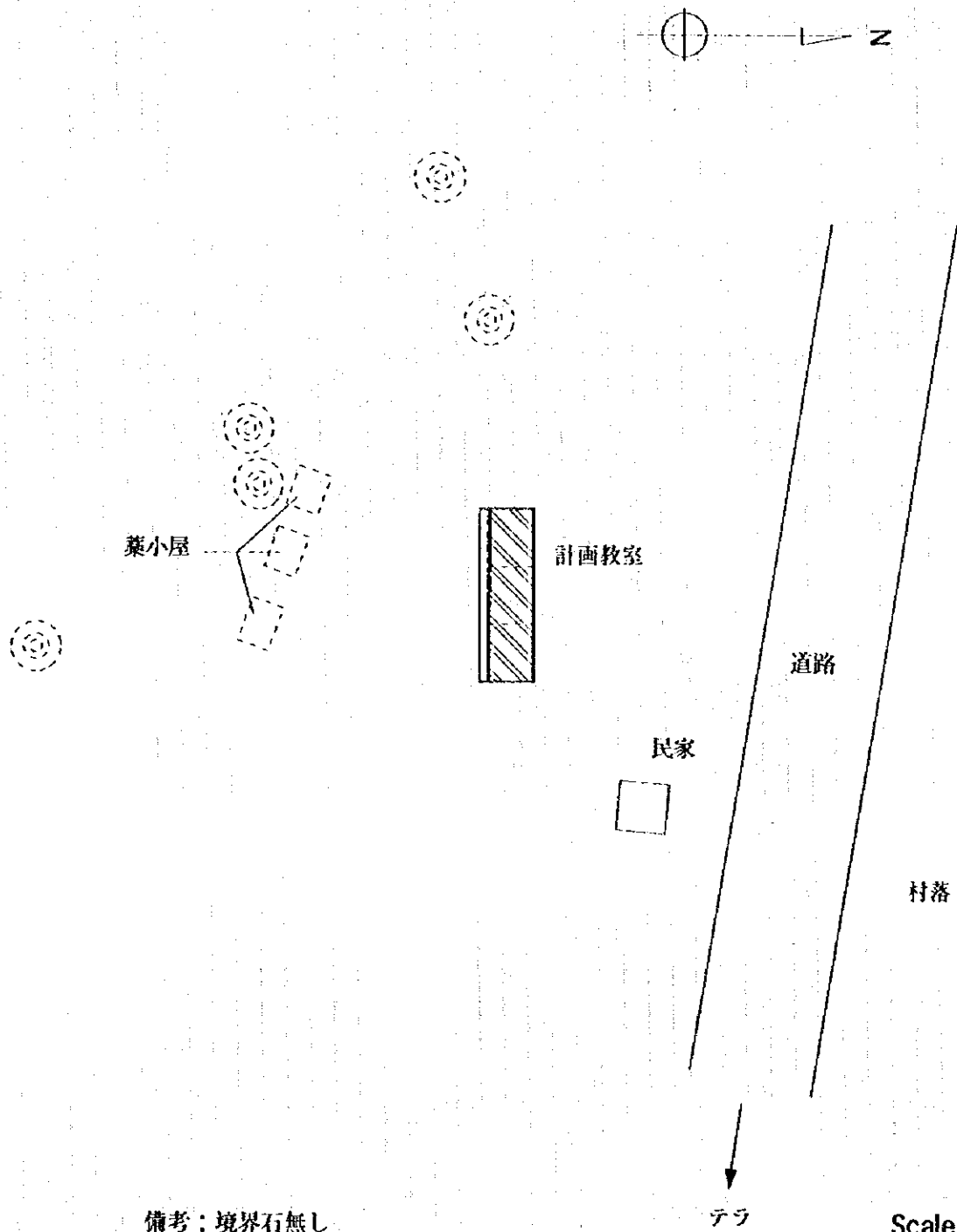
備考：仮想境界線である。

Scale: 1:1000

TERA - 6

ハリクカ

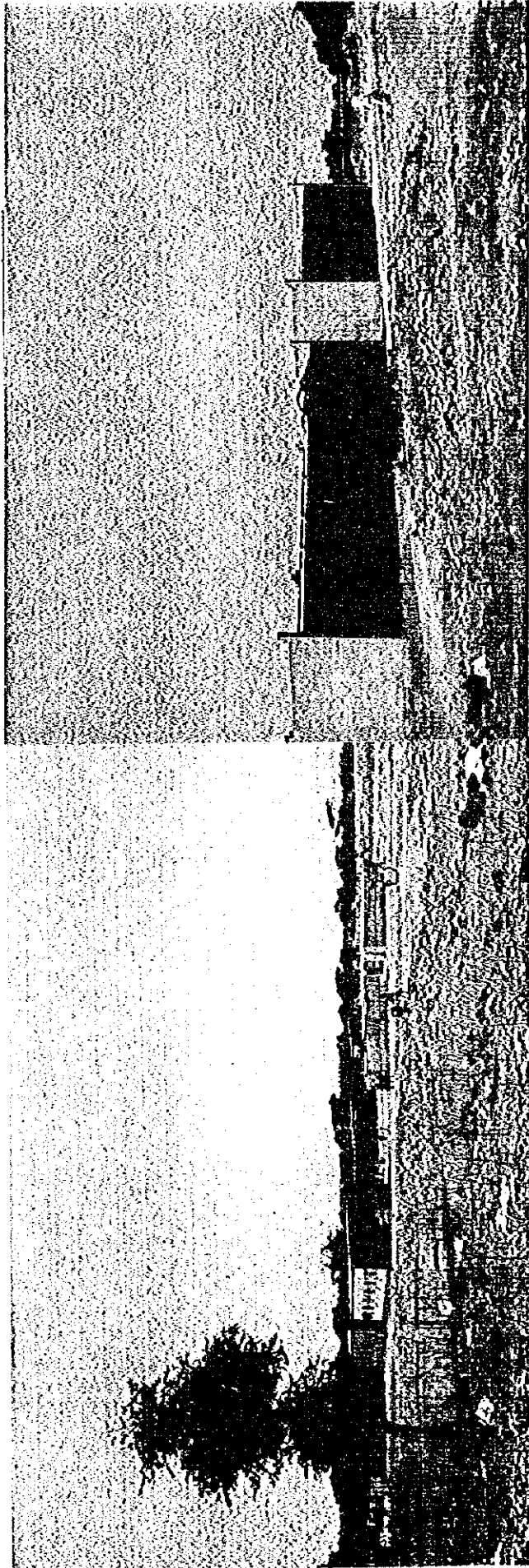
施設面積:	教室棟	192.24	m ²
	便所棟	0	m ²
	合計	192.24	m ²



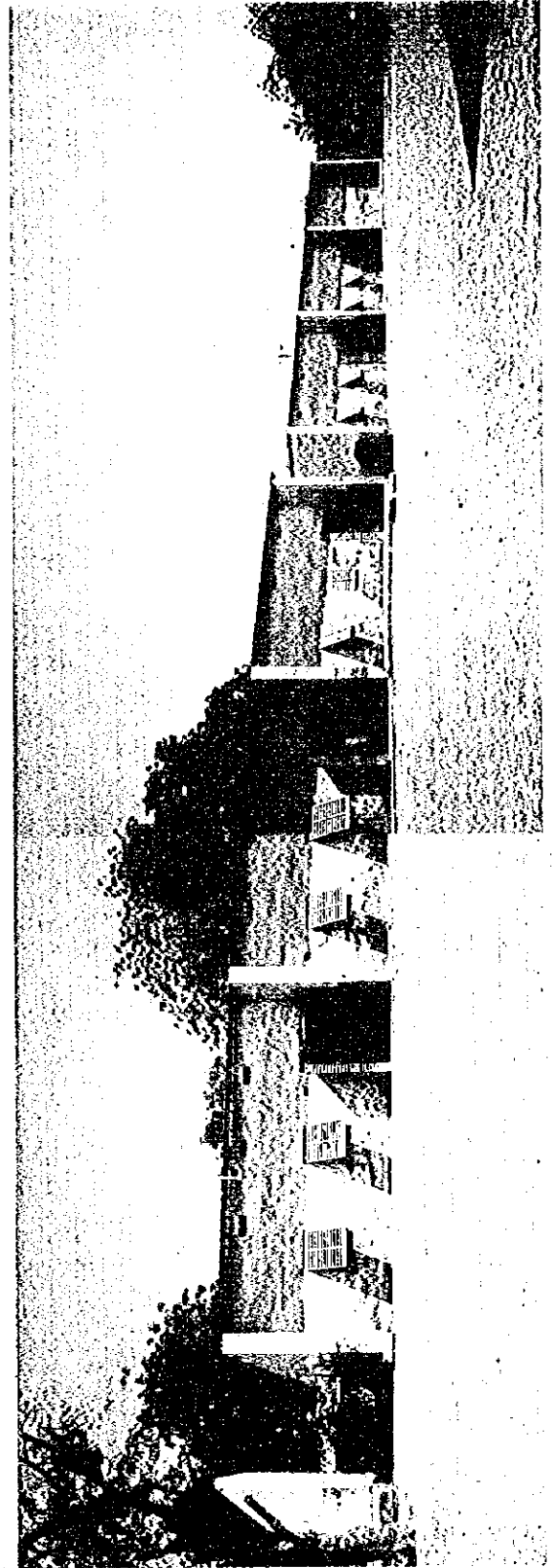
備考: 境界石無し

テラ

Scale: 1:1000

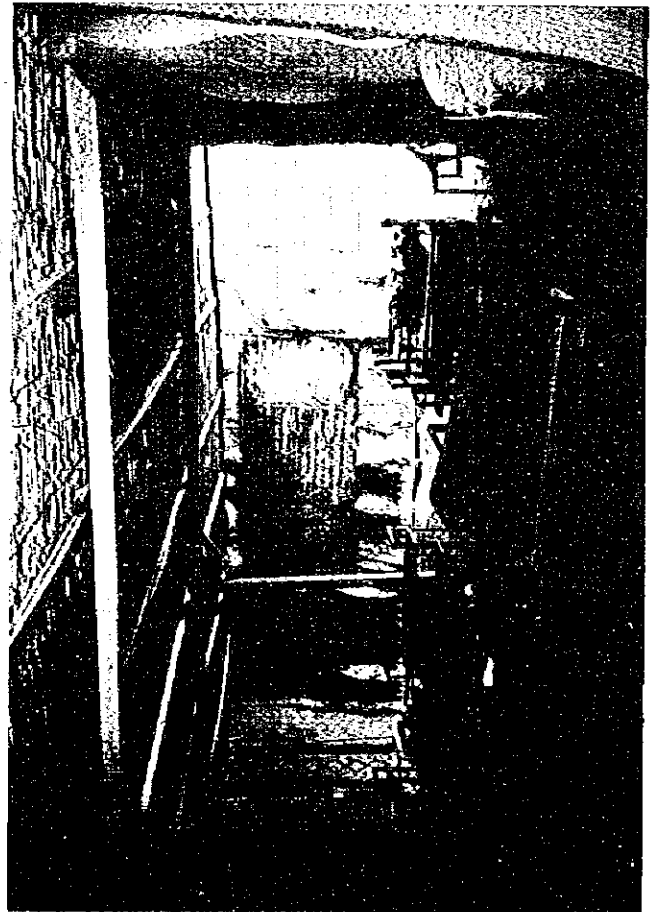
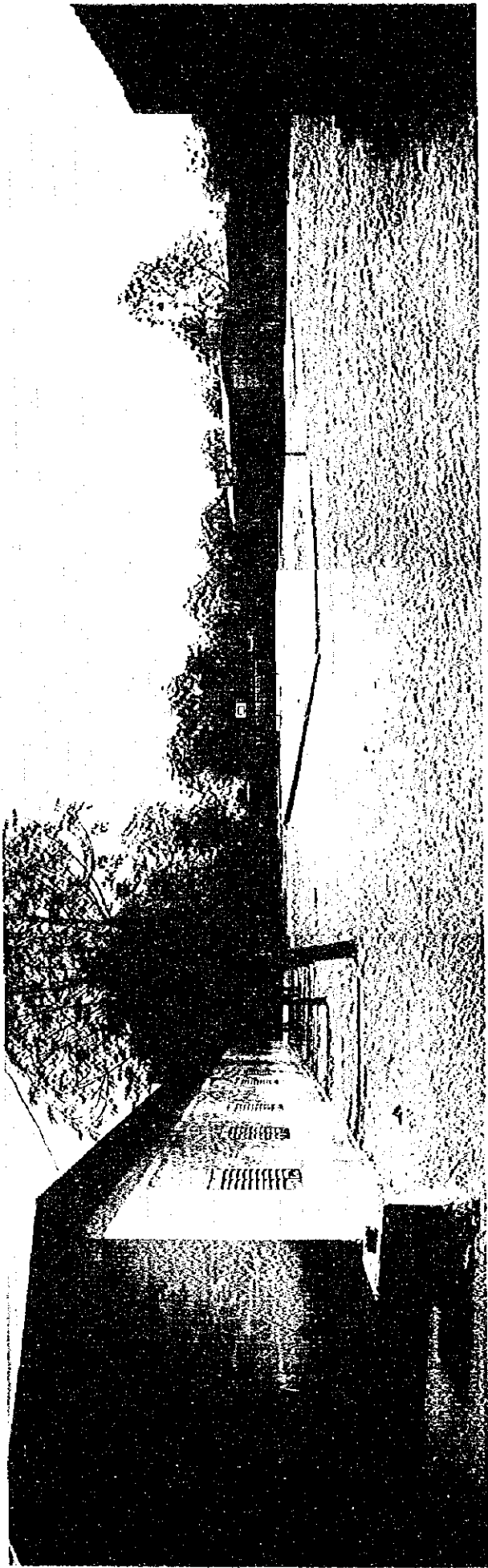


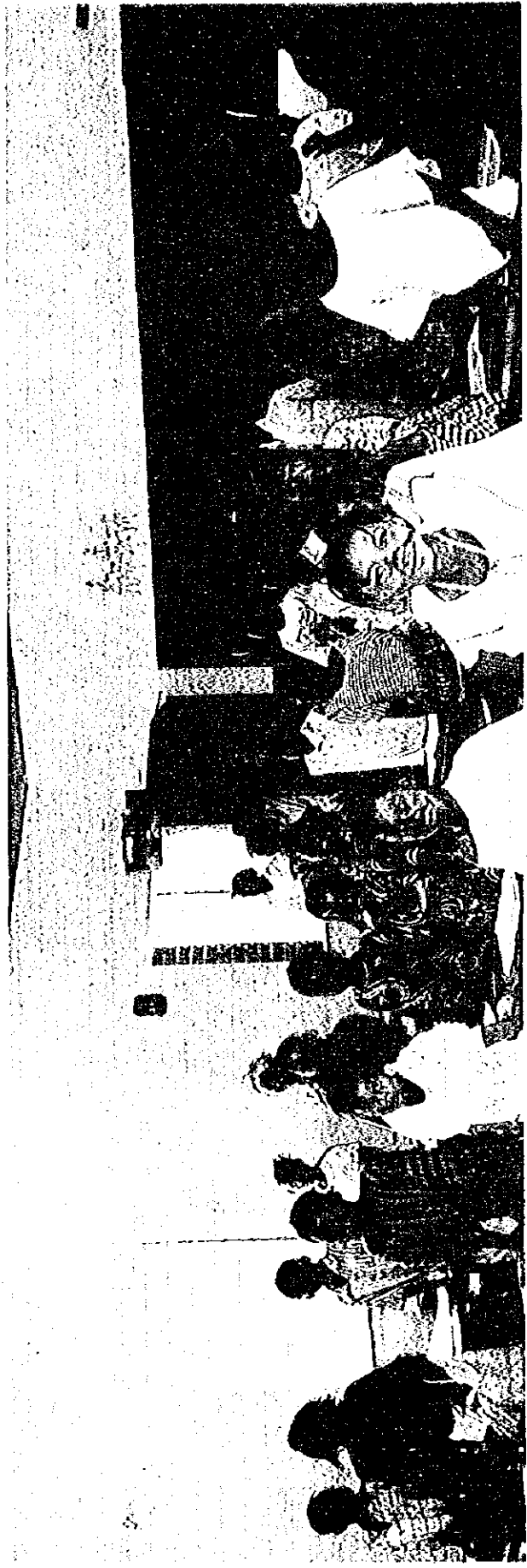
パニアフアンドゥ校



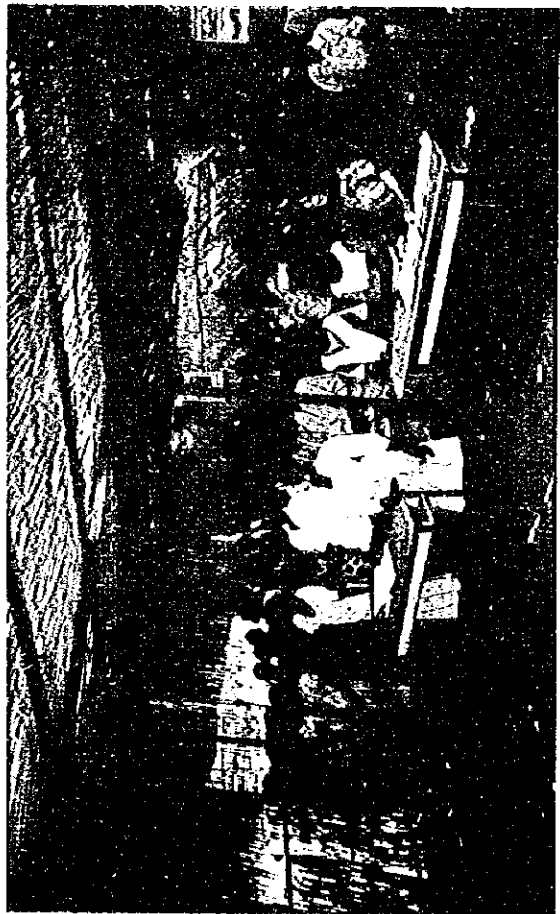
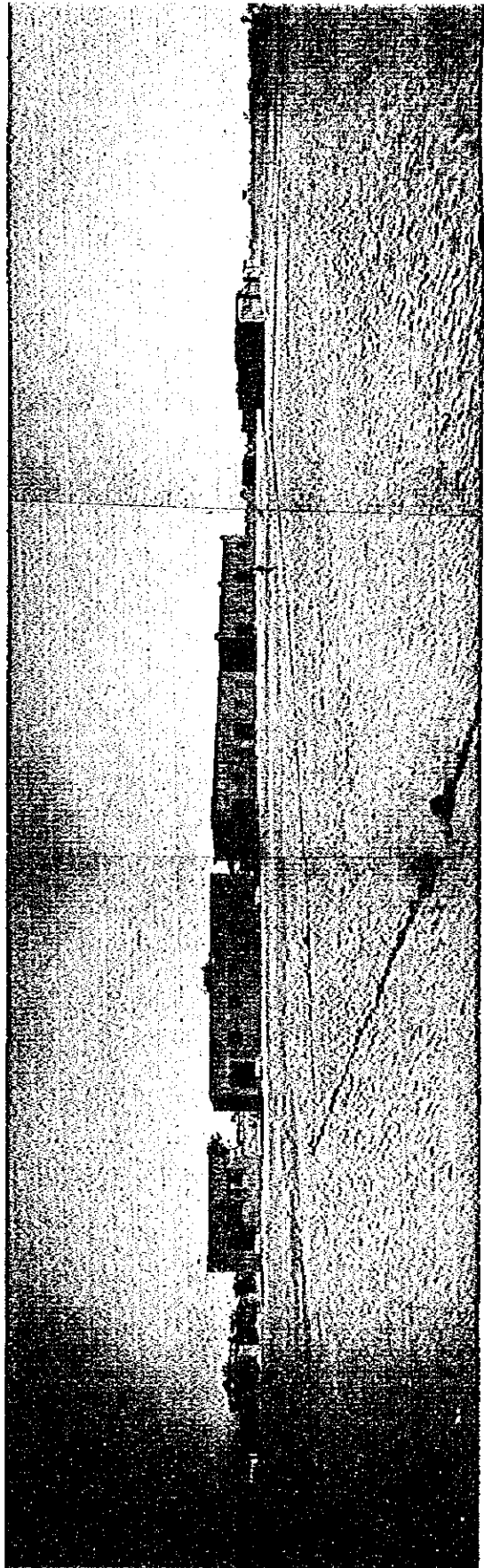
ブコキ 1校

ニアメ都市区 1

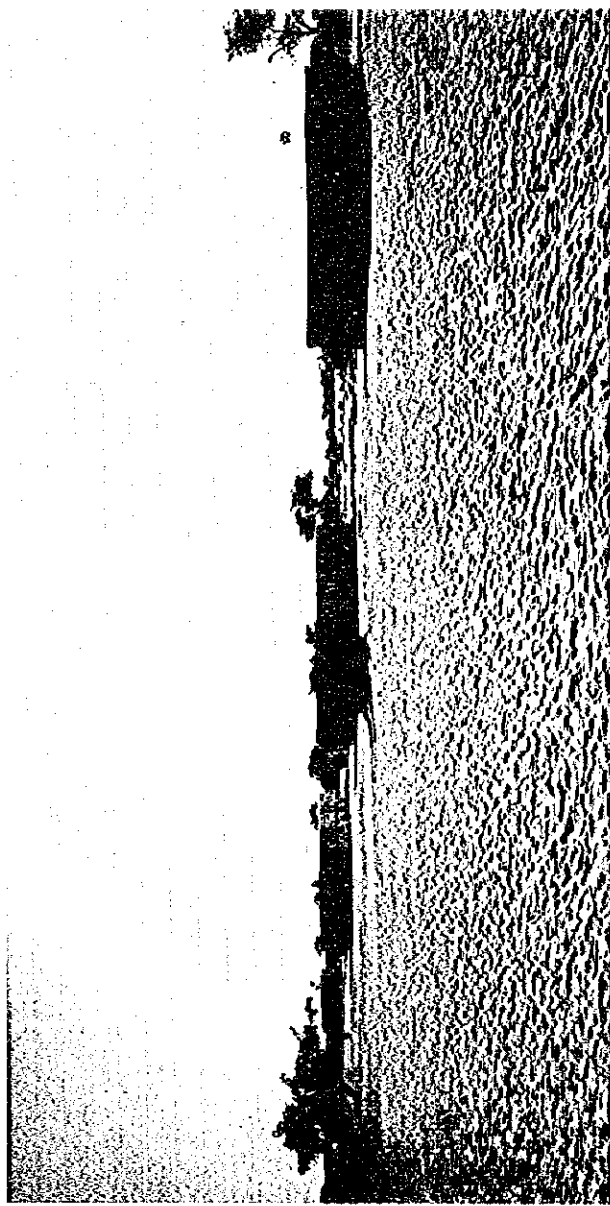
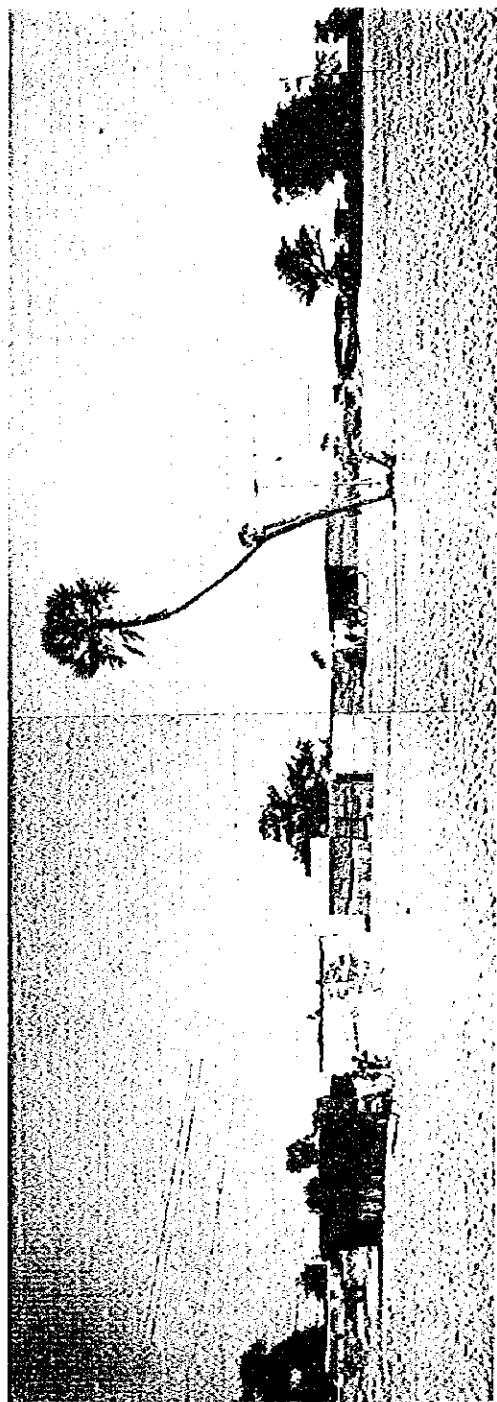


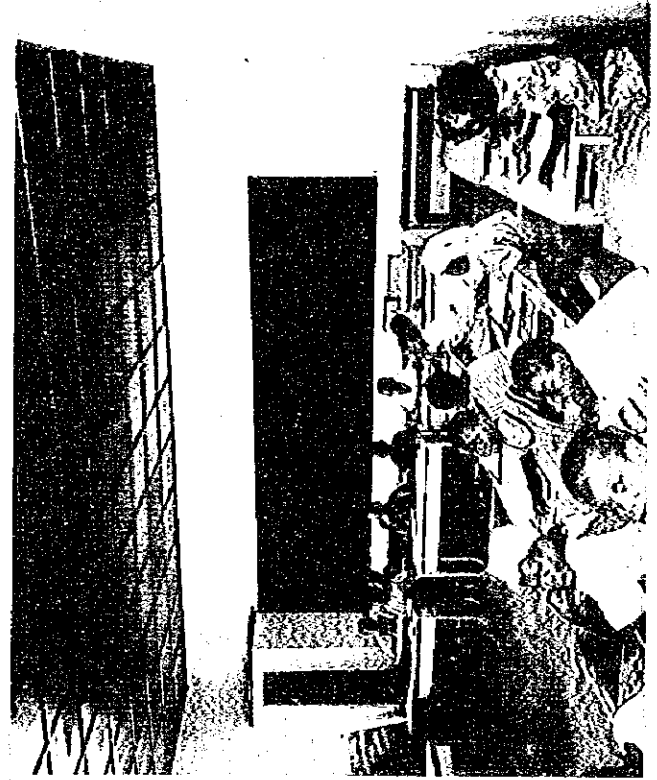
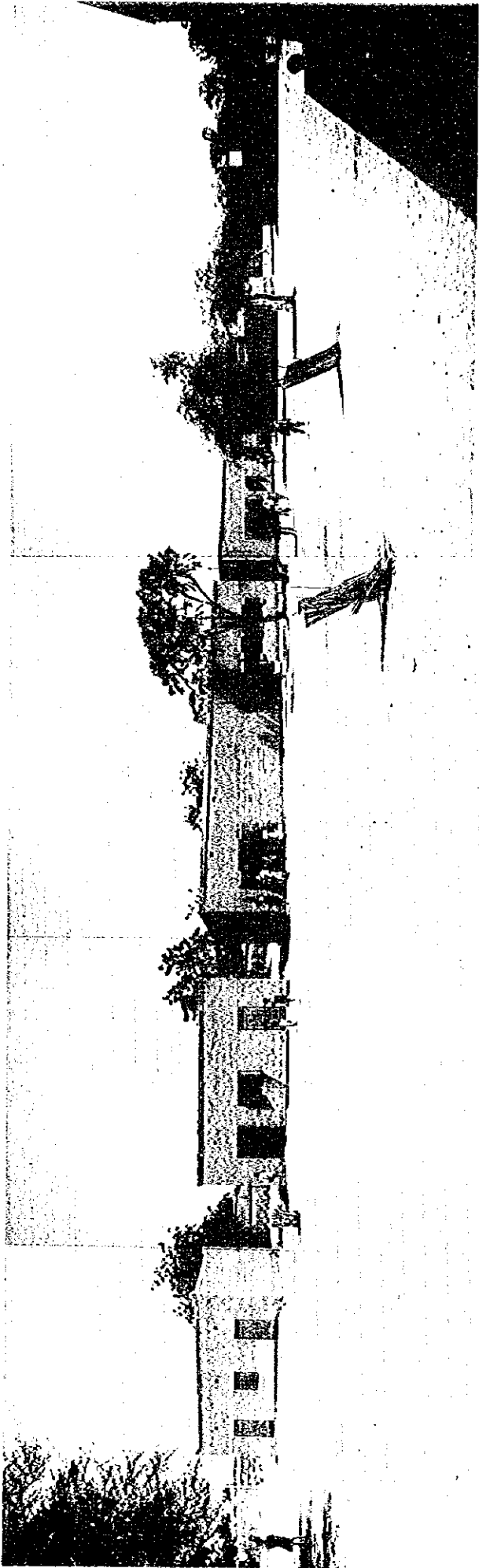


ニブメ都市区 I コアラ テギ校

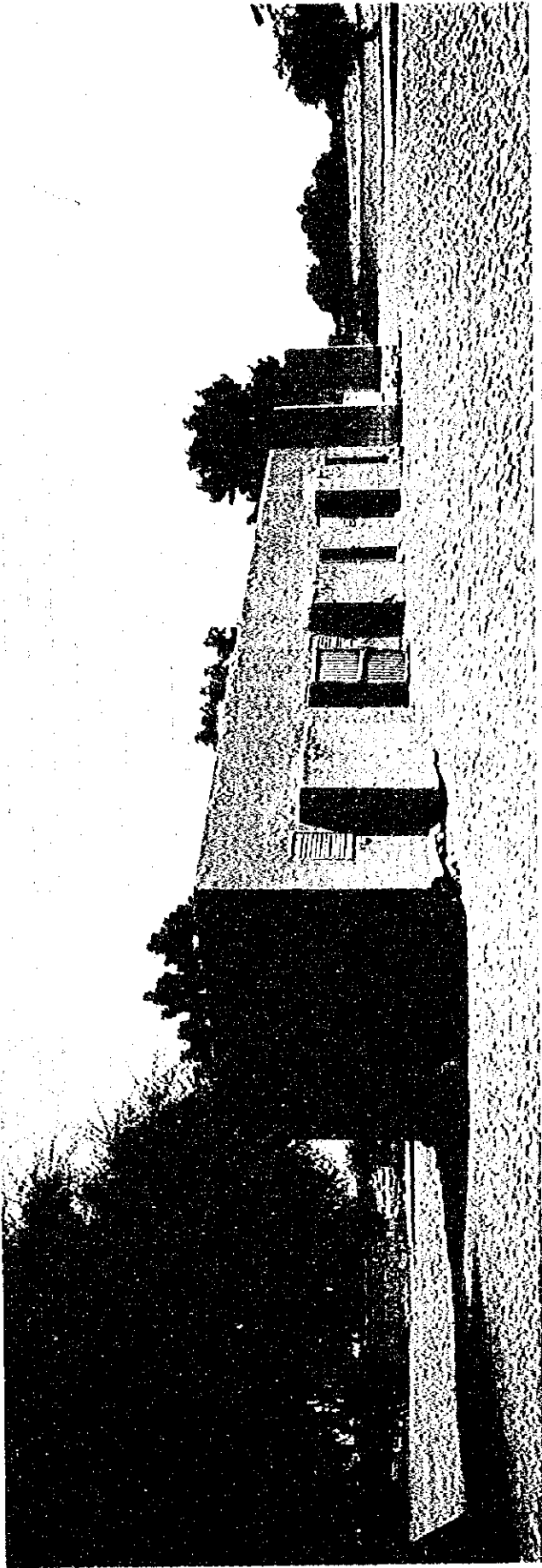


ニアメ都市区 II
パラレ校

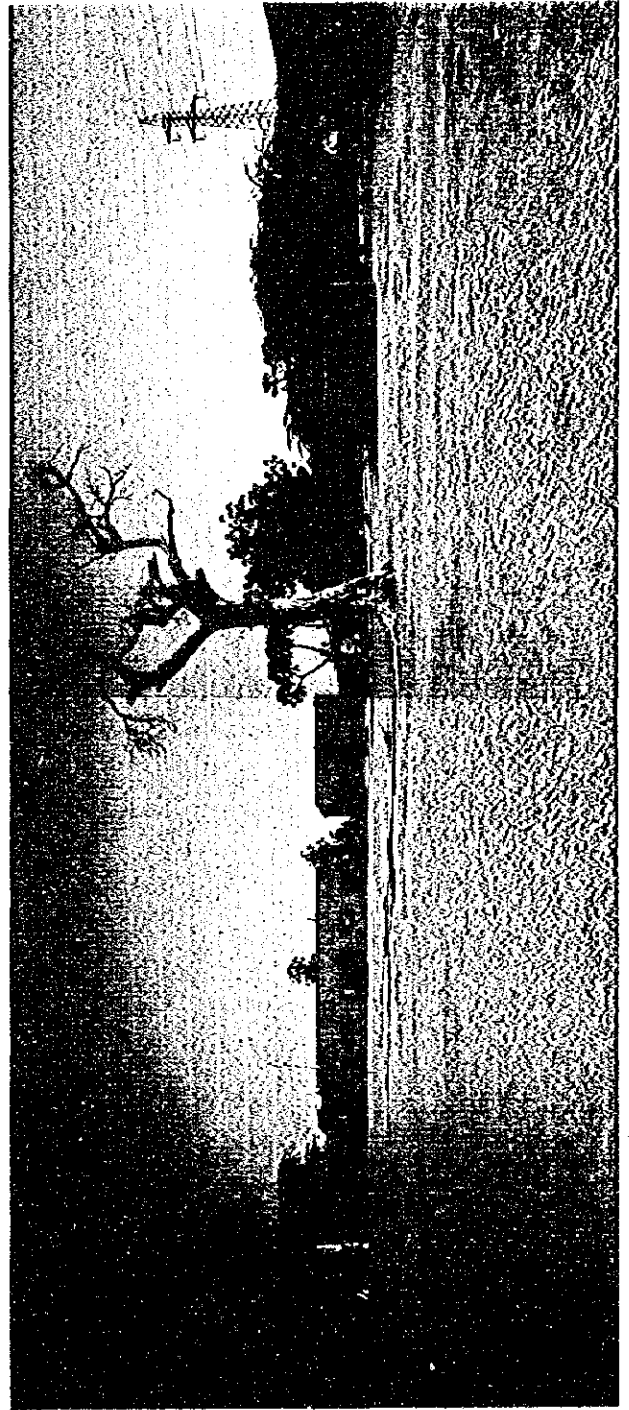




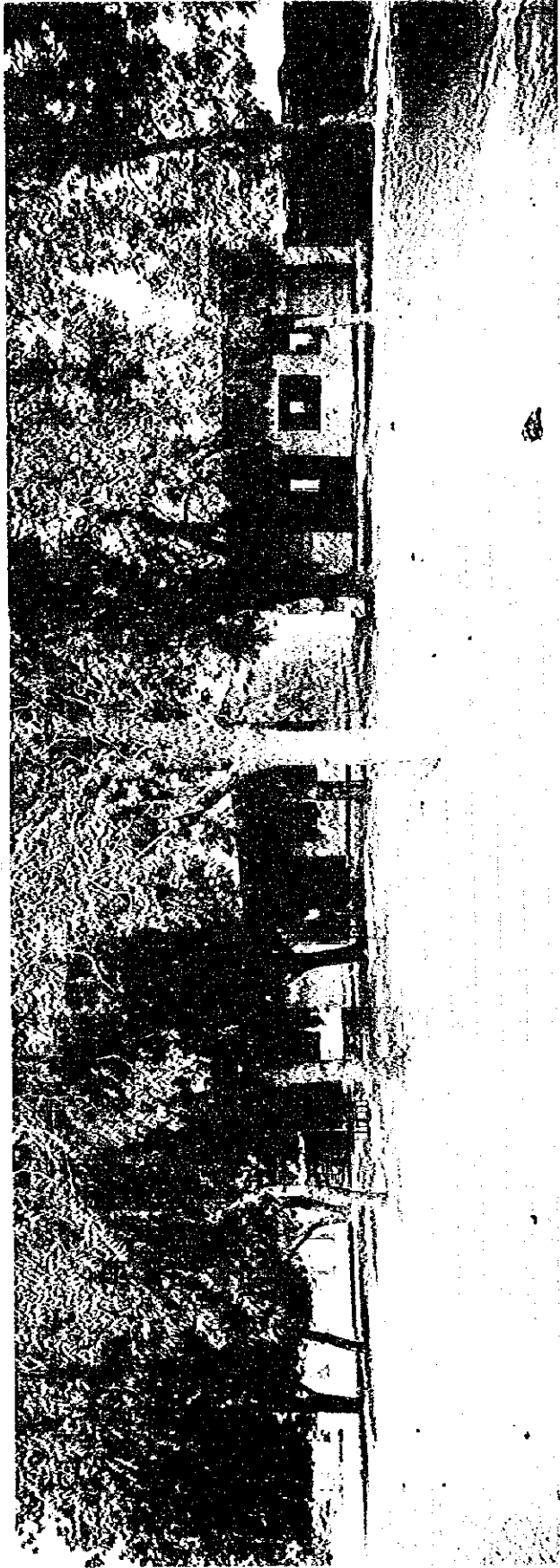
ニアメ都市区 III リーフ ドロアットII改



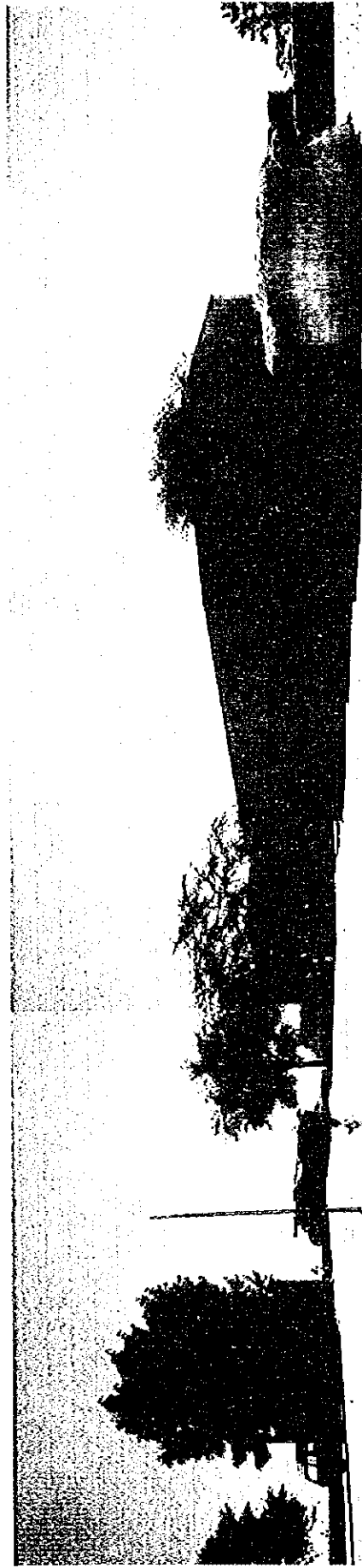
アイラベリ郡
アイラカイナ校



コロ郡
クルテレ校



サイ 郡 カルチエ校



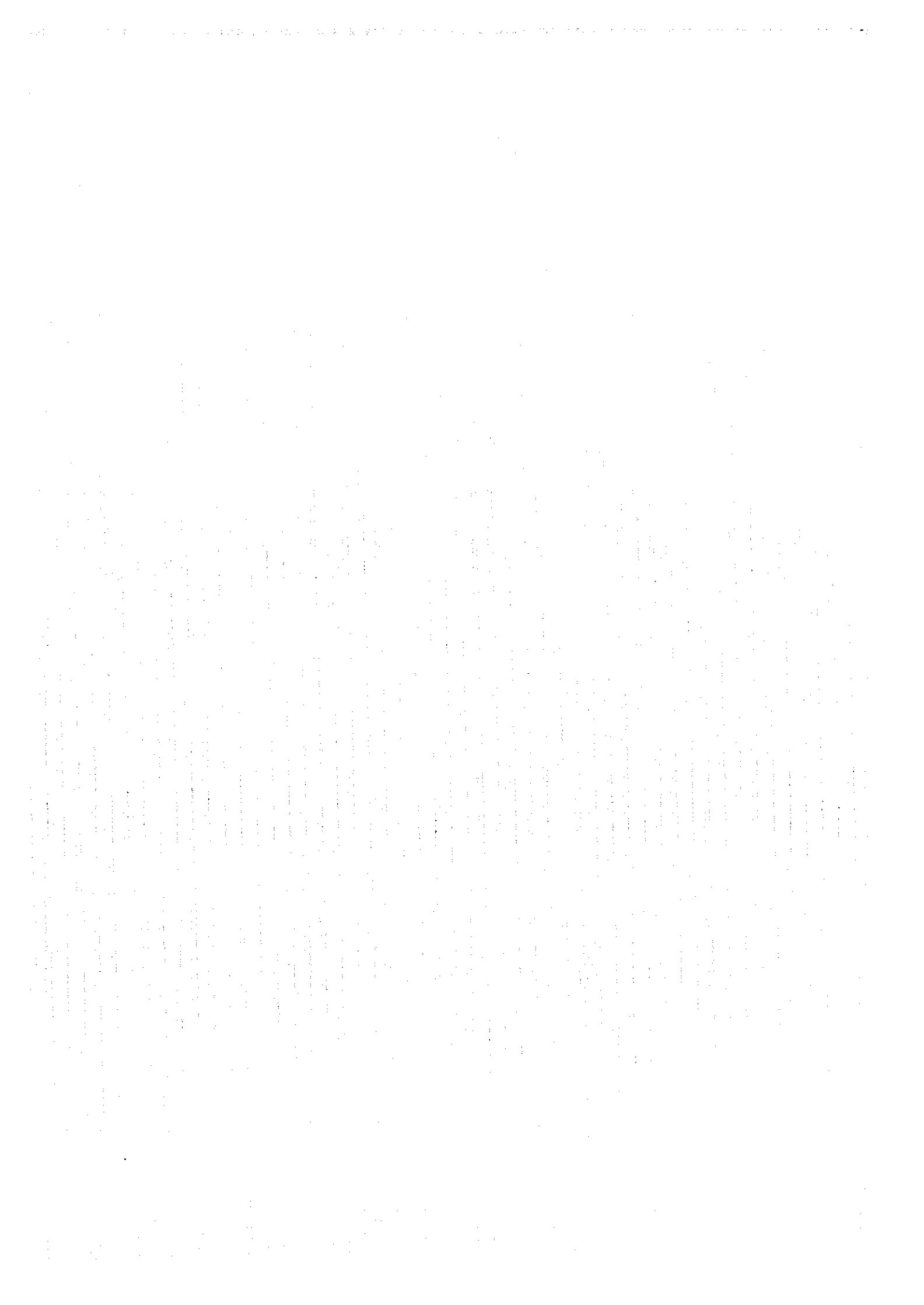
テラ郡 フタコロン校

添付資料 17 参考資料

- 1) 国民教育省行動計画 (1995-1999)
(発行機関) ニジェール国国民教育省
- 2) ニジェール国初等教育開発計画の最終レポート (1996年4月19日)
(発行機関) 国際開発協会 (1996年4月19日)
- 3) 緊急再興プログラム(1995年3月/4月/5月/6月)調整プログラムの準備として
(発行機関) ニジェール国大蔵計画省 (1995年3月21日)
- 4) 教育計画II完了レポート
(発行機関) 世界銀行 (1995年)
- 5) 基礎教育分野のための計画について、ニジェール共和国に対する41.4百万ドル(29.30TS) に
相当する金額のクレジット提案に関する行政側への「国際開発協会」会長からのレポート
(発行機関) 国際開発協会 (1994年5月5日)
- 6) ニジェール国基礎教育開発計画 (1993-1999)
(発行機関) 国際協力協会
- 7) 教育統計年鑑 (1991-1992)
(発行機関) ニジェール国国民教育省







JICA